

女性の就労実態調査
報告書

2017年（平成29年）3月
高石市

はじめに

本市では、すべての人々が性別に関係なく対等な一員として認め合い、仕事、家庭、地域など、あらゆる分野において平等に参画する機会を有し、喜びも責任もわかちあう男女共同参画社会の実現をめざして、2007年(平成19年)に「高石市男女共同参画計画」を策定し、様々な施策に取り組んできました。この計画は本市の男女共同参画政策の指針を示すものであり、計画の期間を10年間としています。

このたび、「第2次高石市男女共同参画計画」の策定にあたり、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく「市町村推進計画」を包含する計画とするために、市内の事業所にお勤めの女性の方の就労等に関する意識や実態を把握し、計画策定の基礎資料を得ることを目的として本調査を実施いたしました。

今回の調査から見てきた実態や課題等を考慮して、より実効的な計画となるよう努めてまいります。

最後に、本調査にご協力していただきました皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも男女共同参画社会の実現に向け、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2017年(平成29年)3月

高石市長 阪口 伸六

～ 目 次 ～

| | |
|--|----|
| 第1章 調査の概要 | 1 |
| 第2章 回答者の属性 | 2 |
| 1. 年齢 | 2 |
| 2. 配偶関係 | 2 |
| 3. 就労形態 | 3 |
| 4. 子ども・要介護者の有無 | 4 |
| 5. 子ども・要介護者の世話を主にしている人 | 5 |
| 6. 子ども・要介護者の世話を手伝っている人 | 6 |
| 7. 家族構成 | 7 |
| 第3章 調査結果のまとめ | 8 |
| 第4章 調査結果 | 11 |
| 1. 仕事について | 11 |
| (1) 仕事の内容 | 11 |
| (2) 従業上の地位 | 12 |
| (3) 勤続年数 | 13 |
| (4) 年収 | 14 |
| (5) 就業時間 | 15 |
| (6) 職場の選択理由 | 16 |
| (7) 職場において男女格差を感じること | 18 |
| (8) 働くうえでの悩みや不満 | 20 |
| (9) 働いている理由・目的 | 22 |
| (10) 今後の働き方 | 24 |
| (11) 女性が職業をもつことに対する意識 | 26 |
| (12) 女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと | 27 |
| (13) 女性の活躍推進に関する情報のうち、特に必要な情報 | 29 |
| 2. 職場環境について | 31 |
| (1) 職場の雰囲気 | 31 |
| (2) 職場におけるハラスメントの見聞きや被害経験 | 37 |
| 3. 家庭や生活全般について | 39 |
| (1) 家事時間 | 39 |
| (2) 家庭の仕事の役割分担 | 41 |
| (3) 仕事と家庭生活の両立の負担感 | 45 |
| (4) 生活の中で優先すること | 46 |
| (5) 性別役割分担意識 | 48 |
| (6) 「男は仕事、女は家庭」と思う理由 | 49 |
| (7) 「男は仕事、女は家庭」と思わない理由 | 50 |
| 4. 自由意見 | 51 |
| 資料 調査票 | 55 |

第1章 調査の概要

1. 調査目的

本市では本年度「第2次高石市男女共同参画計画」の策定とともに、平成27年に成立した「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく本市の「市町村推進計画」の策定を予定している。そこで、市内の事業所に勤める女性の就労等に関する意識や実態を把握し、計画策定の基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画施策を効果的に実施するために活用することを目的として、本調査を実施する。

2. 調査対象

市内事業所で就労している女性労働者（1,060人）

3. 調査方法

高石市事業所人権教育推進連絡協議会加入事業所を通じて女性労働者へ配布依頼し、郵送にて調査票を回収した。

4. 調査期間

平成28年7月1日～7月20日

5. 調査内容

- ・仕事について
- ・職場環境について
- ・家庭や生活全般について

6. 回収状況

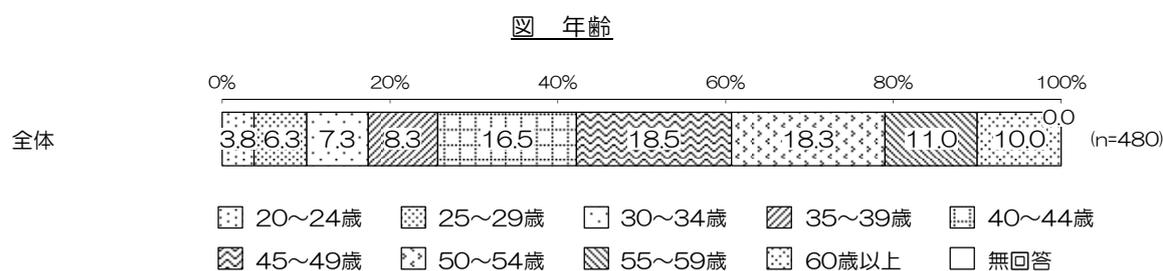
| 標本数 | 回収数 | 回収率 |
|--------|------|-------|
| 1,060票 | 480票 | 45.3% |

7. 報告書の見方について

- (1) 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数（副設問では設問該当対象数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問では、百分率（%）の合計は100.0%を超える。
- (2) 百分率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体の示す数値とが一致しないことがある。
- (3) 図中にある「n」は、集計対象票数（あるいは、分類別の該当対象数）を示し、比率は「n」を100.0%として表した。
- (4) クロス集計の結果を示す図表においては、該当者の少ない分類項目、及び「その他」「不明（無回答）」は省略しているものがあり、各分類項目の該当対象数の合計と集計対象総数は一致しないことがある。
- (5) クロス集計の結果のうち属性毎の回答者数（n）が少ない項目については、参考値とし本文中ではふれていないことがある。

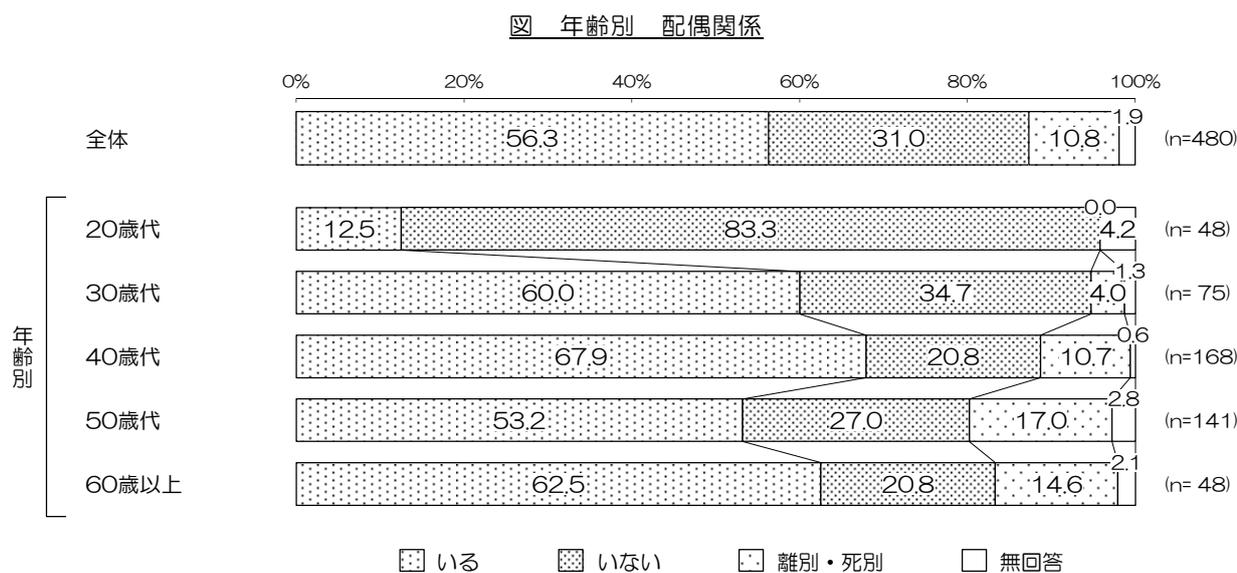
第2章 回答者の属性

1. 年齢



回答者の年齢構成は、40歳代が35.0%、50歳代が29.3%を占めている。

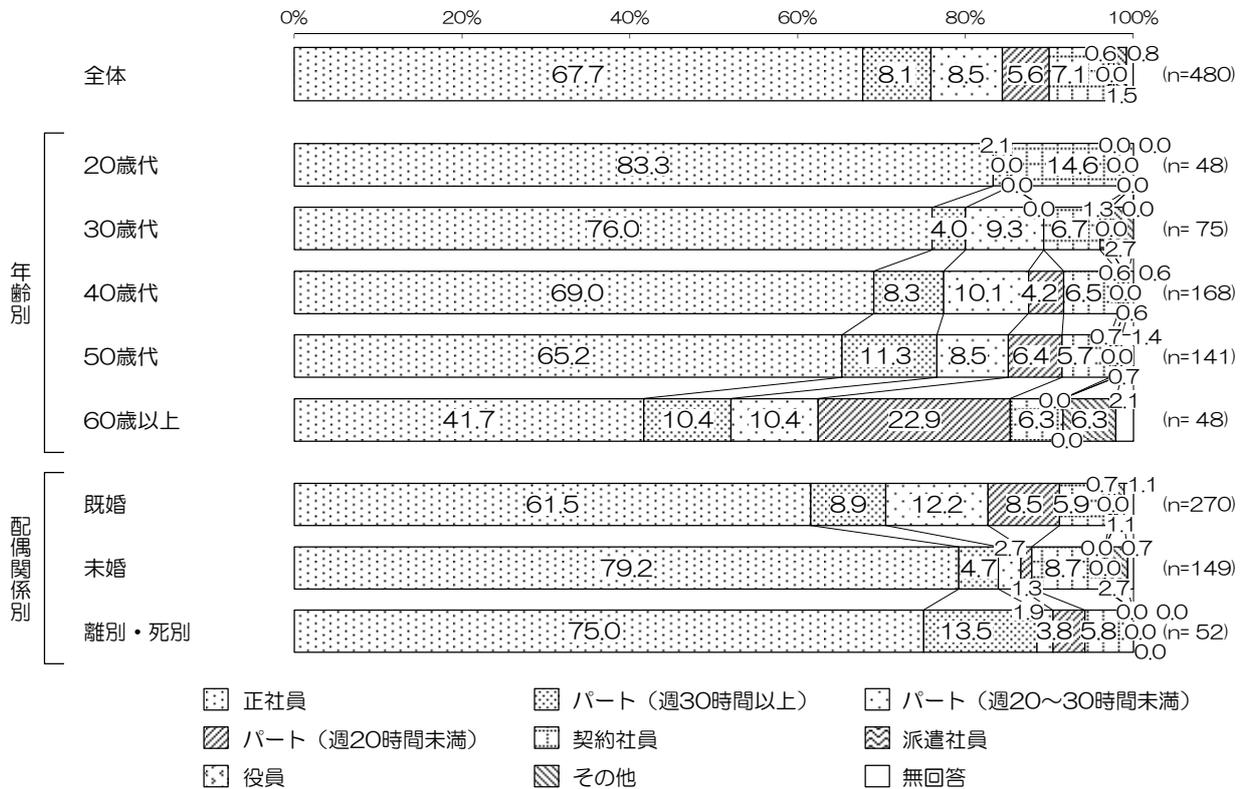
2. 配偶関係



配偶者の有無については、「いる」が56.3%。「いない」が31.0%となっている。
年齢別にみると、20歳代は「いない」が83.3%と高くなっている。

3. 就労形態

図 年齢別、配偶関係別 就労形態（本人）

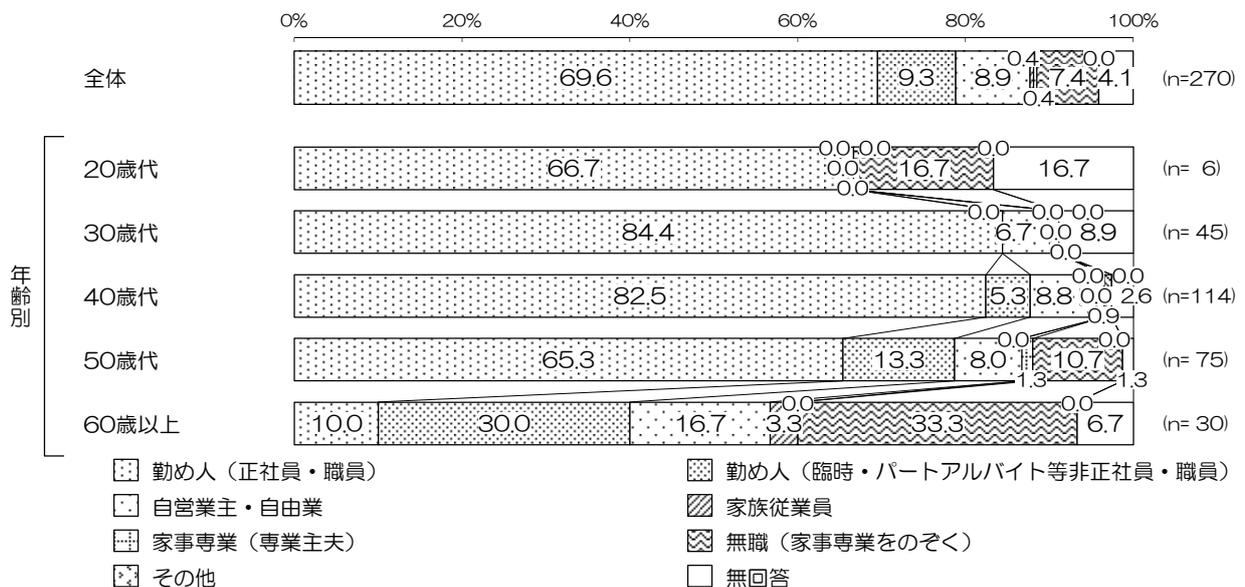


就労形態は、「正社員」が67.7%を占め、パートは合わせて22.2%、「契約社員」は7.1%、「派遣社員」は0.6%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「正社員」の割合は低くなっている。

配偶関係別にみると、既婚は未婚と離別・死別と比べて「正社員」の割合が低くなっている。

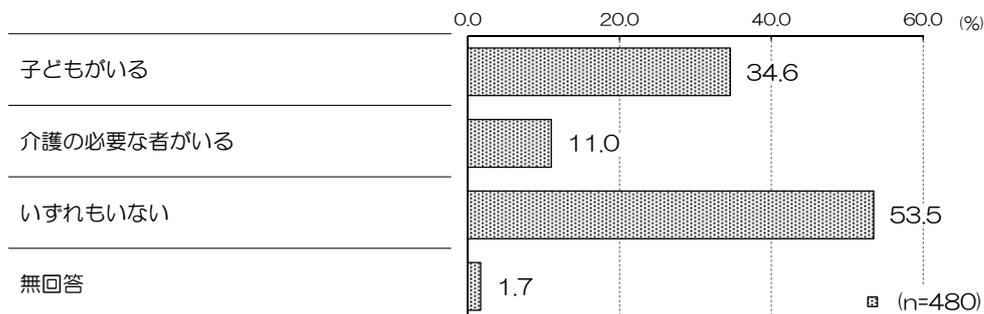
図 年齢別 就労形態（配偶者）



配偶者の職業は、「勤め人（正社員・職員）」が69.6%と高く、年齢別にみると30・40歳代では8割を超えている。

4. 子ども・要介護者の有無

図 子ども・要介護者の有無



世話の必要な子どもや介護の必要な者の有無については、「子どもがいる」が 34.6%、「介護の必要な者がいる」が 11.0%となっている。

表 年齢別、配偶関係別 子ども・要介護者の有無

| | 対象者数 (n) | 子どもがいる | 介護の必要な者がいる | いずれもない | 無回答 |
|-------|----------|-------------|-------------|-------------|------|
| 全体 | 480 | 34.6 | 11.0 | 53.5 | 1.7 |
| 年齢別 | 20歳代 | 2.1 | 4.2 | 91.7 | 2.1 |
| | 30歳代 | 52.0 | 8.0 | 40.0 | - |
| | 40歳代 | 57.7 | 8.3 | 35.7 | 0.6 |
| | 50歳代 | 19.9 | 18.4 | 58.9 | 2.8 |
| | 60歳以上 | 2.1 | 10.4 | 83.3 | 4.2 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 50.0 | 10.4 | 40.0 | 1.1 |
| | 未婚 | 4.0 | 13.4 | 81.2 | 1.3 |
| | 離別・死別 | 52 | 42.3 | 7.7 | 44.2 |

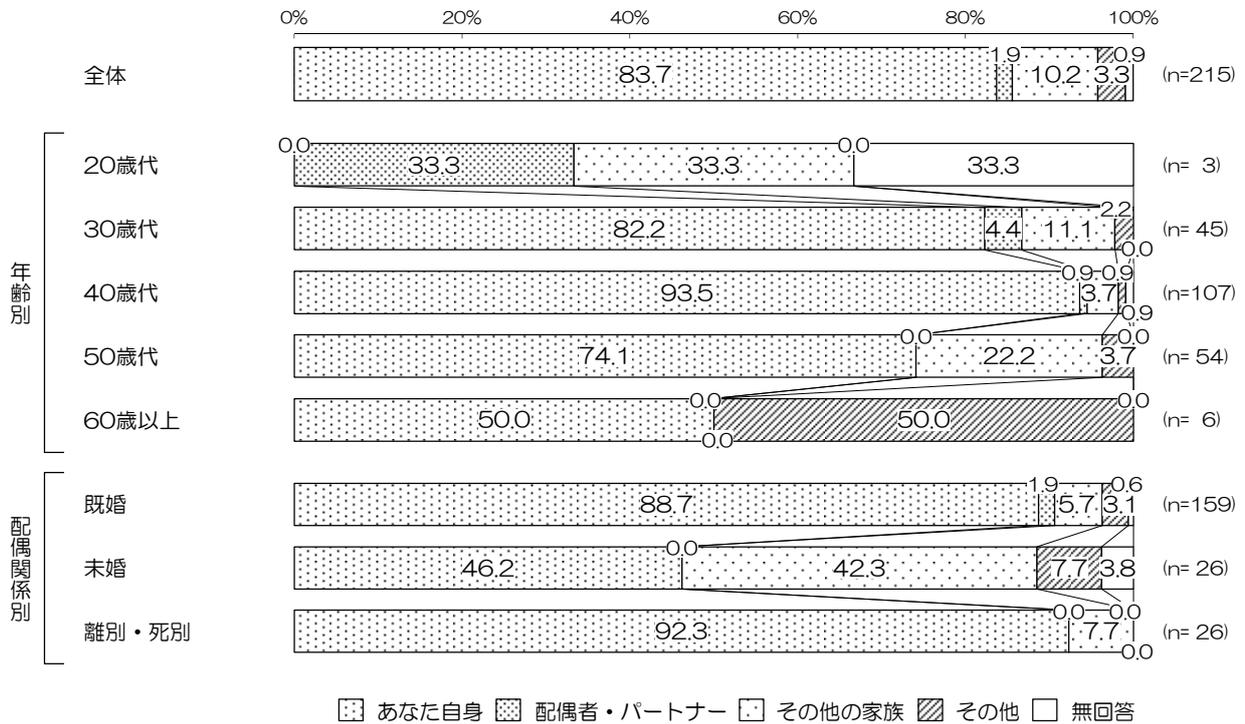
注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より 10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは 5ポイント以上高い項目を示す。

年齢別にみると、20歳代は「いずれもない」が 91.7%を占め、30・40歳代では「子どもがいる」が 5割を超えている。50歳代は「介護の必要な者がいる」(18.4%)が他の年齢層より高くなっている。

配偶関係別にみると、既婚では「子どもがいる」が 50.0%と高く、離別・死別でも「子どもがいる」は 42.3%となっている。

5. 子ども・要介護者の世話を主にしている人

図 年齢別、配偶関係別 子ども・要介護者の世話を主にしている人

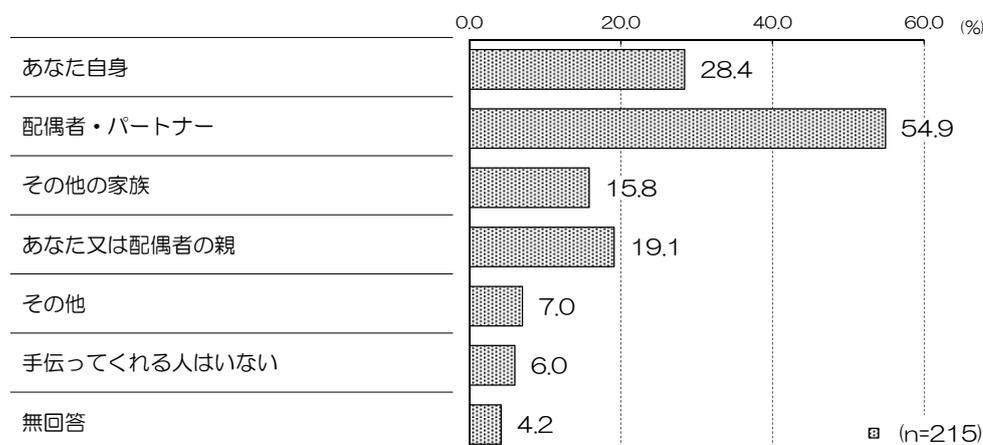


子どもや介護の必要な方の世話を主にしている人は、「あなた自身」が83.7%を占めている。年齢別にみると、40歳代では「あなた自身」が93.5%と特になくなっている。

配偶関係別にみると、未婚は「あなた自身」(46.2%)と「その他の家族」(42.3%)の差が3.9ポイントと小さくなっている。

6. 子ども・要介護者の世話を手伝っている人

図 子ども・要介護者の世話を手伝っている人



子どもの世話や介護の手伝いをしている人は「配偶者・パートナー」が54.9%で最も高く、次いで「あなた自身」が28.4%、「あなた又は配偶者の親」が19.1%、「その他の家族」が15.8%となっている。

表 年齢別、配偶関係別 子ども・要介護者の世話を手伝っている人

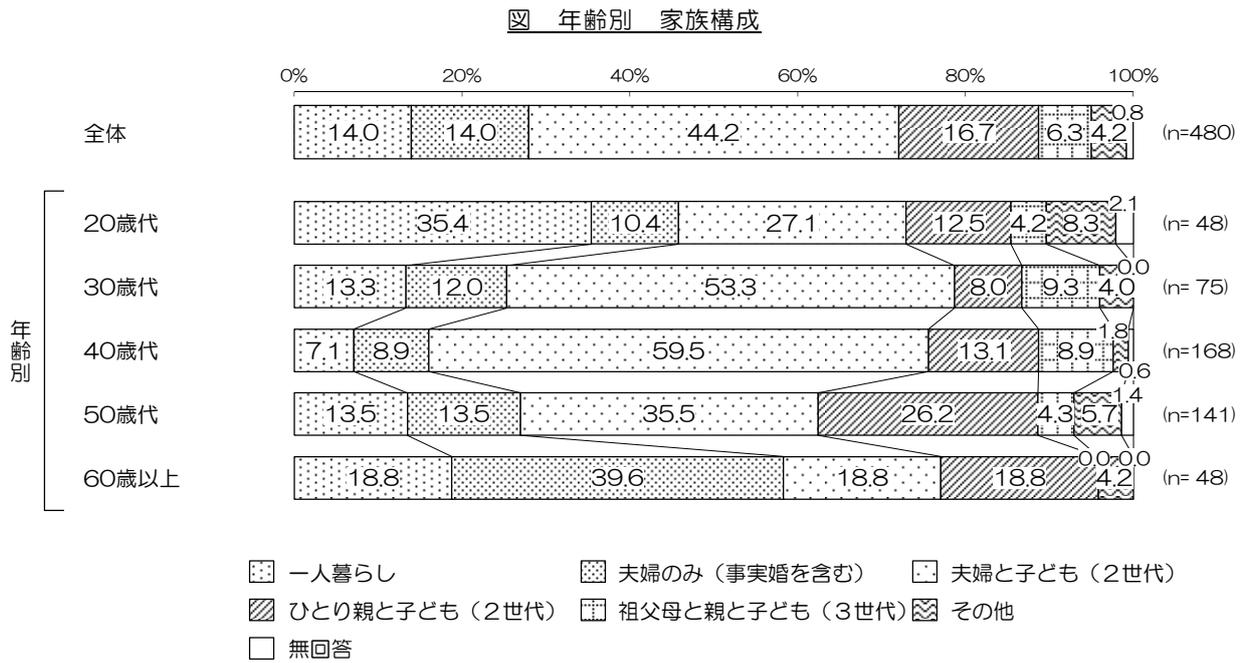
| | 対象者数 (n) | あなた自身 | 配偶者・パートナー | その他の家族 | あなた又は配偶者の親 | その他 | 手伝ってくれる人はいない | 無回答 | |
|-------|----------|-------|-----------|--------|------------|------|--------------|------|------|
| 全体 | 215 | 28.4 | 54.9 | 15.8 | 19.1 | 7.0 | 6.0 | 4.2 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 3 | - | 33.3 | 33.3 | - | 33.3 | - | 33.3 |
| | 30歳代 | 45 | 20.0 | 66.7 | 24.4 | 28.9 | 8.9 | 2.2 | - |
| | 40歳代 | 107 | 23.4 | 62.6 | 12.1 | 19.6 | 4.7 | 4.7 | 4.7 |
| | 50歳代 | 54 | 48.1 | 33.3 | 16.7 | 11.1 | 7.4 | 13.0 | 3.7 |
| | 60歳以上 | 6 | 16.7 | 33.3 | - | 16.7 | 16.7 | - | 16.7 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 159 | 24.5 | 71.7 | 11.3 | 20.1 | 5.0 | 5.0 | 2.5 |
| | 未婚 | 26 | 42.3 | 3.8 | 46.2 | 7.7 | 15.4 | - | 7.7 |
| | 離別・死別 | 26 | 38.5 | - | 15.4 | 26.9 | 11.5 | 19.2 | 11.5 |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。ただし、対象者数(n)が10未満の項目については網掛けを除外している。

年齢別にみると、30・40歳代では、「配偶者・パートナー」が6割を超えている。

配偶関係別にみると、既婚では「配偶者・パートナー」が71.7%と高くなっている。未婚では、「その他の家族」と「あなた自身」がともに4割台となっている。

7. 家族構成



家族構成は、「夫婦と子ども (2 世代)」が 44.2%で最も高く、「ひとり親と子ども (2 世代)」(16.7%)、「一人暮らし」(14.0%)、「夫婦のみ (事実婚を含む)」(14.0%) がいずれも 1 割台となっている。

年齢別にみると、20 歳代は「一人暮らし」、30～50 歳代は「夫婦と子ども (2 世代)」、60 歳以上は「夫婦のみ (事実婚を含む)」の割合が最も高くなっている。

第3章 調査結果のまとめ

1. 回答者について

■ 回答者の属性について（問 1、問 2、問 4、問 5）

回答者の年齢構成は 40～50 歳代が約 6 割を占めている。

20 歳代の回答者については、配偶者のいない人が 83.3%を占め、世話の必要な子どもや介護の必要な方は「いずれもない」(91.7%)、家族構成は「一人暮らし」(35.4%) の割合が最も高い。

30・40 歳代の回答者は、配偶者がいる人が 6 割台、世話の必要な子どもがいる人が 5 割台となっており、家族構成は「夫婦と子ども（2 世代）」の割合が最も高い。

50 歳以上の回答者は、30・40 歳代と比べて世話の必要な子どもがいる人の割合は低いが、50 歳代では「介護の必要な者がいる」が 18.4%となっている。

■ 就労形態について（問 3）

就労形態は正社員 67.7%、パート 22.2%、契約社員 7.1%、派遣社員 0.6%と正社員の割合が高いが、年齢が高くなるにつれて正社員の占める割合は低くなっている。

2. 仕事について

■ 仕事の内容（問 6-1）

仕事の内容は、「専門・技術職」が 55.2%、「事務職」が 28.5%となっている。就労形態別では、「販売・サービス・保安職」の割合はパートで 28.0%となっている。

■ 従業上の地位（問 6-2）

職場での立場については、「役職についている」が 11.5%、「役職についていない」が 86.0%となっている。

■ 勤続年数（問 6-3）

勤続年数については、現在の職場で 5 年以上働いている人が約 7 割を占めている。

■ 年収（問 6-4）

年収については、正社員では 200 万円以上が 94.9%、パートでは 200 万未満が 78.6%を占めている。

■ 就業時間（問 6-5）

就業時間（通勤時間を含む）は、正社員では 8 時間以上が 79.0%を占め、パートと契約・派遣社員では「6～8 時間未満」の割合が 4 割台で最も高くなっている。

■ 職場の選択理由（問 7）

現在の職場を選んだ理由は、「自宅から近くて通勤に便利なので」(45.4%)、「資格や専門性が活かせる」(32.3%) などの割合が高くなっている。年齢別にみると、20 歳代は「福利厚生や制度が整っている」、30 歳代は「資格や専門性が活かせる」、40 歳以上の年齢層では「自宅から近くて通勤に便利なので」の割合が最も高くなっている。

■ 職場において男女格差を感じる事（問 8）

今の職場に性別による差があるかについては、「⑤ 管理職への登用」「④ 昇進・昇格」で「男性の方が優遇されている」が約 3 割、「⑨ 育児・介護休暇など休暇の取りやすさ」で「女性の方が優遇されている」が約 3 割となっている。

■ 働くうえでの悩みや不満（問 9）

働くうえでの悩みや不安は、「賃金・諸手当が少ない」（32.3%）、「人間関係がむずかしい」（31.5%）、「仕事量が多すぎる」（27.5%）の割合が高くなっている。

■ 働いている理由・目的（問 10）

働いている理由・目的は、既婚では「主たる稼ぎ手ではないが何らかの家計の足しにするため」（60.4%）、未婚と離別・死別では「家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため」（61.7%、88.5%）の割合が最も高くなっている。

■ 今後の働き方（問 11）

今後の働き方については、「現在の雇用形態のまま、できるだけ長く働きたい」が 54.6%、「現在の雇用形態のまま、ある程度働いたら、仕事を辞めたい」が 29.0%となっている。契約・派遣社員とパートで「非正社員から正社員になりたい」と答えた人の割合はそれぞれ 32.4%、15.0%となっている。

■ 女性が職業をもつことに対する意識（問 12）

女性が職業をもつことに対する意識については、結婚や出産にかかわらず仕事を続ける『就業継続型』が 45.6%、子育ての時期だけ一時辞める『再就職型』が 28.5%、結婚後または子どもができたなら家事や子育てに専念する『結婚・出産退職型』が 8.6%となっている。

■ 女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと（問 13）

女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは、「保育所や放課後児童クラブ（あおぞら児童会）など、子どもを預けられる環境の整備」（80.8%）、「女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革」（55.0%）、「男性の家事参加への理解・意識改革」（51.0%）、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」（48.1%）などの割合が高い。

■ 女性の活躍推進に関する情報のうち、特に必要な情報（問 14）

女性の活躍推進に関する情報のうち、特に必要な情報は、「保育所や幼稚園に関する情報（場所、保育料など）」（64.0%）、「放課後児童クラブ（あおぞら児童会）に関する情報（場所、利用料など）」（53.1%）、「仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報（内容、利用方法など）」（49.8%）などの割合が高い。

3. 職場環境について

■ 職場の雰囲気（問 15）

職場の雰囲気については、「① 育児・介護休暇を取るのに抵抗がない」には 48.4%、「② 仕事と家庭・個人の生活を両立させやすい」には 51.7%が『そう思う』と回答している。

■ 職場におけるハラスメントの見聞きや被害経験（問 16）

職場でパワーハラスメントを見聞きしたことがある経験は今の職場 34.8%・以前の職場 20.0%、また被害を受けた経験は今の職場 15.6%・以前の職場 11.5%となっている。セクシュアルハラスメントについては、見聞きした経験が今の職場 19.6%・以前の職場 15.0%、被害を受けた経験が今の職場 9.0%・以前の職場 6.9%となっている。

4. 家庭や生活全般について

■ 家事時間（問 17）

平日の家事時間は、未婚では2時間未満の人が約8割、既婚では2時間以上の人が約7割となっている。世話の必要な子どもがいる人では2時間以上が86.2%を占めている。

休日の家事時間は、未婚では「1時間～2時間未満」、既婚と離別・死別は「5時間以上」の割合が最も高くなっている。世話の必要な子どもがいる人では「5時間以上」が58.4%を占める。

■ 家庭の仕事の役割分担（問 18）

家庭の仕事の役割分担の理想は、「生活費を得ること」は「男女同じ程度の役割」を挙げる人が44.2%であるものの、「主に男性の役割」の回答が上回っている。それ以外の家事に関する項目では、「男女同じ程度の役割」が5割を超えているが、「家計の管理」「食事づくり」「洗濯」では「主に女性の役割」の回答が3割以上である。

役割分担の実際については、「生活費を得ること」は、「主に自分がしている」(33.5%)、「自分と配偶者が同じ程度している」(24.2%)、「主に配偶者がしている」(22.9%)に回答がわかれているが、家事に関する項目はいずれも「主に自分がしている」が5～7割前後を占めている。

既婚では「生活費を得ること」は、「主に配偶者がしている」(39.3%)と「自分と配偶者が同じ程度している」(43.0%)が、ほぼ同程度である。

■ 仕事と家庭生活の両立の負担感（問 19）

仕事と家庭生活の両立に負担感を感じているかたずねたところ、『感じる』が62.3%となっており、『感じない』の33.5%より、28.8ポイント高くなっている。世話の必要な子どもがいる人は『感じる』の割合が78.9%と高い。

■ 生活の中で優先すること（問 20）

希望する生活の中での優先度は、『仕事』と『家庭生活』と『地域活動・個人の生活』をともに優先したいが31.5%で最も高く、次いで『仕事』と『家庭生活』をともに優先したいが23.8%、『家庭生活』を優先したいが17.5%となっている。

実際の生活の中での優先度は、『仕事』を優先しているが36.3%で最も高く、次いで『仕事』と『家庭生活』をともに優先しているが27.7%となっており、理想と異なり『仕事』を優先の割合が高い。

■ 性別役割分担意識（問 21）

「男は仕事、女は家庭」という考え方には『同感する』が28.7%、『同感しない』が65.3%となっており、『同感しない』の方が36.6ポイント高くなっている。『同感しない』の割合は、年齢別では40・50歳代、就労形態別では正社員で高くなっている。

同感する理由として、「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとってよいと思うから」と「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」の割合が高い。

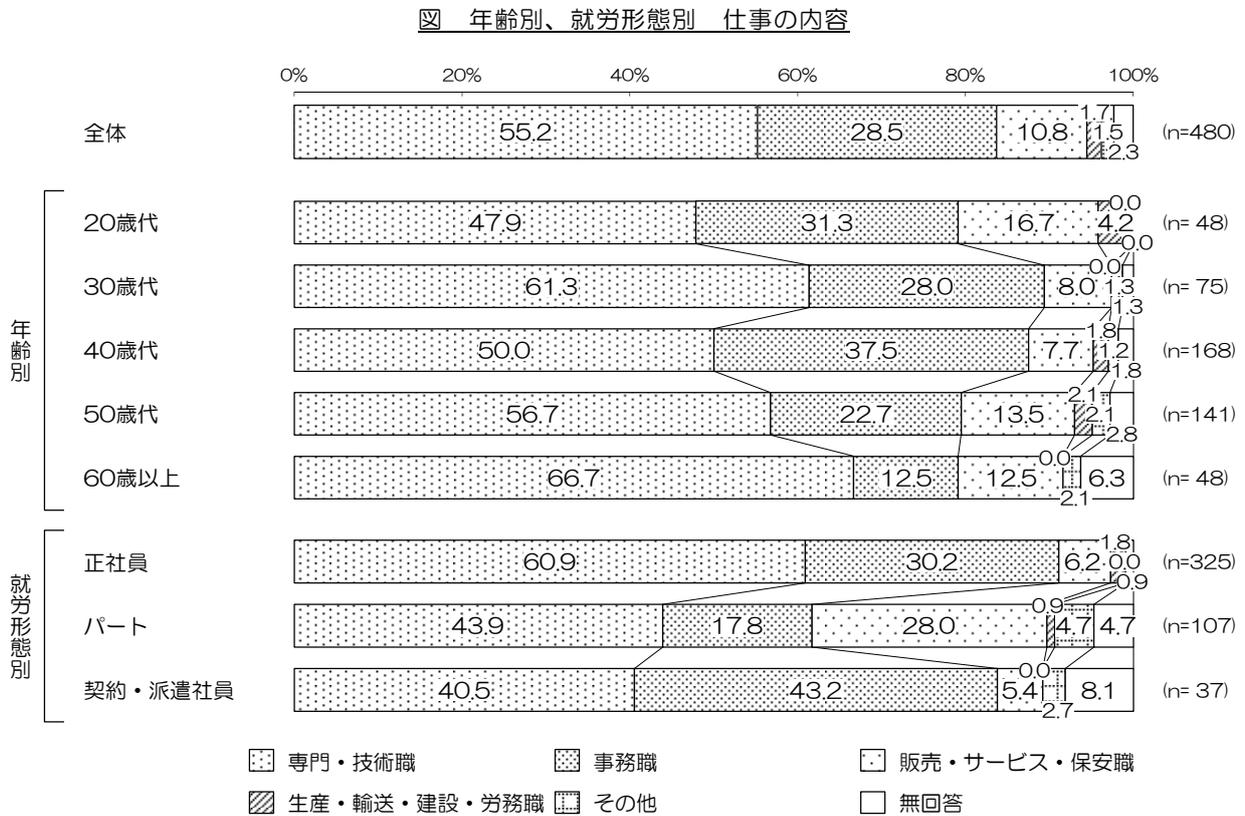
同感しない理由としては「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」(69.6%)の割合が高い。

第4章 調査結果

1. 仕事について

(1) 仕事の内容

問6-1. あなたの仕事の内容は何ですか。(〇は1つ)

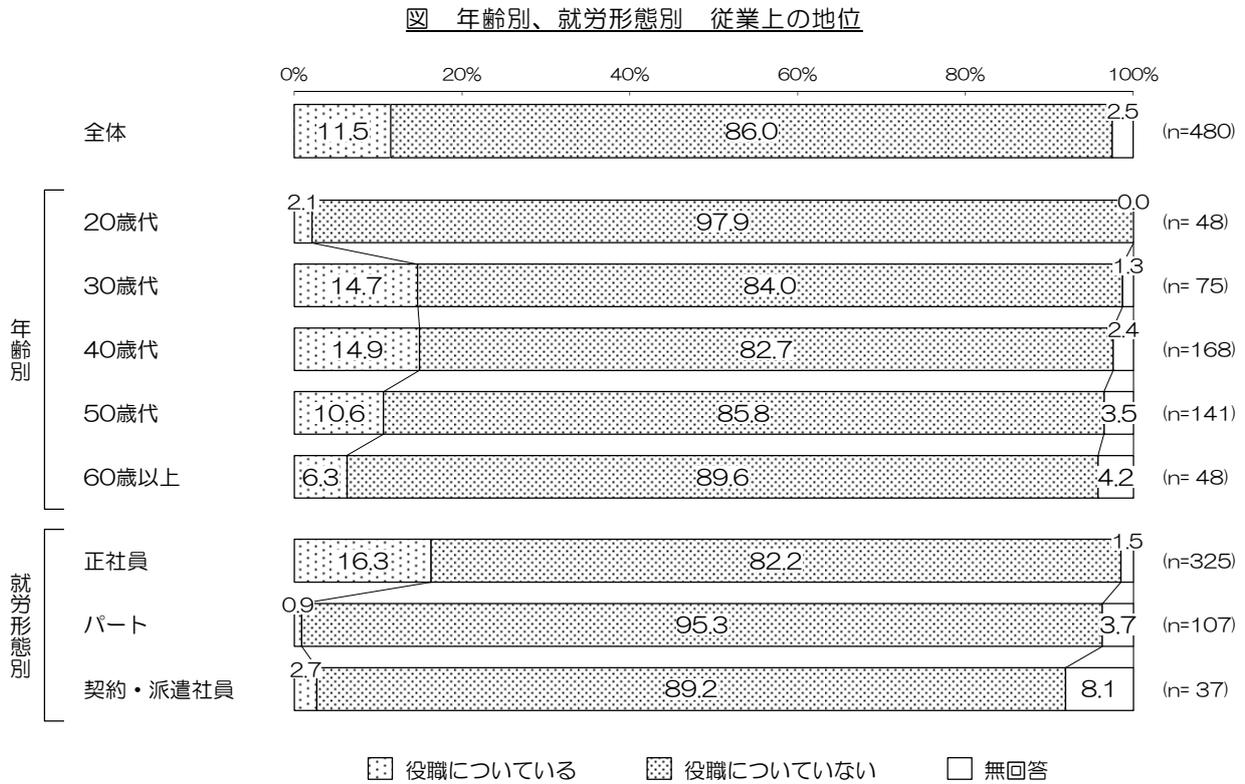


仕事の内容は、「専門・技術職」が55.2%を占め、「事務職」は28.5%、「販売・サービス・保安職」は10.8%となっている。

年齢別にみると、30歳代と50歳代以上で「専門・技術職」の割合が高くなる傾向がみられる。就労形態別にみると、正社員では「専門・技術職」が60.9%を占めている。パートは「販売・サービス・保安職」(28.0%)、契約・派遣社員は「事務職」(43.2%)の割合が他の層よりも高く、「専門・技術職」は5割未満となっている。

(2) 従業上の地位

問 6 - 2. あなたの現在の職場での立場は次のどちらですか。(○は1つ)



職場での立場については、「役職についている」は11.5%、「役職についていない」は86.0%となっている。

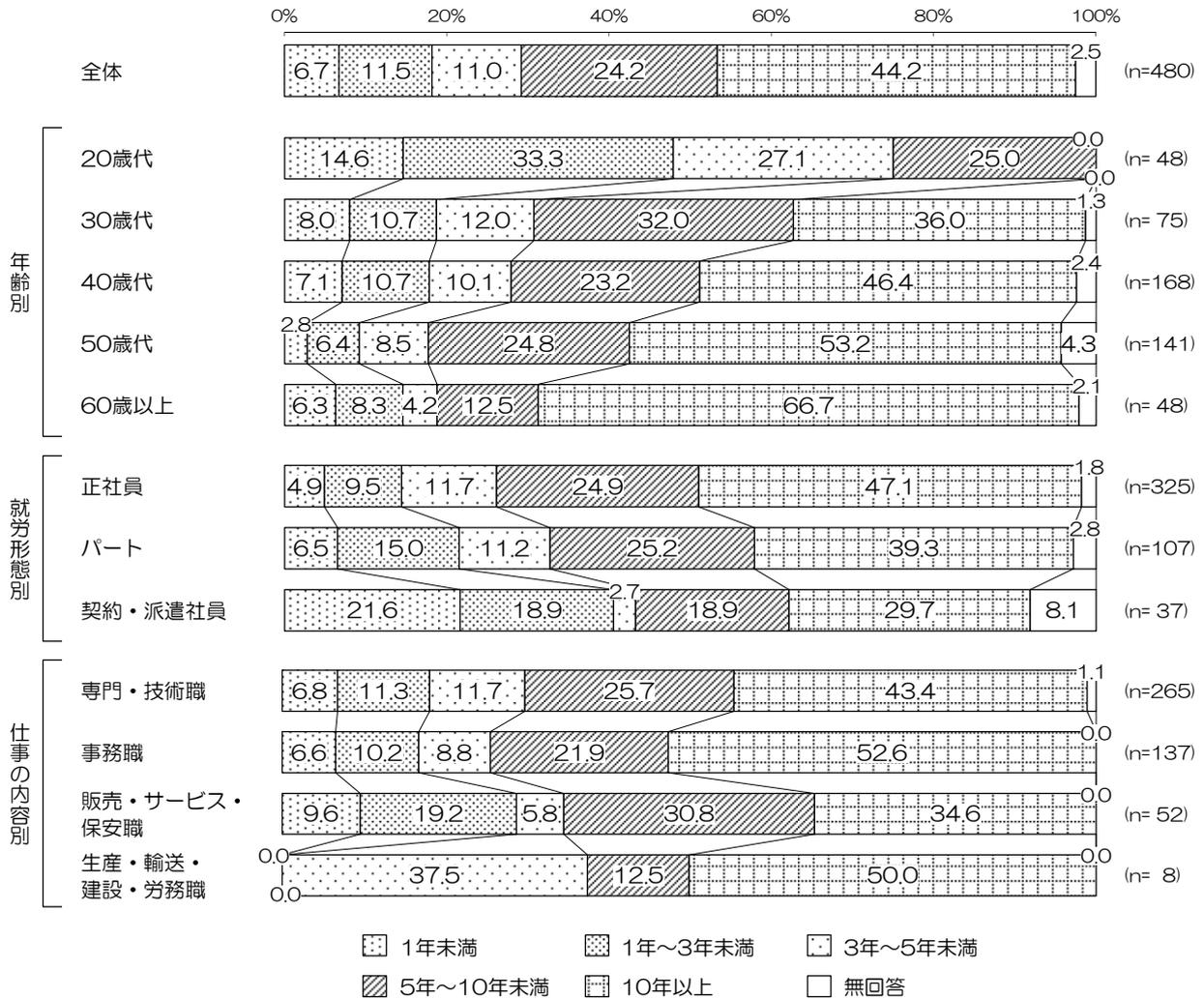
年齢別にみると、20歳代は「役職についている」の割合は2.1%と低く、30・40歳代は「役職についている」が約15%となっている。

就労形態別にみると、パートと契約・派遣社員では「役職についている」が3%未満となっている。

(3) 勤続年数

問6-3. 現在の職場の勤続年数は。(〇は1つ)

図 年齢別、就労形態別、仕事の内容別 勤続年数



勤続年数は、「10年以上」が44.2%、次いで「5年～10年未満」が24.2%となっており、現在の職場で5年以上働いている人が約7割を占めている。

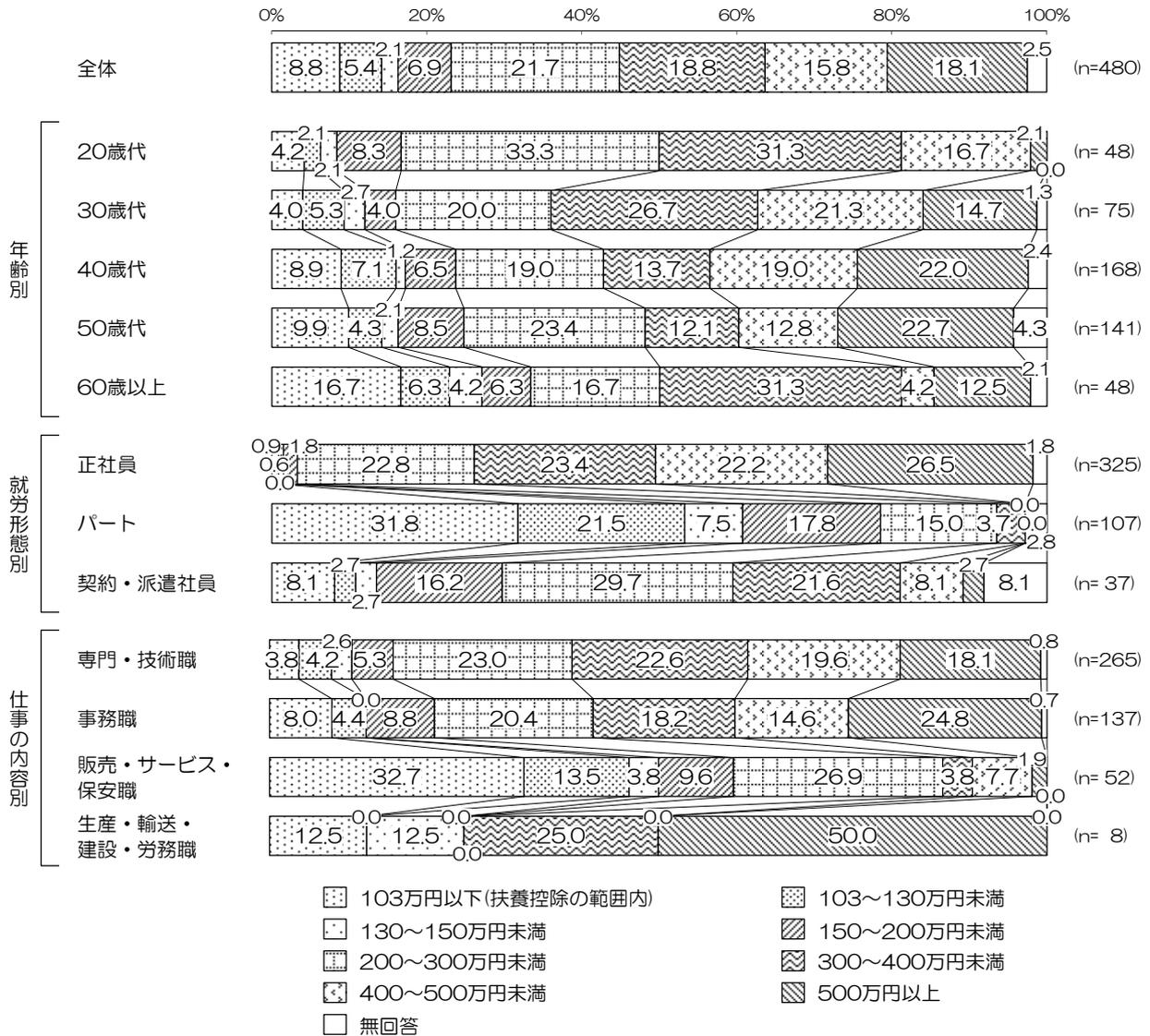
年齢別にみると、「10年以上」の割合が50歳代では53.2%、60歳代では66.7%となっている。就労形態別にみると、正社員と比べてパート、契約・派遣社員の勤続年数は短い傾向がみられる。

仕事の内容別にみると、事務職、専門・技術職の順に勤続年数が長い傾向で、事務職では「10年以上」が52.6%である。販売・サービス・保安職は「1年～3年未満」が19.2%、「5年～10年未満」が30.8%となっており、「10年以上」は34.6%となっている。

(4) 年収

問 6 - 4 . 昨年 1 年間の収入は。(〇は 1 つ)

図 年齢別、就労形態別、仕事の内容別 年収



昨年の 1 年間の収入は、「200~300 万円未満」が 21.7%、「300~400 万円未満」が 18.8%、「500 万円以上」が 18.1%となっている。

年齢別にみると、20 歳代は「200~300 万円未満」(33.3%)と「300~400 万円未満」(31.3%)の合計が 6 割強を占めている。30~50 歳代は 20 歳代と比べて、「200~300 万円未満」「300~400 万円未満」の割合が少なく、150 万円未満と 400 万円以上の両方の割合が高くなっている。

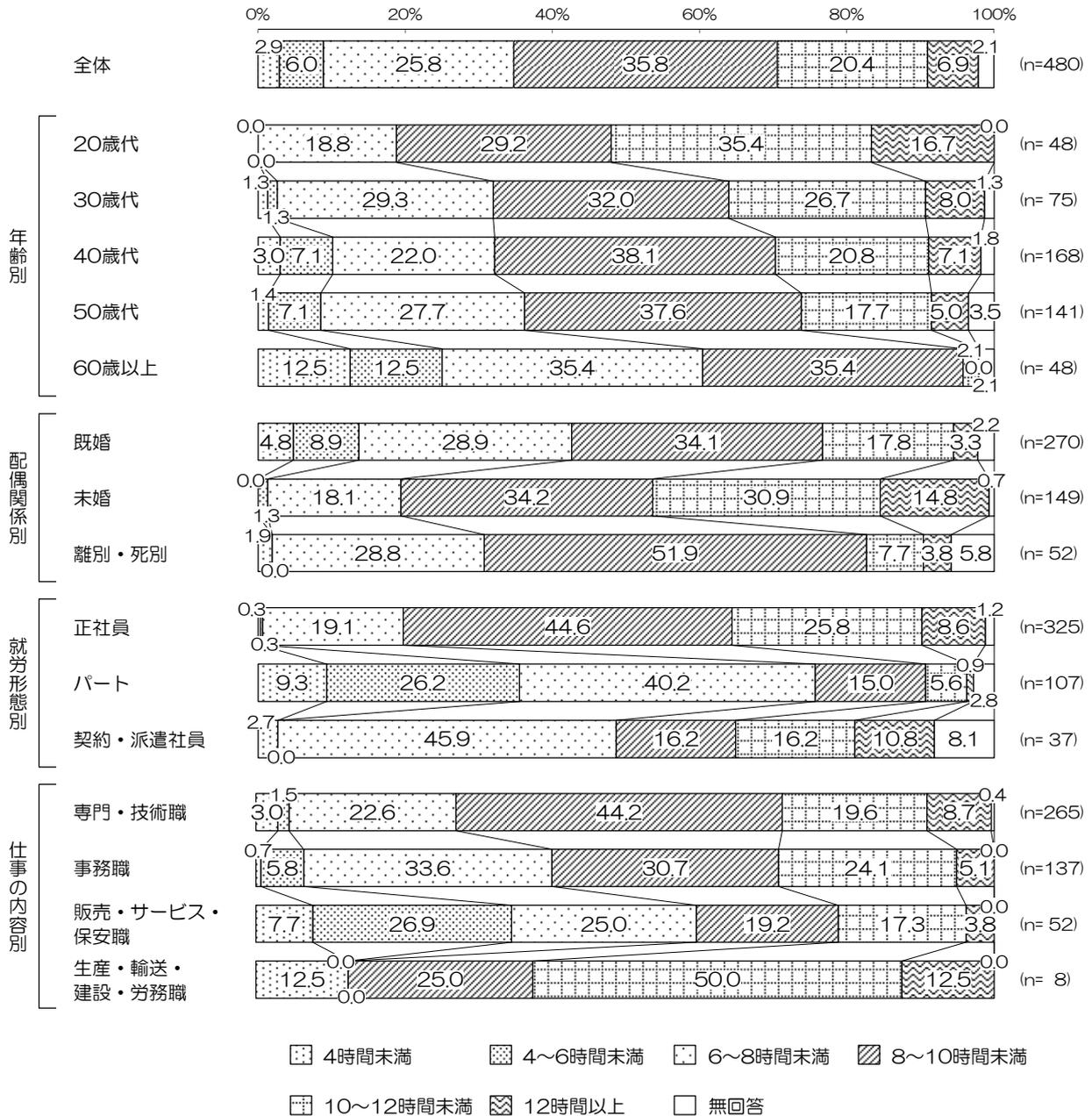
就労形態別にみると、正社員では 200 万円以上が 94.9%、パートでは 200 万未満が 78.6%を占めている。また、パートのうち 31.8%は「103 万円以下 (扶養控除の範囲内)」である。契約・派遣社員は正社員よりも 300 万円未満の割合が高くなっている。

仕事の内容別にみると、販売・サービス・保安職は 300 万円未満の人が 86.5%を占めており、専門・技術職、事務職に比べて年収が低い傾向である。

(5) 就業時間

問6-5. あなたは、普段の1日で仕事にどのくらい時間を使っていますか。※通勤時間を含めた時間でお答えください。(〇は1つ)

図 年齢別、配偶関係別、就労形態別、仕事の内容別 就業時間



1日仕事に費やす時間（通勤時間を含む）は、「8～10時間未満」が35.8%、「6～8時間未満」が25.8%、「10～12時間未満」が20.4%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて仕事に費やす時間が短くなる傾向がみられる。

配偶関係別にみると、8時間未満の人は既婚で42.6%・未婚で19.4%となっており、既婚の方が23.2ポイント高い。

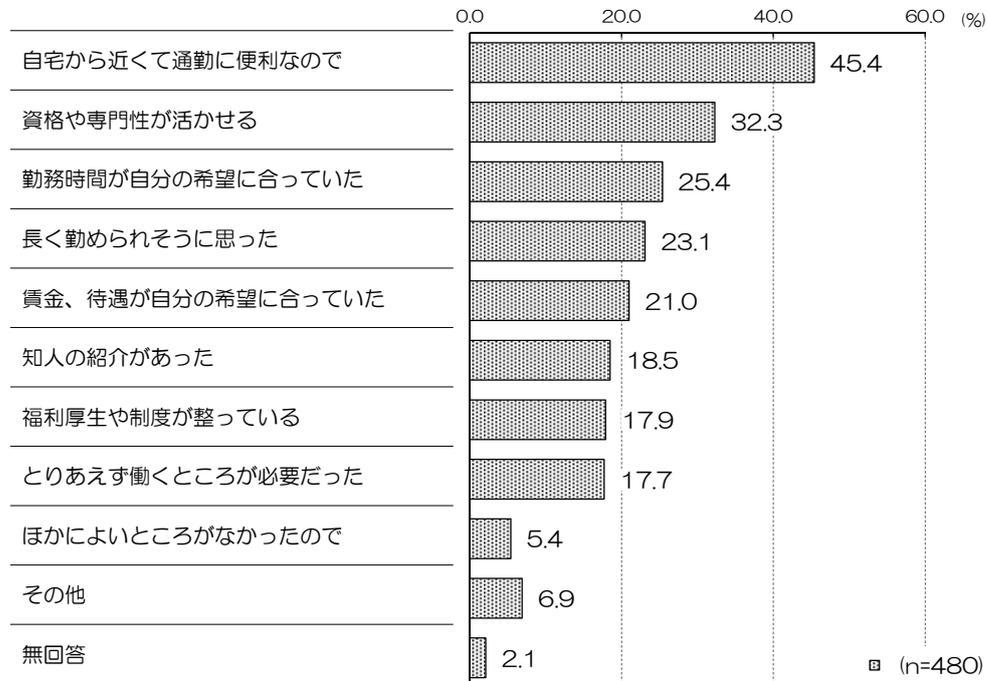
就労形態別にみると、正社員では8時間以上が79.0%を占めている。パートと契約・派遣社員では「6～8時間未満」の割合が4割台で最も高くなっている。

仕事の内容別では、専門・技術職、事務職、販売・サービス・保安職の順に時間が長い傾向である。

(6) 職場の選択理由

問7. あなたが、現在の職場を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図 職場の選択理由



現在の職場を選んだ理由は「自宅から近くて通勤に便利なので」が45.4%で最も高く、次いで「資格や専門性が活かせる」が32.3%、「勤務時間が自分の希望に合っていた」が25.4%、「長く勤められそうに思った」が23.1%、「賃金、待遇が自分の希望に合っていた」が21.0%となっている。

表 年齢別、配偶関係別、就労形態別、仕事の内容別、就業時間別 職場の選択理由

| | 対象者数 (n) | 自宅から近くて通勤に便利なので | 資格や専門性が活かせる | 勤務時間が自分の希望に合っていた | 長く勤められそうに思った | 賃金、待遇が自分の希望に合っていた | 知人の紹介があった | 福利厚生や制度が整っている | とりあえず働くところが必要だった | ほかによいところがなかった | その他 | 無回答 | |
|--------|--------------|-----------------|-------------|------------------|--------------|-------------------|-------------|---------------|------------------|---------------|------|------|-----|
| 全体 | 480 | 45.4 | 32.3 | 25.4 | 23.1 | 21.0 | 18.5 | 17.9 | 17.7 | 5.4 | 6.9 | 2.1 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 31.3 | 33.3 | 10.4 | 29.2 | 25.0 | 12.5 | 41.7 | 20.8 | 10.4 | 8.3 | - |
| | 30歳代 | 75 | 28.0 | 42.7 | 22.7 | 14.7 | 29.3 | 16.0 | 16.0 | 20.0 | 4.0 | 10.7 | 1.3 |
| | 40歳代 | 168 | 47.0 | 29.8 | 32.1 | 27.4 | 19.6 | 16.7 | 17.3 | 12.5 | 5.4 | 6.5 | 1.8 |
| | 50歳代 | 141 | 51.1 | 29.1 | 24.1 | 22.7 | 19.9 | 20.6 | 15.6 | 22.7 | 5.7 | 5.7 | 3.5 |
| | 60歳以上 | 48 | 64.6 | 33.3 | 25.0 | 16.7 | 12.5 | 29.2 | 6.3 | 14.6 | 2.1 | 4.2 | 2.1 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 270 | 51.1 | 32.6 | 33.3 | 25.9 | 21.1 | 14.8 | 15.2 | 13.0 | 4.4 | 5.6 | 2.2 |
| | 未婚 | 149 | 33.6 | 32.9 | 12.1 | 16.1 | 18.8 | 21.5 | 23.5 | 22.8 | 8.7 | 11.4 | 1.3 |
| | 離別・死別 | 52 | 48.1 | 32.7 | 19.2 | 32.7 | 26.9 | 26.9 | 17.3 | 28.8 | 1.9 | 1.9 | 3.8 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 39.4 | 32.3 | 15.4 | 25.2 | 21.8 | 18.5 | 20.6 | 19.1 | 6.5 | 8.9 | 1.2 |
| | パート | 107 | 69.2 | 29.0 | 55.1 | 19.6 | 19.6 | 16.8 | 6.5 | 12.1 | 2.8 | 2.8 | 2.8 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 29.7 | 37.8 | 24.3 | 16.2 | 18.9 | 27.0 | 27.0 | 16.2 | 2.7 | - | 8.1 |
| 仕事の内容別 | 専門・技術職 | 265 | 46.4 | 52.1 | 24.5 | 24.2 | 21.9 | 21.1 | 11.7 | 18.1 | 5.7 | 3.0 | 0.4 |
| | 事務職 | 137 | 40.1 | 6.6 | 21.2 | 24.8 | 19.0 | 16.8 | 24.1 | 15.3 | 4.4 | 15.3 | - |
| | 販売・サービス・保安職 | 52 | 63.5 | 9.6 | 38.5 | 15.4 | 28.8 | 9.6 | 32.7 | 25.0 | 7.7 | 5.8 | - |
| | 生産・輸送・建設・労務職 | 8 | 25.0 | 12.5 | 25.0 | 37.5 | 12.5 | 12.5 | 50.0 | 37.5 | 12.5 | 12.5 | - |
| 就業時間別 | 4時間未満 | 14 | 71.4 | 35.7 | 57.1 | 21.4 | 7.1 | 28.6 | - | 28.6 | - | - | - |
| | 4～6時間未満 | 29 | 75.9 | 17.2 | 72.4 | 27.6 | 20.7 | 6.9 | 10.3 | 10.3 | 6.9 | 3.4 | - |
| | 6～8時間未満 | 124 | 56.5 | 26.6 | 37.9 | 17.7 | 26.6 | 16.9 | 21.8 | 14.5 | 1.6 | 5.6 | - |
| | 8～10時間未満 | 172 | 49.4 | 35.5 | 20.9 | 24.4 | 18.6 | 20.9 | 16.9 | 19.8 | 5.2 | 7.0 | - |
| | 10～12時間未満 | 98 | 26.5 | 35.7 | 8.2 | 28.6 | 24.5 | 18.4 | 21.4 | 19.4 | 10.2 | 11.2 | 1.0 |
| | 12時間以上 | 33 | 15.2 | 48.5 | 6.1 | 21.2 | 12.1 | 21.2 | 18.2 | 21.2 | 9.1 | 6.1 | - |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。
ただし、対象者数(n)が10未満の項目については網掛けを除外している。

年齢別にみると、20歳代は「福利厚生や制度が整っている」が41.7%で最も高く、次いで「資格や専門性が活かせる」が33.3%となっている。30歳代は、「資格や専門性が活かせる」が42.7%で最も高く、次いで「賃金、待遇が自分の希望に合っていた」が29.3%となっている。40歳以上の年齢層では、「自宅から近くて通勤に便利なので」の割合が最も高く、特に60歳以上では64.6%と高い。

配偶関係別にみると、離別・死別では、「とりあえず働くところが必要だった」(28.8%)が全体よりも10ポイント以上割合が高くなっている。既婚では「自宅から近くて通勤に便利なので」「勤務時間が自分の希望に合っていた」の割合が未婚より20ポイント近く高くなっている。

就労形態別にみると、パートは「自宅から近くて通勤に便利なので」(69.2%)と「勤務時間が自分の希望に合っていた」(55.1%)が5割を超えて高くなっている。

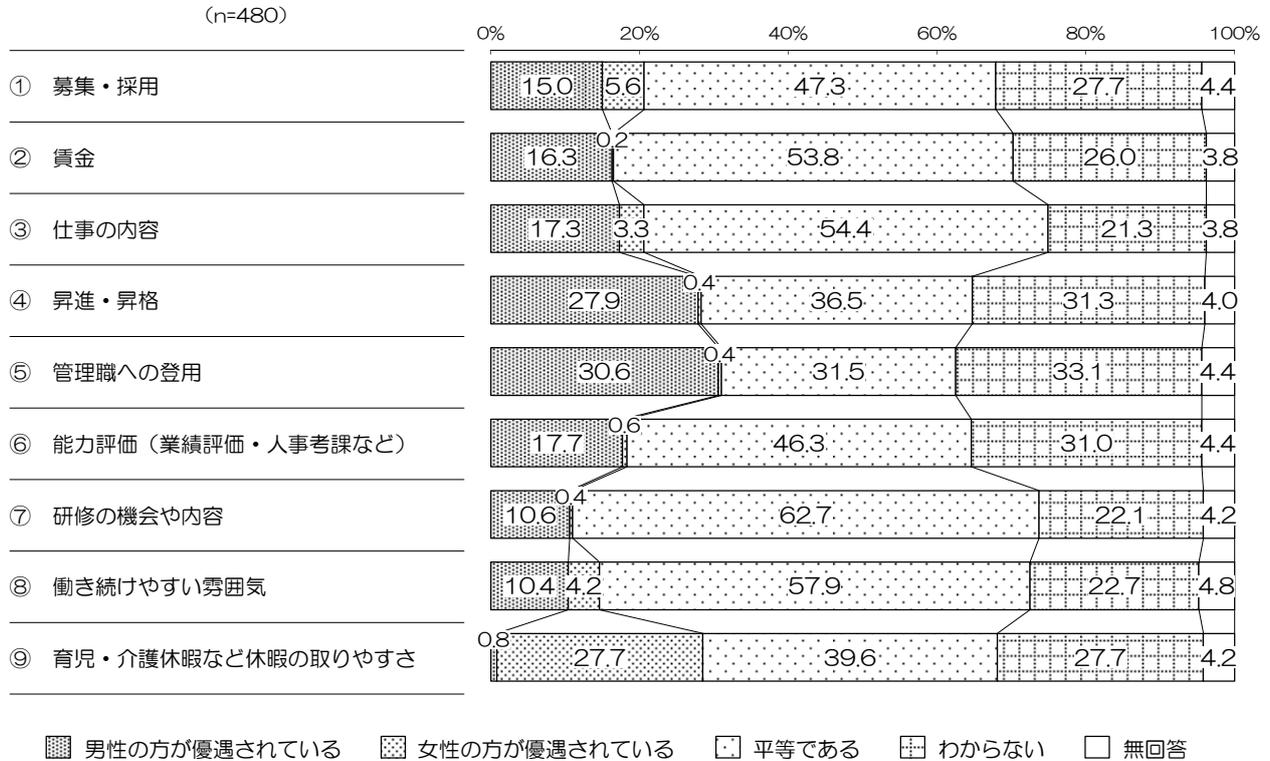
仕事の内容別にみると、専門・技術職では「資格や専門性が活かせる」(52.1%)、販売・サービス・保安職では「自宅から近くて通勤に便利なので」(63.5%)が最も高くなっている。

就業時間別(通勤時間を含む)にみると、仕事の時間が短い層では「自宅から近くて通勤に便利なので」「勤務時間が自分の希望に合っていた」、仕事の時間が長い層では「資格や専門性が活かせる」の割合が高い傾向がみられる。

(7) 職場において男女格差を感じること

問 8. あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。(それぞれ○は1つ)

図 職場において男女格差を感じること



職場において男女格差を感じることは、「⑤ 管理職への登用」と「④ 昇進・昇格」では「男性の方が優遇されている」、「⑨ 育児・介護休暇など休暇の取りやすさ」では「女性の方が優遇されている」の割合が比較的高くなっている。

「平等である」の割合が最も高い分野は「⑦ 研修の機会や内容」(62.7%)であり、また、「⑧ 働き続けやすい雰囲気」(57.9%)、「③ 仕事の内容」(54.4%)、「② 賃金」(53.8%)で「平等である」が5割を超えている。

表 年齢別、就労形態別、仕事の内容別、就業時間別 職場において男女格差を感じることに「平等である」の割合

| | 対象者数 (n) | ① 募集・採用 | ② 賃金 | ③ 仕事の 内容 | ④ 昇進・昇格 | ⑤ 管理職への 登用 | ⑥ 能力評価(業績評価・ 人事考課など) | ⑦ 研修の機会や内容 | ⑧ 働き続けやすい 雰囲気 | ⑨ 育児・介護休暇など 休暇の取りやすさ | |
|------------|--------------|------------|---------|----------------|------------|------------------|----------------------------|---------------|---------------------|----------------------------|------|
| 全体 | 480 | 47.3 | 53.8 | 54.4 | 36.5 | 31.5 | 46.3 | 62.7 | 57.9 | 39.6 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 64.6 | 68.8 | 66.7 | 50.0 | 39.6 | 68.8 | 77.1 | 60.4 | 43.8 |
| | 30歳代 | 75 | 52.0 | 61.3 | 58.7 | 45.3 | 37.3 | 57.3 | 73.3 | 56.0 | 34.7 |
| | 40歳代 | 168 | 47.6 | 51.8 | 52.4 | 35.1 | 32.7 | 46.4 | 64.9 | 63.1 | 42.3 |
| | 50歳代 | 141 | 36.2 | 47.5 | 48.9 | 32.6 | 25.5 | 36.9 | 53.9 | 55.3 | 37.6 |
| | 60歳以上 | 48 | 54.2 | 52.1 | 58.3 | 25.0 | 27.1 | 33.3 | 50.0 | 47.9 | 39.6 |
| 就労 形態別 | 正社員 | 325 | 49.2 | 52.9 | 54.8 | 39.1 | 34.5 | 48.9 | 64.6 | 56.6 | 37.5 |
| | パート | 107 | 45.8 | 57.9 | 56.1 | 32.7 | 25.2 | 43.0 | 55.1 | 60.7 | 41.1 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 35.1 | 48.6 | 45.9 | 29.7 | 29.7 | 32.4 | 62.2 | 56.8 | 51.4 |
| 仕事 の内容別 | 専門・技術職 | 265 | 52.5 | 61.9 | 60.8 | 43.0 | 38.5 | 49.1 | 67.5 | 59.6 | 41.9 |
| | 事務職 | 137 | 38.0 | 37.2 | 46.7 | 27.0 | 24.1 | 42.3 | 56.2 | 60.6 | 38.7 |
| | 販売・サービス・保安職 | 52 | 61.5 | 63.5 | 61.5 | 42.3 | 26.9 | 50.0 | 69.2 | 51.9 | 36.5 |
| | 生産・輸送・建設・労務職 | 8 | - | 62.5 | 25.0 | 12.5 | 12.5 | 75.0 | 62.5 | 50.0 | 37.5 |
| 就業 時間別 | 4時間未満 | 14 | 57.1 | 42.9 | 57.1 | 42.9 | 42.9 | 57.1 | 64.3 | 64.3 | 50.0 |
| | 4～6時間未満 | 29 | 44.8 | 55.2 | 51.7 | 37.9 | 27.6 | 37.9 | 44.8 | 55.2 | 31.0 |
| | 6～8時間未満 | 124 | 48.4 | 56.5 | 59.7 | 36.3 | 31.5 | 46.8 | 62.9 | 64.5 | 41.9 |
| | 8～10時間未満 | 172 | 52.9 | 55.8 | 57.0 | 41.9 | 40.7 | 49.4 | 68.6 | 57.6 | 42.4 |
| | 10～12時間未満 | 98 | 44.9 | 51.0 | 57.1 | 37.8 | 24.5 | 50.0 | 60.2 | 56.1 | 39.8 |
| | 12時間以上 | 33 | 30.3 | 57.6 | 30.3 | 9.1 | 9.1 | 30.3 | 69.7 | 54.5 | 27.3 |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。
ただし、対象者数(n)が10未満の項目については網掛けを除外している。

年齢別にみると、多くの分野では20・30歳代は40歳以上の年齢層と比べて「平等である」の割合が高くなっているが、「⑨ 育児・介護休暇など休暇の取りやすさ」は他の年齢層との大きな違いがみられない。

就労形態別にみると、「⑨ 育児・介護休暇など休暇の取りやすさ」は契約・派遣社員では「平等である」が5割強となっている。

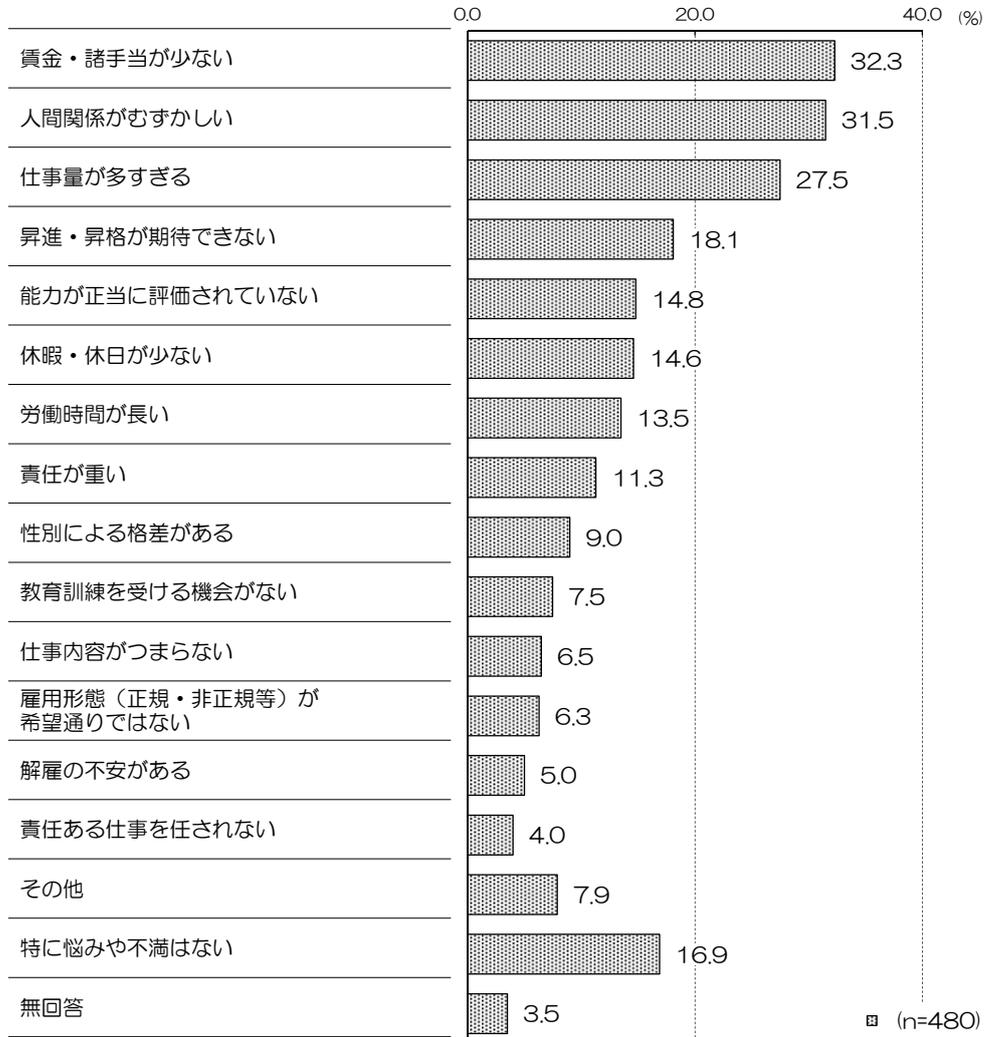
仕事の内容別にみると、事務職は、専門・技術職と販売・サービス・保安職と比べて「平等である」の割合が低い傾向がみられ、特に「② 賃金」に対する「平等である」は37.2%にとどまる。

就業時間別(通勤時間を含む)にみると、12時間以上の層では「④ 昇進・昇格」と「⑤ 管理職への登用」への「平等である」は1割未満と低く、また、「① 募集・採用」「③ 仕事の内容」「⑥ 能力評価(業績評価・人事考課など)」「⑨ 育児・介護休暇など休暇の取りやすさ」でも「平等である」は約3割にとどまっている。

(8) 働くうえでの悩みや不満

問9. あなたが働くうえでの悩みや不満はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

図 働くうえでの悩みや不満



働くうえでの悩みや不安は、「賃金・諸手当が少ない」(32.3%)、「人間関係がむずかしい」(31.5%)、「仕事量が多すぎる」(27.5%)の3項目の割合が特に高くなっている。

表 年齢別、就労形態別、仕事の内容別、就業時間別 働くうえでの悩みや不満

| | 対象者数 (n) | 賃金・諸手当 が少ない | 人間関係が むずかしい | 仕事量が 多すぎる | 昇進・昇格が 期待できない | 評価されてい ない | 能力が正当に 評価されない | 休暇・休日が 少ない | 労働時間が 長い | 責任が重い | 性別による 格差がある |
|--------|--------------|----------------|----------------|--------------|------------------|--------------|------------------|---------------|-------------|-------|----------------|
| 全体 | 480 | 32.3 | 31.5 | 27.5 | 18.1 | 14.8 | 14.6 | 13.5 | 11.3 | 9.0 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 33.3 | 29.2 | 22.9 | 14.6 | 14.6 | 25.0 | 12.5 | 10.4 | |
| | 30歳代 | 75 | 36.0 | 26.7 | 21.3 | 24.0 | 9.3 | 16.0 | 17.3 | 8.0 | |
| | 40歳代 | 168 | 29.2 | 31.0 | 29.2 | 14.9 | 15.5 | 14.3 | 13.1 | 11.3 | 7.7 |
| | 50歳代 | 141 | 36.9 | 36.2 | 32.6 | 25.5 | 19.9 | 16.3 | 10.6 | 10.6 | 12.1 |
| | 60歳以上 | 48 | 22.9 | 29.2 | 20.8 | 2.1 | 6.3 | 8.3 | 6.3 | 8.3 | 4.2 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 34.5 | 36.0 | 31.7 | 17.8 | 18.8 | 17.2 | 16.3 | 13.5 | 11.1 |
| | パート | 107 | 24.3 | 18.7 | 18.7 | 16.8 | 5.6 | 10.3 | 5.6 | 7.5 | 0.9 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 35.1 | 35.1 | 24.3 | 21.6 | 10.8 | 8.1 | 16.2 | 5.4 | 13.5 |
| 仕事の内容別 | 専門・技術職 | 265 | 35.1 | 31.7 | 34.7 | 16.2 | 18.1 | 19.2 | 18.1 | 9.1 | 7.9 |
| | 事務職 | 137 | 27.0 | 34.3 | 17.5 | 22.6 | 14.6 | 8.0 | 8.8 | 16.8 | 13.1 |
| | 販売・サービス・保安職 | 52 | 38.5 | 32.7 | 28.8 | 15.4 | 3.8 | 15.4 | 9.6 | 11.5 | 5.8 |
| | 生産・輸送・建設・労務職 | 8 | 37.5 | 25.0 | 12.5 | 25.0 | - | - | - | 12.5 | 12.5 |
| 就業時間別 | 4時間未満 | 14 | 7.1 | 14.3 | - | 7.1 | - | 7.1 | - | - | - |
| | 4～6時間未満 | 29 | 24.1 | 17.2 | 17.2 | 10.3 | 3.4 | 13.8 | 3.4 | 3.4 | 3.4 |
| | 6～8時間未満 | 124 | 37.9 | 29.8 | 19.4 | 19.4 | 12.1 | 10.5 | 3.2 | 9.7 | 5.6 |
| | 8～10時間未満 | 172 | 32.6 | 35.5 | 27.9 | 19.8 | 15.1 | 15.1 | 12.8 | 12.2 | 7.0 |
| | 10～12時間未満 | 98 | 35.7 | 37.8 | 36.7 | 16.3 | 19.4 | 16.3 | 22.4 | 17.3 | 13.3 |
| | 12時間以上 | 33 | 27.3 | 27.3 | 57.6 | 27.3 | 30.3 | 30.3 | 48.5 | 9.1 | 30.3 |

| | 対象者数 (n) | 教育訓練を受ける 機会がない | 仕事内容が つまらない | 雇用形態(正規・ 非正規等)が希望 通りではない | 解雇の不安がある | 責任ある仕事を 任されない | その他 | 特に悩みや 不満はない | 無回答 | |
|--------|--------------|-------------------|----------------|--------------------------------|----------|------------------|------|----------------|------|------|
| 全体 | 480 | 7.5 | 6.5 | 6.3 | 5.0 | 4.0 | 7.9 | 16.9 | 3.5 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 6.3 | 12.5 | 2.1 | - | 6.3 | 2.1 | 16.7 | - |
| | 30歳代 | 75 | 4.0 | 2.7 | 8.0 | 1.3 | 2.7 | 9.3 | 16.0 | 1.3 |
| | 40歳代 | 168 | 9.5 | 7.1 | 8.3 | 7.1 | 5.4 | 7.7 | 20.2 | 3.0 |
| | 50歳代 | 141 | 9.9 | 7.1 | 5.0 | 7.8 | 3.5 | 10.6 | 9.2 | 4.3 |
| | 60歳以上 | 48 | - | 2.1 | 4.2 | - | - | 4.2 | 29.2 | 10.4 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 7.1 | 8.0 | 2.5 | 1.2 | 4.0 | 8.3 | 13.2 | 2.2 |
| | パート | 107 | 8.4 | 1.9 | 10.3 | 11.2 | 2.8 | 9.3 | 29.0 | 6.5 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 8.1 | 8.1 | 21.6 | 16.2 | 8.1 | 2.7 | 10.8 | 8.1 |
| 仕事の内容別 | 専門・技術職 | 265 | 7.2 | 4.2 | 6.4 | 3.4 | 3.4 | 9.1 | 14.7 | 1.1 |
| | 事務職 | 137 | 7.3 | 12.4 | 6.6 | 5.8 | 5.8 | 6.6 | 21.2 | 0.7 |
| | 販売・サービス・保安職 | 52 | 11.5 | 1.9 | 3.8 | 7.7 | - | 9.6 | 15.4 | 3.8 |
| | 生産・輸送・建設・労務職 | 8 | 12.5 | 25.0 | 12.5 | 12.5 | 12.5 | - | 12.5 | - |
| 就業時間別 | 4時間未満 | 14 | - | - | - | - | - | - | 71.4 | 7.1 |
| | 4～6時間未満 | 29 | 13.8 | 3.4 | 10.3 | 10.3 | - | 3.4 | 27.6 | 3.4 |
| | 6～8時間未満 | 124 | 4.0 | 4.0 | 4.0 | 8.1 | 5.6 | 8.1 | 21.8 | 1.6 |
| | 8～10時間未満 | 172 | 9.3 | 5.8 | 5.8 | 2.9 | 2.9 | 9.9 | 14.0 | 1.7 |
| | 10～12時間未満 | 98 | 8.2 | 13.3 | 9.2 | 4.1 | 3.1 | 8.2 | 11.2 | - |
| | 12時間以上 | 33 | 9.1 | 6.1 | 9.1 | 6.1 | 12.1 | 3.0 | 3.0 | 3.0 |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。
ただし、対象者数(n)が10未満の項目については網掛けを除外している。

年齢別にみると、「労働時間が長い」は20歳代で25.0%、30歳代で17.3%となっている。

就労形態別にみると、契約・派遣社員では「雇用形態(正規・非正規等)が希望通りではない」(21.6%)、「解雇の不安がある」(16.2%)が他の層と比べて高くなっている。

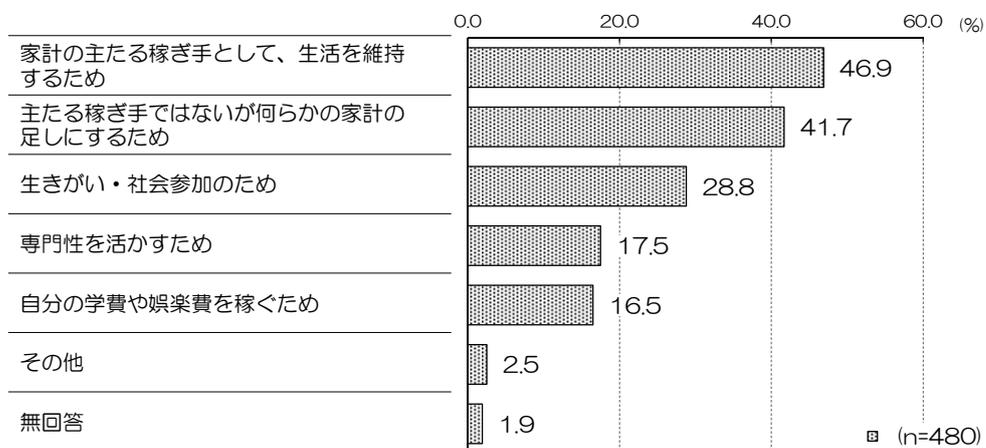
仕事の内容別にみると、専門・技術職では「賃金・諸手当が少ない」と「仕事が多すぎる」がいずれも約35%で高く、事務職では「人間関係がむずかしい」が34.3%で最も高くなっている。

就業時間別(通勤時間を含む)にみると、12時間以上では「仕事が多すぎる」が57.6%、「労働時間が長い」が48.5%となっている。

(9)働いている理由・目的

問10. あなたが働いている理由・目的は何ですか。(〇はいくつでも)

図 働いている理由・目的



働いている理由・目的は「家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため」が 46.9%、「主たる稼ぎ手ではないが何らかの家計の足しにするため」が 41.7%、「生きがい・社会参加のため」が 28.8%となっている。

表 年齢別、配偶関係別、就労形態別、仕事の内容別、年収別 働いている理由・目的

| | 対象者数 (n) | 維持するため | 家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため | 主たる稼ぎ手ではないが何らかの家計の足しにするため | 生きがい・社会参加のため | 専門性を活かすため | 自分の学費や娯楽費を稼ぐため | その他 | 無回答 |
|--------|--------------|--------|------------------------|---------------------------|--------------|-------------|----------------|-----|-----|
| 全体 | 480 | 46.9 | 41.7 | 28.8 | 17.5 | 16.5 | 2.5 | 1.9 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 39.6 | 29.2 | 31.3 | 10.4 | 47.9 | 2.1 | - |
| | 30歳代 | 75 | 41.3 | 52.0 | 34.7 | 24.0 | 16.0 | 4.0 | 1.3 |
| | 40歳代 | 168 | 42.9 | 47.0 | 26.8 | 16.7 | 19.6 | 3.0 | 1.8 |
| | 50歳代 | 141 | 54.6 | 38.3 | 23.4 | 14.2 | 7.1 | 2.1 | 2.8 |
| | 60歳以上 | 48 | 54.2 | 29.2 | 39.6 | 27.1 | 2.1 | - | 2.1 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 270 | 30.7 | 60.4 | 34.4 | 21.1 | 12.6 | 2.6 | 2.2 |
| | 未婚 | 149 | 61.7 | 21.5 | 24.2 | 13.4 | 27.5 | 3.4 | 0.7 |
| | 離別・死別 | 52 | 88.5 | 3.8 | 11.5 | 11.5 | 7.7 | - | 3.8 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 55.1 | 35.4 | 28.0 | 17.5 | 18.2 | 2.8 | 0.9 |
| | パート | 107 | 25.2 | 58.9 | 36.4 | 17.8 | 11.2 | 1.9 | 2.8 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 32.4 | 48.6 | 21.6 | 13.5 | 21.6 | - | 8.1 |
| 仕事の内容別 | 専門・技術職 | 265 | 49.4 | 41.1 | 32.5 | 30.2 | 12.5 | 2.3 | - |
| | 事務職 | 137 | 51.1 | 41.6 | 24.1 | 0.7 | 21.9 | 3.6 | - |
| | 販売・サービス・保安職 | 52 | 36.5 | 48.1 | 23.1 | 3.8 | 26.9 | 1.9 | - |
| | 生産・輸送・建設・労務職 | 8 | 37.5 | 37.5 | 37.5 | 12.5 | 25.0 | - | - |
| 年収別 | 103万円以下 | 42 | 11.9 | 73.8 | 33.3 | 7.1 | 21.4 | - | - |
| | 103～130万円未満 | 26 | 30.8 | 57.7 | 34.6 | 11.5 | 19.2 | 3.8 | - |
| | 130～150万円未満 | 10 | 60.0 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | - | - | - |
| | 150～200万円未満 | 33 | 27.3 | 60.6 | 33.3 | 3.0 | 15.2 | 3.0 | - |
| | 200～300万円未満 | 104 | 51.9 | 42.3 | 16.3 | 10.6 | 17.3 | 1.0 | - |
| | 300～400万円未満 | 90 | 57.8 | 31.1 | 28.9 | 22.2 | 16.7 | 4.4 | - |
| | 400～500万円未満 | 76 | 55.3 | 35.5 | 26.3 | 26.3 | 19.7 | 1.3 | - |
| | 500万円以上 | 87 | 54.0 | 33.3 | 40.2 | 25.3 | 13.8 | 4.6 | - |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。ただし、対象者数(n)が10未満の項目については網掛けを除外している。

年齢別にみると、20歳代は「自分の学費や娯楽費を稼ぐため」が47.9%を占め最も高くなっている。30・40歳代では「主たる稼ぎ手ではないが何らかの家計の足しにするため」、50歳以上の年齢層では「家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため」が、それぞれ約5割を占め最も高くなっている。

配偶関係別にみると、既婚では「主たる稼ぎ手ではないが何らかの家計の足しにするため」、未婚と離別・死別では「家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため」の割合が最も高くなっている。特に離別・死別の「家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため」割合は88.5%と高い。

就労形態別にみると、パートは「主たる稼ぎ手ではないが何らかの家計の足しにするため」が58.9%で最も高く、次いで「生きがい・社会参加のため」が36.4%となっており、「家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため」は25.2%にとどまる。

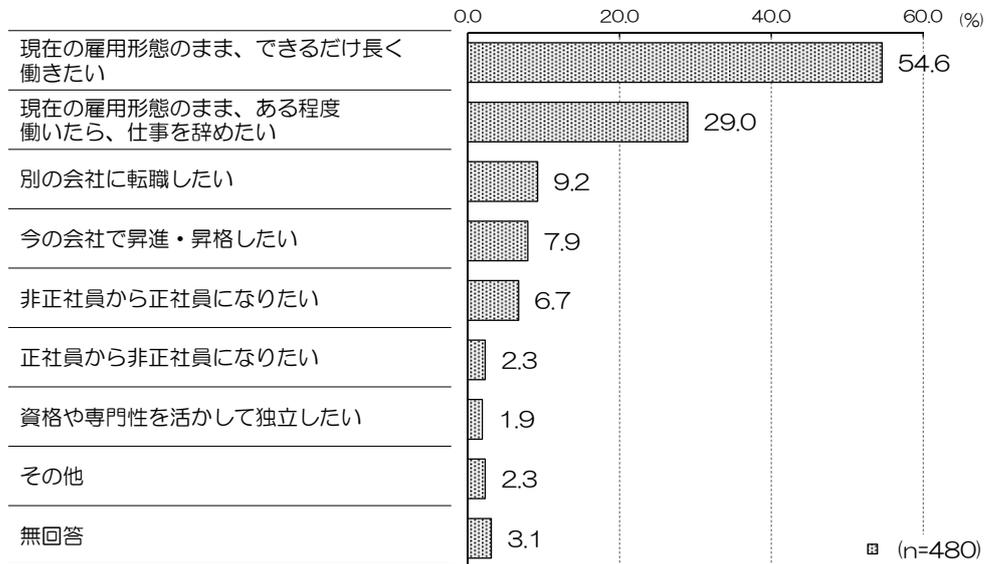
仕事の内容別にみると、専門・技術職では「専門性を活かすため」(30.2%)、販売・サービス・保安職は「自分の学費や娯楽費を稼ぐため」(26.9%)の割合が他の層よりも高くなっている。

年収別にみると、103万円以下の層では「主たる稼ぎ手ではないが何らかの家計の足しにするため」が73.8%となっている。200万円以上の層は、「家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため」が5割台となっている。

(10) 今後の働き方

問11. あなたは、今後どのように働きたいですか。(〇はいくつでも)

図 今後の働き方



今後の働き方の希望は、「現在の雇用形態のまま、できるだけ長く働きたい」が54.6%を占め、次いで、「現在の雇用形態のまま、ある程度働いたら、仕事を辞めたい」が29.0%となっている。

表 年齢別、配偶関係別、就労形態別、仕事の内容別、年収別 今後の働き方

| | 対象者数 (n) | 長く働きたい | 現在の雇用形態のまま、できるだけ働きたい | 現在の雇用形態のまま、ある程度働いたら、仕事を辞めたい | 別の会社に転職したい | 今の会社で昇進・昇格したい | 非正社員から正社員になりたい | 非正社員になりたい | 正社員から正社員になりたい | 資格や専門性を活かして独立したい | その他 | 無回答 |
|--------|--------------|--------|----------------------|-----------------------------|-------------|---------------|----------------|-----------|---------------|------------------|-------------|-----|
| 全体 | 480 | 54.6 | 29.0 | 9.2 | 7.9 | 6.7 | 2.3 | 1.9 | 2.3 | 3.1 | | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 41.7 | 39.6 | 22.9 | 18.8 | 4.2 | 6.3 | 2.1 | - | 2.1 | |
| | 30歳代 | 75 | 52.0 | 22.7 | 14.7 | 14.7 | 8.0 | 4.0 | 1.3 | 8.0 | 2.7 | |
| | 40歳代 | 168 | 58.3 | 23.8 | 10.1 | 6.0 | 8.3 | 1.2 | 1.8 | 2.4 | 1.8 | |
| | 50歳代 | 141 | 56.7 | 30.5 | 3.5 | 5.7 | 7.1 | 1.4 | 2.8 | 0.7 | 3.5 | |
| | 60歳以上 | 48 | 52.1 | 41.7 | - | - | - | 2.1 | - | - | 8.3 | |
| 配偶関係別 | 既婚 | 270 | 59.6 | 27.4 | 7.8 | 7.0 | 7.4 | 2.6 | 0.7 | 1.9 | 3.0 | |
| | 未婚 | 149 | 47.0 | 31.5 | 12.1 | 10.7 | 4.0 | 2.7 | 1.3 | 3.4 | 3.4 | |
| | 離別・死別 | 52 | 48.1 | 30.8 | 9.6 | 5.8 | 9.6 | - | 9.6 | 1.9 | 3.8 | |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 54.5 | 33.5 | 10.8 | 9.2 | - | 3.4 | 2.2 | 2.2 | 2.2 | |
| | パート | 107 | 61.7 | 20.6 | 6.5 | 2.8 | 15.0 | - | 0.9 | 2.8 | 2.8 | |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 32.4 | 18.9 | 5.4 | 10.8 | 32.4 | - | 2.7 | - | 13.5 | |
| 仕事の内容別 | 専門・技術職 | 265 | 54.0 | 31.3 | 9.1 | 7.5 | 4.2 | 3.8 | 2.3 | 3.4 | 1.9 | |
| | 事務職 | 137 | 54.7 | 30.7 | 10.2 | 7.3 | 10.9 | - | 2.2 | 1.5 | 0.7 | |
| | 販売・サービス・保安職 | 52 | 63.5 | 23.1 | 9.6 | 9.6 | 3.8 | 1.9 | - | - | - | |
| | 生産・輸送・建設・労務職 | 8 | 75.0 | 12.5 | 12.5 | 37.5 | 12.5 | - | - | - | - | |
| 年収別 | 103万円以下 | 42 | 83.3 | 11.9 | 4.8 | 4.8 | 16.7 | - | - | 2.4 | - | |
| | 103～130万円未満 | 26 | 65.4 | 15.4 | 7.7 | 3.8 | 19.2 | - | 3.8 | - | - | |
| | 130～150万円未満 | 10 | 40.0 | 40.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | - | - | - | - | |
| | 150～200万円未満 | 33 | 39.4 | 33.3 | 6.1 | 3.0 | 15.2 | - | - | 3.0 | 3.0 | |
| | 200～300万円未満 | 104 | 52.9 | 29.8 | 16.3 | 7.7 | 8.7 | 2.9 | 2.9 | 1.0 | 1.9 | |
| | 300～400万円未満 | 90 | 50.0 | 30.0 | 13.3 | 11.1 | 1.1 | 4.4 | 1.1 | 4.4 | 1.1 | |
| | 400～500万円未満 | 76 | 47.4 | 40.8 | 6.6 | 9.2 | 5.3 | 2.6 | 5.3 | 3.9 | - | |
| | 500万円以上 | 87 | 63.2 | 28.7 | 3.4 | 9.2 | - | 2.3 | - | - | 2.3 | |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より 10 ポイント以上高い項目、薄い網掛けは 5 ポイント以上高い項目を示す。
ただし、対象者数数 (n) が 10 未満の項目については網掛けを除外している。

年齢別にみると、20 歳代は「現在の雇用形態のまま、ある程度働いたら、仕事を辞めたい」(39.6%)、「別の会社に転職したい」(22.9%)、「今の会社で昇進・昇格したい」(18.8%)がいずれも全体より 10 ポイント以上高くなっている。

配偶関係別にみると、既婚では「現在の雇用形態のまま、できるだけ長く働きたい」が 59.6%と特に高くなっている。

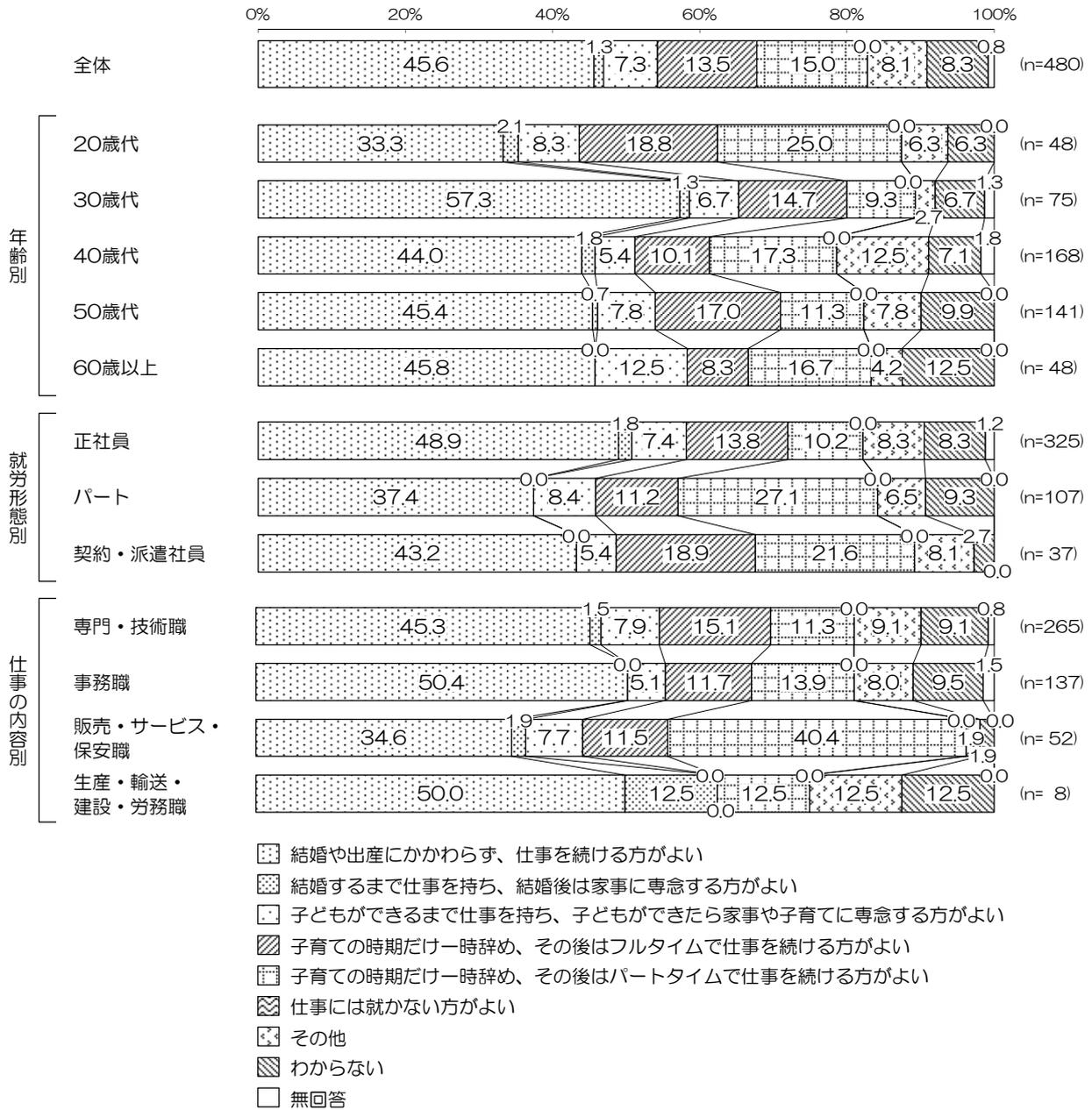
就労形態別にみると、「非正社員から正社員になりたい」が契約・派遣社員では 32.4%、パートでは 15.0%となっている。

年収別にみると、130 万円未満の層では、「現在の雇用形態のまま、できるだけ長く働きたい」と「非正社員から正社員になりたい」の割合が、130 万円以上の層より高くなっている。

(11) 女性が職業をもつことに対する意識

問12. 女性と仕事について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

図 年齢別、就労形態別、仕事の内容別 女性が職業をもつことに対する意識



女性と仕事の考え方は、結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよいとする『就業継続型』が45.6%と高く、子育ての時期だけ一時辞め、その後はフルタイムまたはパートタイムで仕事を続ける方がよいとする『再就職型』が28.5%、結婚後または子どもができたなら家事や子育てに専念する方がよいとする『結婚・出産退職型』が8.6%となっている。

年齢別にみると、20歳代では『再就職型』(43.8%)、30歳代は『就業継続型』(57.3%)の割合が高くなっている。

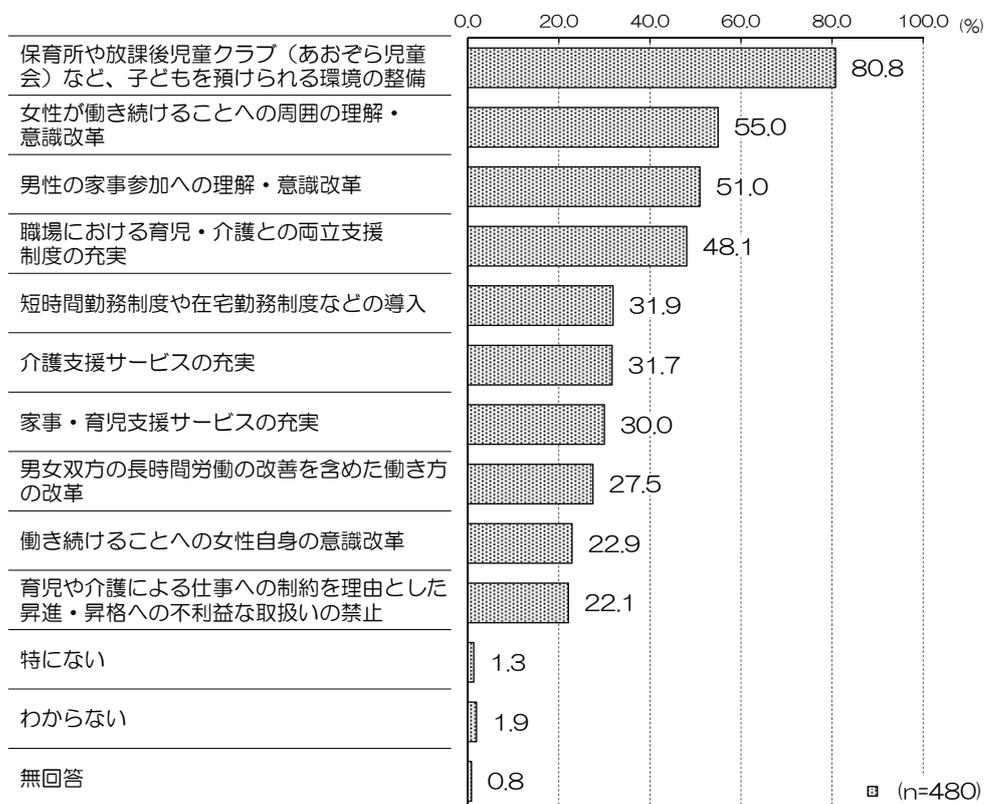
就労形態別にみると、パートは『就業継続型』よりも『再就職型』の割合が高くなっている。

仕事の内容別にみると、販売・サービス・保安職では「子育ての時期だけ一時辞め、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」が40.4%で他よりも高くなっている。

(12) 女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと

問13. あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

図 女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと



女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために家庭・社会・職場において必要なことは、「保育所や放課後児童クラブ（あおぞら児童会）など、子どもを預けられる環境の整備」が80.8%で特に高く、これに「女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革」（55.0%）、「男性の家事参加への理解・意識改革」（51.0%）、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」（48.1%）が5割前後で続いている。

表 年齢別、配偶関係別、子ども・要介護者の有無別、就業時間別

女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと

| | 対象者数 (n) | 保育所や放課後児童クラブ (あおぞら児童会) など、子どもを預けられる環境の整備 | 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革 | 男性の家事参加への理解・意識改革 | 職場における育児・介護の両立支援制度の充実 | 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入 | 介護支援サービスの充実 | 家事・育児支援サービスの充実 | 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の改革 | 働き続けることへの女性自身の意識改革 | 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進・昇格への不利益な取扱いの禁止 | |
|----------|------------|--|------------------------|------------------|-----------------------|---------------------|-------------|----------------|-------------------------|--------------------|---------------------------------------|------|
| 全体 | 480 | 80.8 | 55.0 | 51.0 | 48.1 | 31.9 | 31.7 | 30.0 | 27.5 | 22.9 | 22.1 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 91.7 | 56.3 | 62.5 | 41.7 | 45.8 | 10.4 | 33.3 | 39.6 | 25.0 | 18.8 |
| | 30歳代 | 75 | 84.0 | 60.0 | 50.7 | 50.7 | 42.7 | 24.0 | 30.7 | 29.3 | 18.7 | 24.0 |
| | 40歳代 | 168 | 79.8 | 54.2 | 56.5 | 50.6 | 33.3 | 32.1 | 31.5 | 26.8 | 25.0 | 24.4 |
| | 50歳代 | 141 | 80.1 | 53.2 | 42.6 | 51.8 | 24.8 | 45.4 | 30.5 | 28.4 | 22.0 | 24.8 |
| | 60歳以上 | 48 | 70.8 | 54.2 | 45.8 | 31.3 | 16.7 | 22.9 | 18.8 | 12.5 | 22.9 | 6.3 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 270 | 80.7 | 55.6 | 55.6 | 51.9 | 33.0 | 30.0 | 31.9 | 28.1 | 22.6 | 23.0 |
| | 未婚 | 149 | 81.9 | 53.7 | 49.7 | 41.6 | 33.6 | 30.9 | 32.9 | 28.9 | 26.8 | 22.8 |
| | 離別・死別 | 52 | 84.6 | 53.8 | 36.5 | 48.1 | 21.2 | 46.2 | 17.3 | 21.2 | 15.4 | 17.3 |
| 子ども・要介護別 | 子どもがいる | 166 | 85.5 | 57.8 | 60.2 | 56.6 | 36.7 | 25.3 | 31.9 | 29.5 | 20.5 | 25.9 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | 79.2 | 60.4 | 47.2 | 58.5 | 34.0 | 69.8 | 28.3 | 24.5 | 24.5 | 24.5 |
| | いずれもない | 257 | 77.8 | 52.1 | 46.3 | 42.4 | 28.8 | 29.2 | 29.6 | 27.2 | 24.5 | 19.8 |
| 就業時間別 | 4時間未満 | 14 | 57.1 | 42.9 | 28.6 | 42.9 | 28.6 | 14.3 | 14.3 | 7.1 | 14.3 | 14.3 |
| | 4～6時間未満 | 29 | 69.0 | 48.3 | 62.1 | 44.8 | 41.4 | 20.7 | 20.7 | 20.7 | 3.4 | 24.1 |
| | 6～8時間未満 | 124 | 80.6 | 54.8 | 54.8 | 44.4 | 29.8 | 32.3 | 31.5 | 23.4 | 22.6 | 18.5 |
| | 8～10時間未満 | 172 | 80.8 | 54.1 | 44.2 | 50.6 | 24.4 | 31.4 | 27.9 | 26.2 | 21.5 | 20.9 |
| | 10～12時間未満 | 98 | 89.8 | 56.1 | 59.2 | 46.9 | 40.8 | 35.7 | 30.6 | 35.7 | 31.6 | 19.4 |
| | 12時間以上 | 33 | 78.8 | 60.6 | 48.5 | 54.5 | 45.5 | 36.4 | 51.5 | 42.4 | 30.3 | 42.4 |

| | 対象者数 (n) | 特にない | わからない | 無回答 | |
|----------|------------|------|-------|-----|-----|
| 全体 | 480 | 1.3 | 1.9 | 0.8 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | - | 2.1 | - |
| | 30歳代 | 75 | 2.7 | - | 1.3 |
| | 40歳代 | 168 | 1.2 | 1.8 | 0.6 |
| | 50歳代 | 141 | 0.7 | 2.8 | 0.7 |
| | 60歳以上 | 48 | 2.1 | 2.1 | 2.1 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 270 | 1.1 | 0.7 | 1.1 |
| | 未婚 | 149 | 1.3 | 3.4 | 0.7 |
| | 離別・死別 | 52 | 1.9 | - | - |
| 子ども・要介護別 | 子どもがいる | 166 | 0.6 | 0.6 | 1.2 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | - | - | 1.9 |
| | いずれもない | 257 | 1.6 | 3.1 | 0.4 |
| 就業時間別 | 4時間未満 | 14 | 7.1 | - | - |
| | 4～6時間未満 | 29 | - | 3.4 | 3.4 |
| | 6～8時間未満 | 124 | - | 1.6 | 0.8 |
| | 8～10時間未満 | 172 | 2.3 | 2.9 | - |
| | 10～12時間未満 | 98 | 1.0 | - | 2.0 |
| | 12時間以上 | 33 | - | 3.0 | - |

年齢別にみると、20歳代は「保育所や放課後児童クラブ (あおぞら児童会) など、子どもを預けられる環境の整備」が91.7%と特に高くなっている。また、20歳代と30歳代では「短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入」が他の年齢層よりも高くなっている。50歳代では「介護支援サービスの充実」の割合が45.4%と比較的高い。

配偶関係別にみると、離別・死別では「介護支援サービスの充実」(46.2%)が他の層よりも割合が高くなっている。

子ども・要介護者の有無別では、介護の必要な者がいる人は「介護支援サービスの充実」が69.8%となっている。

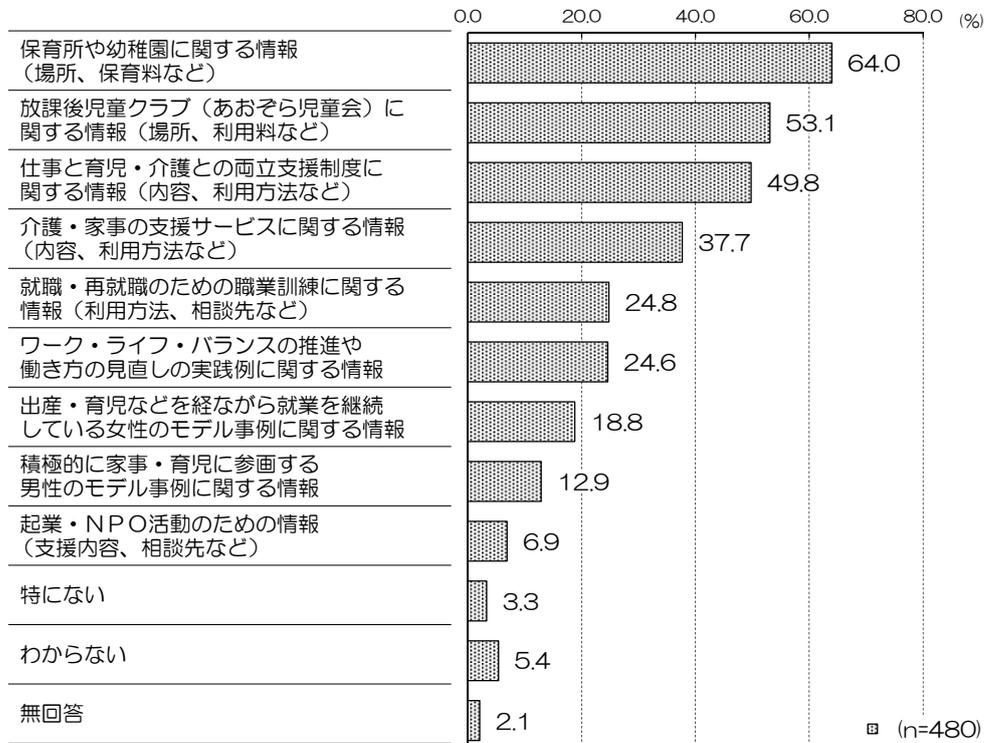
就業時間別 (通勤時間を含む) にみると、ほとんどの項目で働く時間が長い層ほど回答割合が高くなっており、12時間以上働いている人では8項目で4割を超えている。

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。

(13) 女性の活躍推進に関する情報のうち、特に必要な情報

問14. あなたは、女性の職業生活における活躍をすすめるための取組に関する情報のうち、どの情報が特に必要になると感じますか。(〇はいくつでも)

図 女性の活躍推進に関する情報のうち、特に必要な情報



女性の職業生活における活躍をすすめるための取組に関する情報のうち特に必要な情報は、「保育所や幼稚園に関する情報 (場所、保育料など)」が 64.0%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ (あおぞら児童会) に関する情報 (場所、利用料など)」が 53.1%、「仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報 (内容、利用方法など)」が 49.8%となっている。

表 年齢別、就労形態別、子ども・要介護者の有無別 女性の活躍推進に関する情報のうち、特に必要な情報

| | 対象者数 (n) | 保育所や幼稚園に関する情報 (場所、保育料など) | 放課後児童クラブ (あおぞら児童会) に関する情報 (場所、利用料など) | 仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報 (内容、利用方法など) | 介護・家事の支援サービスに関する情報 (内容、利用方法など) | 就職・再就職のための職業訓練に関する情報 (利用方法、相談先など) | ワーク・ライフ・バランスの推進や働き方の見直しの実践例に関する情報 | |
|----------|------------|--------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------|
| 全体 | 480 | 64.0 | 53.1 | 49.8 | 37.7 | 24.8 | 24.6 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 81.3 | 45.8 | 52.1 | 16.7 | 25.0 | 31.3 |
| | 30歳代 | 75 | 73.3 | 68.0 | 46.7 | 26.7 | 10.7 | 17.3 |
| | 40歳代 | 168 | 63.7 | 58.3 | 52.4 | 38.7 | 29.8 | 25.6 |
| | 50歳代 | 141 | 56.7 | 46.8 | 50.4 | 53.2 | 26.2 | 24.8 |
| | 60歳以上 | 48 | 54.2 | 37.5 | 41.7 | 27.1 | 25.0 | 25.0 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 63.4 | 54.2 | 50.5 | 37.8 | 22.8 | 29.2 |
| | パート | 107 | 69.2 | 54.2 | 43.0 | 39.3 | 27.1 | 14.0 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 51.4 | 35.1 | 54.1 | 27.0 | 35.1 | 21.6 |
| 子ども・要介護別 | 子どもがいる | 166 | 66.3 | 62.0 | 51.2 | 34.9 | 22.9 | 22.3 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | 67.9 | 52.8 | 66.0 | 66.0 | 24.5 | 34.0 |
| | いずれもない | 257 | 61.9 | 47.9 | 45.9 | 34.6 | 26.1 | 24.5 |

| | 対象者数 (n) | 出産・育児などを経ながら就業を継続している女性のモデル事例に関する情報 | 積極的に家事・育児に参画する男性のモデル事例に関する情報 | 起業・NPO活動のための情報 (支援内容、相談先など) | 特になし | わからない | 無回答 | |
|----------|------------|-------------------------------------|------------------------------|-----------------------------|------|-------|------|-----|
| 全体 | 480 | 18.8 | 12.9 | 6.9 | 3.3 | 5.4 | 2.1 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 37.5 | 16.7 | 6.3 | - | 2.1 | 2.1 |
| | 30歳代 | 75 | 24.0 | 18.7 | 4.0 | 5.3 | 1.3 | 1.3 |
| | 40歳代 | 168 | 15.5 | 14.3 | 8.9 | 2.4 | 6.0 | 1.8 |
| | 50歳代 | 141 | 14.2 | 10.6 | 7.1 | 2.8 | 6.4 | 2.1 |
| | 60歳以上 | 48 | 16.7 | 2.1 | 4.2 | 8.3 | 10.4 | 4.2 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 20.6 | 13.2 | 8.0 | 3.4 | 4.9 | 2.5 |
| | パート | 107 | 11.2 | 13.1 | 4.7 | 3.7 | 7.5 | 1.9 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 24.3 | 13.5 | 5.4 | 2.7 | 2.7 | - |
| 子ども・要介護別 | 子どもがいる | 166 | 16.3 | 16.3 | 5.4 | 1.8 | 6.0 | 1.8 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | 22.6 | 18.9 | 9.4 | 1.9 | - | - |
| | いずれもない | 257 | 19.5 | 10.1 | 7.8 | 4.3 | 6.2 | 2.7 |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。

年齢別にみると、「保育所や幼稚園に関する情報 (場所、保育料など)」はいずれの年齢層でも5割を超えて最も高くなっているが、なかでも20歳代 (81.3%)、30歳代 (73.3%) で特に高くなっている。また、20歳代では「出産・育児などを経ながら就業を継続している女性のモデル事例に関する情報」 (37.5%)、30歳代では「放課後児童クラブ (あおぞら児童会) に関する情報 (場所、利用料など)」 (68.0%) が他の年齢層よりも高くなっている。50歳代では「保育所や幼稚園に関する情報 (場所、保育料など)」 (56.7%) に次いで、「介護・家事の支援サービスに関する情報 (内容、利用方法など)」の割合が53.2%と高くなっている。

就労形態別にみると、契約・派遣社員では「就職・再就職のための職業訓練に関する情報 (利用方法、相談先など)」が35.1%と全体よりも高い。

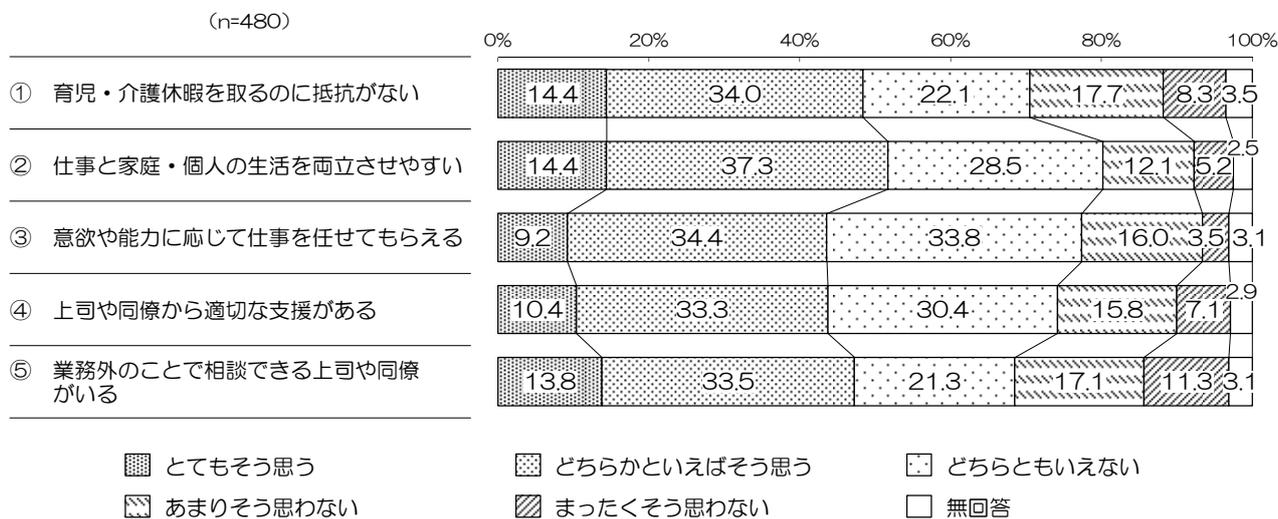
子ども・要介護者の有無別では、介護の必要な者がいる人は「保育所や幼稚園に関する情報 (場所、保育料など)」「介護・家事の支援サービスに関する情報 (内容、利用方法など)」「仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報 (内容、利用方法など)」の割合が6割を超えている。

2. 職場環境について

(1) 職場の雰囲気

問15. あなたは今の職場の雰囲気について、どのように感じますか。(各項目に○は1つ)

図 職場の雰囲気

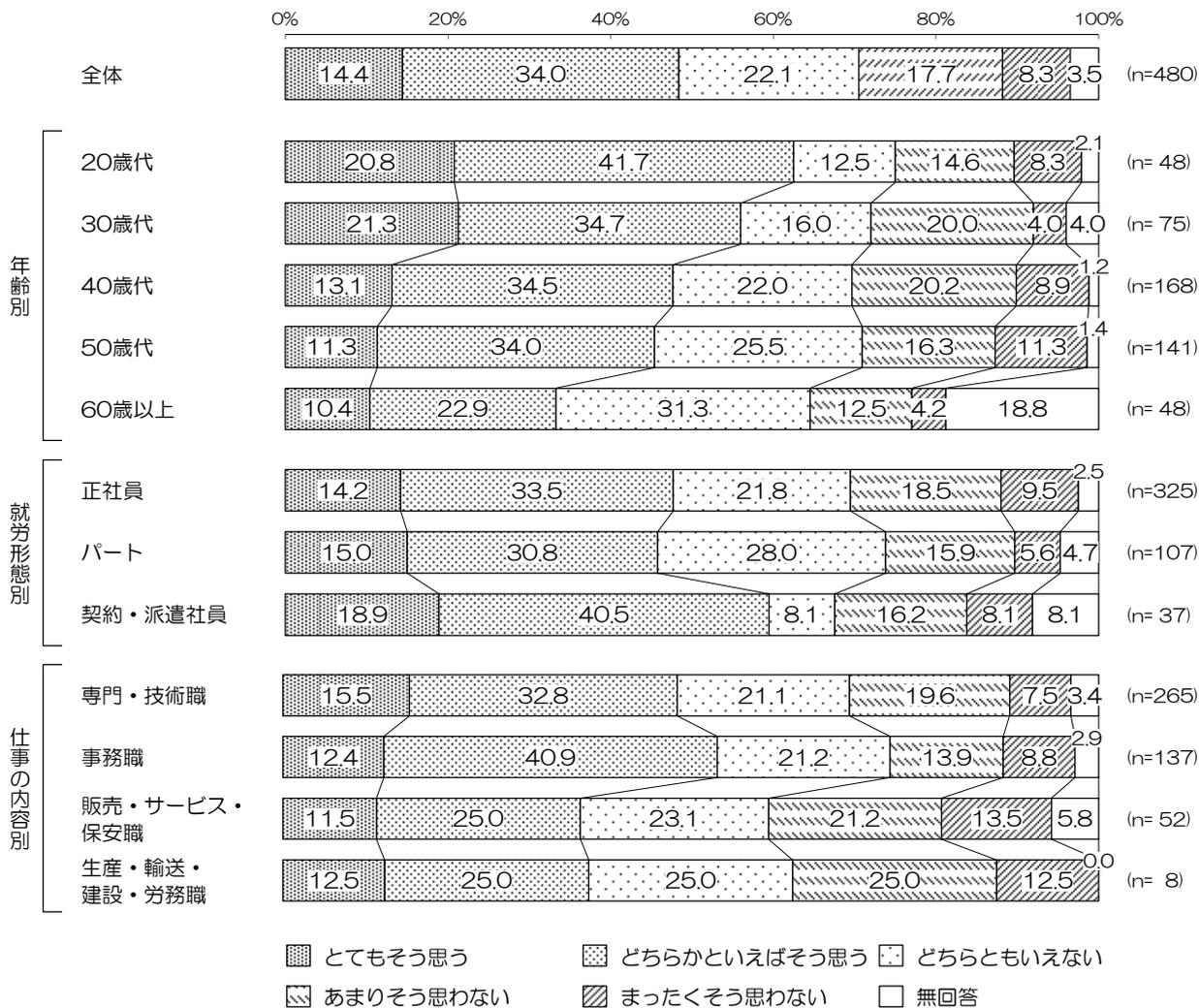


職場の雰囲気については、「② 仕事と家庭・個人の生活を両立させやすい」で『そう思う』（「とてもそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が51.7%と高く、『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計）は17.3%と比較的低い。

「① 育児・介護休暇を取るのに抵抗がない」と「⑤ 業務外のことで相談できる上司や同僚がいる」は『そう思う』が5割弱を占めているが、『そう思わない』もそれぞれ26.0%、28.4%と、やや高くなっている。

① 育児・介護休暇を取るのに抵抗がない

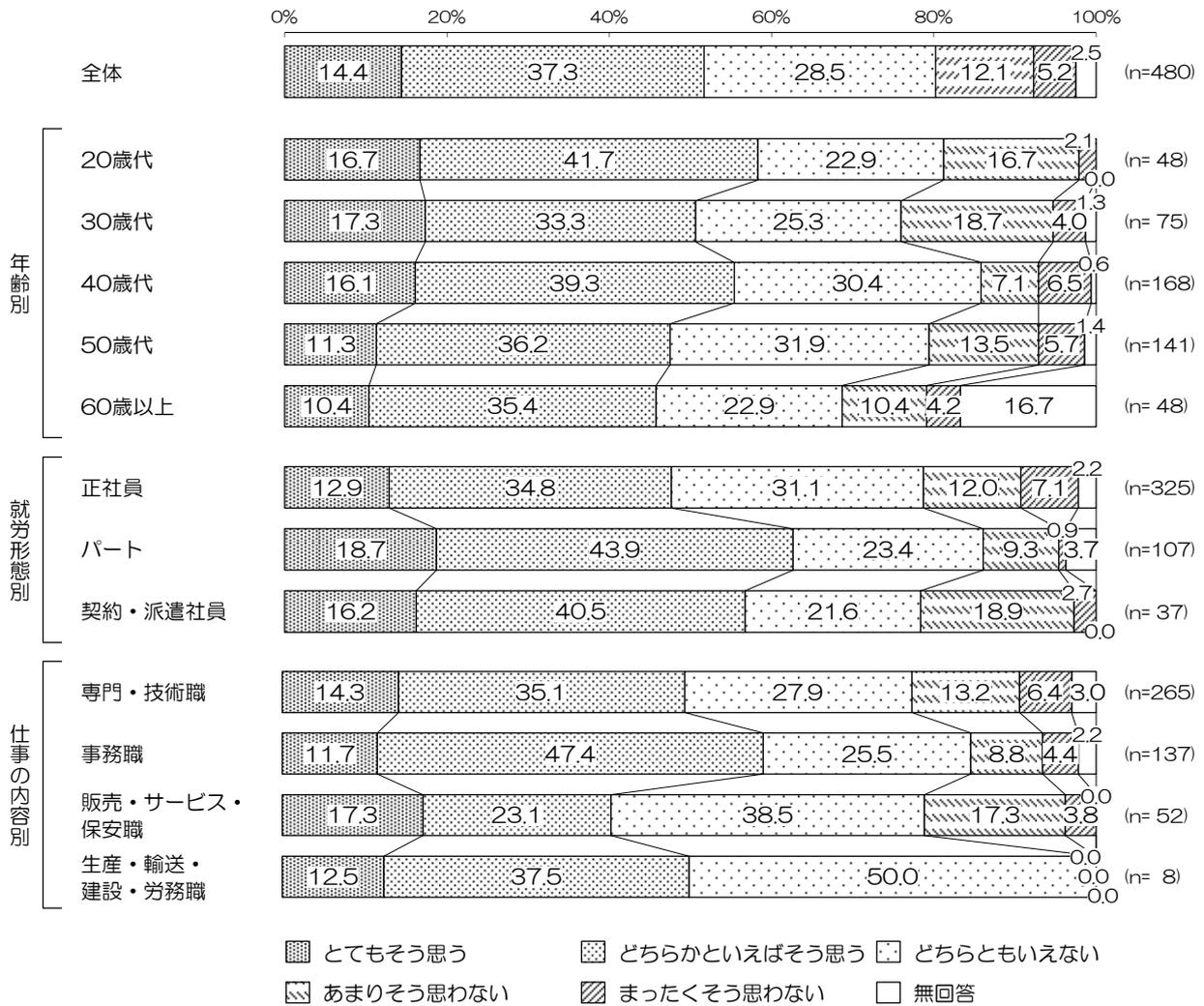
図 年齢別、就労形態別、仕事の内容別 職場の雰囲気（育児・介護休暇を取るのに抵抗がない）



「育児・介護休暇を取るのに抵抗がない」について年齢別にみると、『そう思う』の割合は年齢が低い層で高くなる傾向がみられ、20歳代では62.5%、30歳代では56.0%となっている。就労形態別にみると、契約・派遣社員で『そう思う』が59.4%と高い。仕事の内容別にみると、販売・サービス・保安職では『そう思う』は36.5%にとどまる。

② 仕事と家庭・個人の生活を両立させやすい

図 年齢別、就労形態別、仕事の内容別 職場の雰囲気（仕事と家庭・個人の生活を両立させやすい）



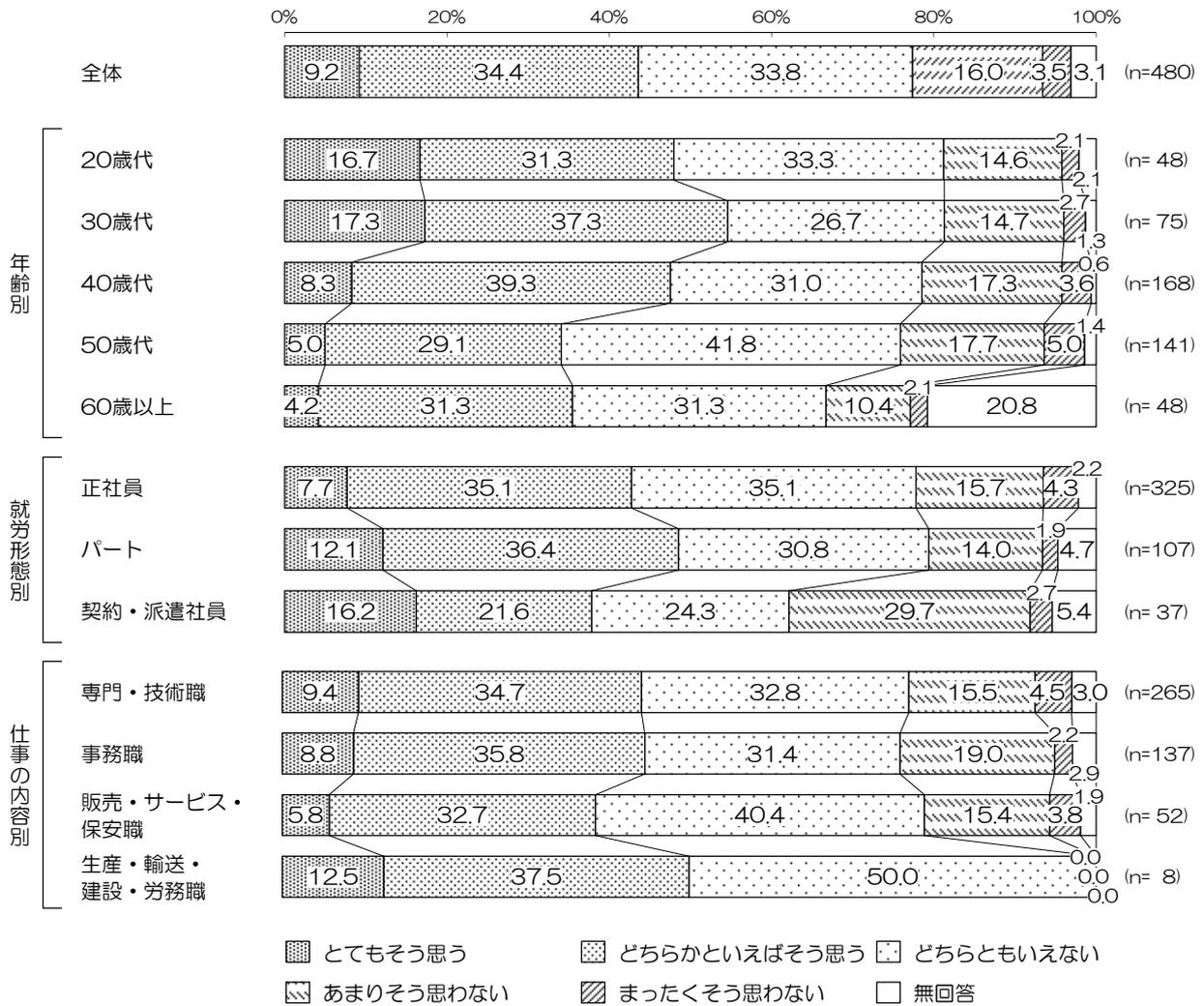
「仕事と家庭・個人の生活を両立させやすい」について年齢別にみると、他の項目と比較して年齢による意識の違いは小さくなっている。

就労形態別にみると、『そう思う』の割合は正社員で47.7%、パートで62.6%と14.9ポイントの差がみられる。

仕事の内容別にみると、事務職では、『そう思う』が59.1%となっているが、販売・サービス・保安職の『そう思う』は40.4%にとどまる。

③ 意欲や能力に応じて仕事を任せてもらえる

図 年齢別、就労形態別、仕事の内容別 職場の雰囲気（意欲や能力に応じて仕事を任せてもらえる）



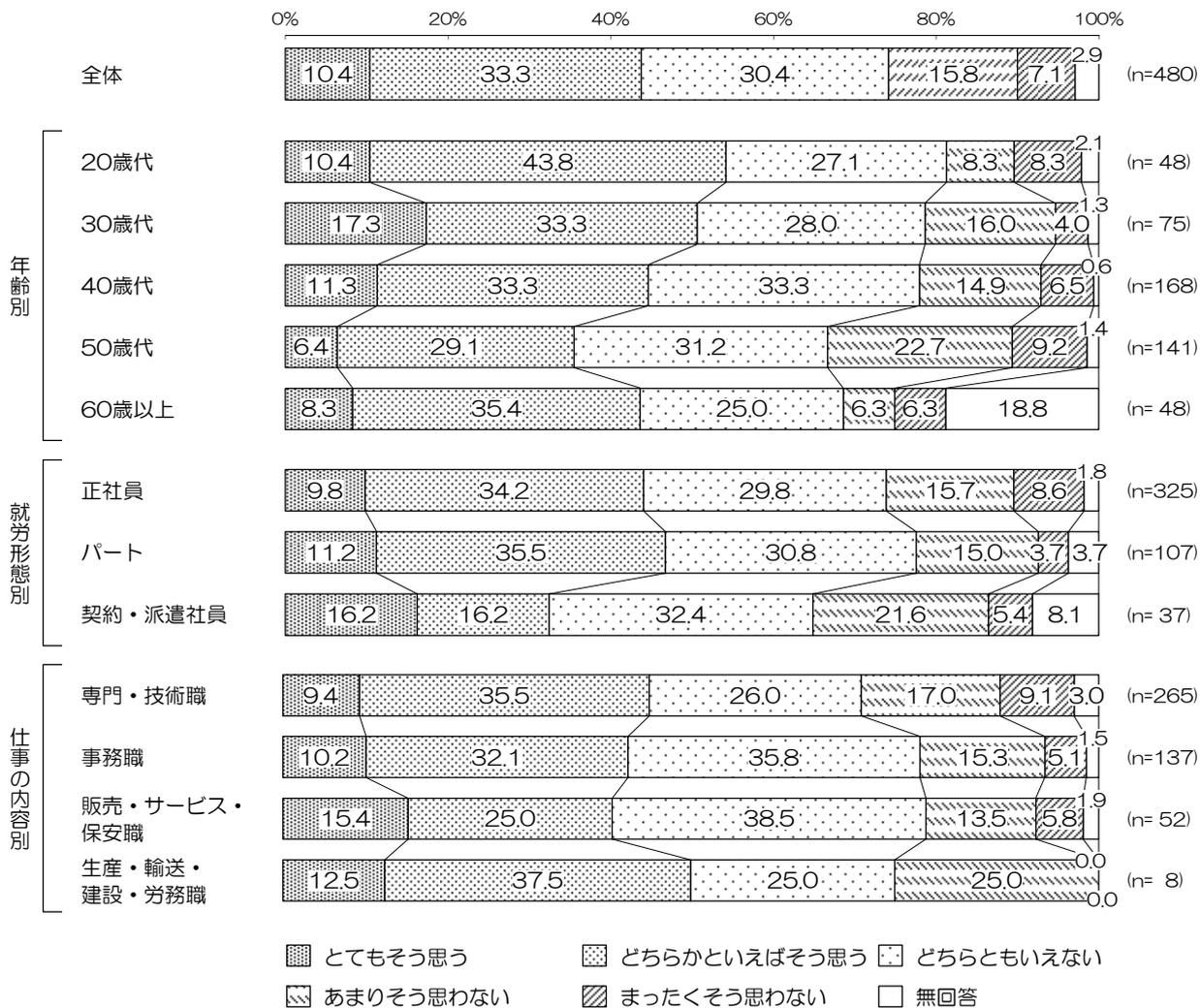
「意欲や能力に応じて仕事を任せてもらえる」について年齢別にみると、『そう思う』の割合は20～40歳代では約5割、50歳以上の年齢層では3割台となっている。

就労形態別にみると、契約・派遣社員では『そう思わない』が3割を超えている。

仕事の内容別にみると、販売・サービス・保安職では「どちらともいえない」の割合がやや高くなっている。

④ 上司や同僚から適切な支援がある

図 年齢別、就労形態別、仕事の内容別 職場の雰囲気（上司や同僚から適切な支援がある）



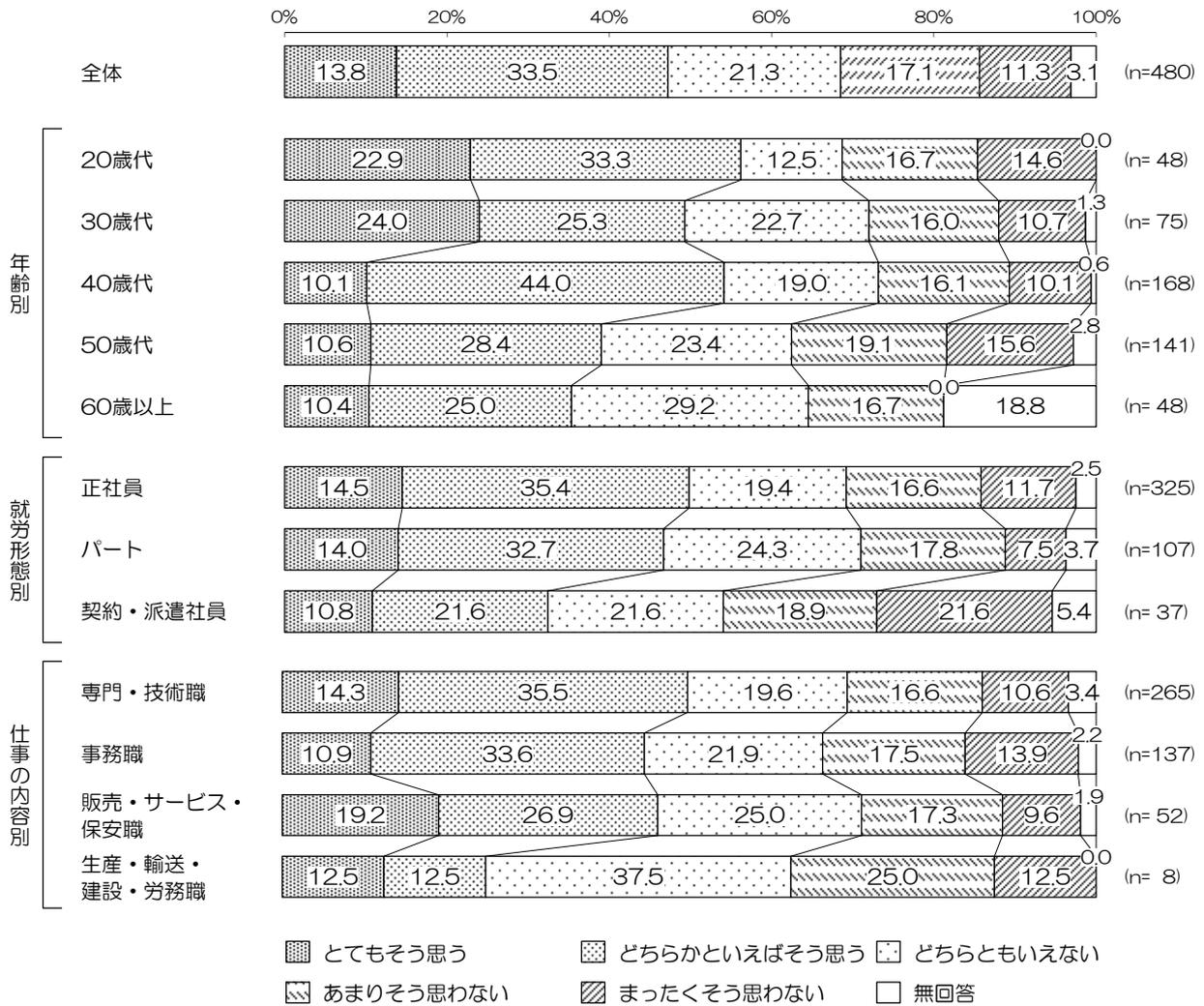
「上司や同僚から適切な支援がある」について年齢別にみると、20・30歳代では『そう思う』が5割を超えている。

就労形態別にみると、契約・派遣社員の『そう思う』の割合は32.4%と正社員やパートより低くなっている。

仕事の内容別にみると、専門・技術職は事務職や販売・サービス・保安職と比べて「どちらともいえない」の割合が低く、『そう思う』と『そう思わない』に回答が分かれている。

⑤ 業務外のことで相談できる上司や同僚がいる

図 年齢別、就労形態別、仕事の内容別 職場の雰囲気（業務外のことで相談できる上司や同僚がいる）



「業務外のことで相談できる上司や同僚がいる」について年齢別にみると、20～40歳代では『そう思う』が5～6割前後と高くなっている。

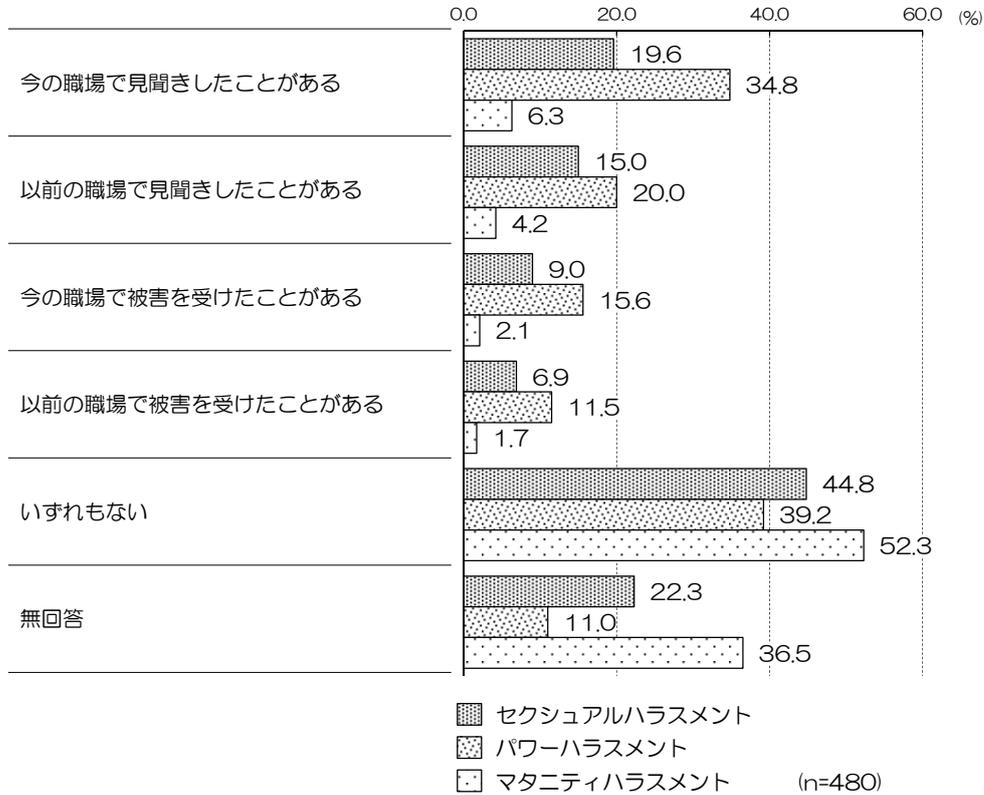
就労形態別にみると、契約・派遣社員は『そう思わない』が40.5%と高くなっている。

仕事の内容別にみると、事務職では『そう思わない』が3割を超えている。

(2) 職場におけるハラスメントの見聞きや被害経験

問16. あなたは、職場におけるハラスメントの見聞きや被害を受けた経験がありますか。次のそれぞれについてお答えください。(それぞれ〇はいくつでも)

図 職場におけるハラスメントの見聞きや被害経験



職場におけるハラスメントの見聞きや被害を受けた経験は、パワーハラスメントの割合が高く、見聞きしたことがある経験は今の職場 34.8%・以前の職場 20.0%、また被害を受けた経験は今の職場 15.6%・以前の職場 11.5%となっている。

セクシュアルハラスメントを見聞きした経験は、今の職場 19.6%・以前の職場 15.0%となっている。また、被害を受けた経験は今の職場 9.0%・以前の職場 6.9%となっている。

マタニティハラスメントは、見聞きした経験が今の職場 6.3%・以前の職場 4.2%となっている。

表 年齢別、子ども・要介護者の有無別 職場におけるハラスメントの見聞きや被害経験

| | 対象者数 (n) | セクシュアルハラスメント | | | | | パワーハラスメント | | | | | |
|----------|------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|--------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|--------|-------------|
| | | 今の職場で見聞きしたことがある | 以前の職場で見聞きしたことがある | 今の職場で被害を受けたことがある | 以前の職場で被害を受けたことがある | いずれもない | 今の職場で見聞きしたことがある | 以前の職場で見聞きしたことがある | 今の職場で被害を受けたことがある | 以前の職場で被害を受けたことがある | いずれもない | |
| 全体 | 480 | 19.6 | 15.0 | 9.0 | 6.9 | 44.8 | 34.8 | 20.0 | 15.6 | 11.5 | 39.2 | |
| 年齢別 | 20 歳代 | 48 | 37.5 | 8.3 | 8.3 | 4.2 | 54.2 | 27.1 | 10.4 | 6.3 | 4.2 | 56.3 |
| | 30 歳代 | 75 | 17.3 | 13.3 | 12.0 | 6.7 | 52.0 | 30.7 | 21.3 | 16.0 | 9.3 | 48.0 |
| | 40 歳代 | 168 | 19.6 | 17.9 | 12.5 | 8.3 | 36.9 | 41.7 | 23.2 | 17.3 | 13.1 | 34.5 |
| | 50 歳代 | 141 | 18.4 | 17.0 | 5.7 | 8.5 | 44.7 | 34.8 | 21.3 | 19.1 | 15.6 | 31.2 |
| | 60 歳以上 | 48 | 8.3 | 8.3 | 2.1 | - | 52.1 | 25.0 | 12.5 | 8.3 | 4.2 | 47.9 |
| 子ども・要介護別 | 子どもがいる | 166 | 18.1 | 18.1 | 7.8 | 10.2 | 43.4 | 34.9 | 21.1 | 20.5 | 12.7 | 40.4 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | 20.8 | 17.0 | 15.1 | 7.5 | 39.6 | 41.5 | 24.5 | 18.9 | 18.9 | 30.2 |
| | いずれもない | 257 | 19.8 | 12.5 | 8.6 | 4.3 | 46.7 | 33.1 | 19.1 | 11.7 | 9.7 | 40.1 |

| | 対象者数 (n) | マタニティハラスメント | | | | | |
|----------|------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|--------|-------------|
| | | 今の職場で見聞きしたことがある | 以前の職場で見聞きしたことがある | 今の職場で被害を受けたことがある | 以前の職場で被害を受けたことがある | いずれもない | |
| 全体 | 480 | 6.3 | 4.2 | 2.1 | 1.7 | 52.3 | |
| 年齢別 | 20 歳代 | 48 | 8.3 | 2.1 | 2.1 | - | 68.8 |
| | 30 歳代 | 75 | 8.0 | 5.3 | 2.7 | 2.7 | 60.0 |
| | 40 歳代 | 168 | 8.3 | 6.0 | 3.6 | 3.0 | 45.2 |
| | 50 歳代 | 141 | 4.3 | 3.5 | 0.7 | 0.7 | 49.6 |
| | 60 歳以上 | 48 | - | - | - | - | 56.3 |
| 子ども・要介護別 | 子どもがいる | 166 | 6.6 | 7.8 | 4.8 | 4.2 | 53.6 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | 7.5 | 3.8 | 1.9 | - | 39.6 |
| | いずれもない | 257 | 5.8 | 1.9 | 0.4 | 0.4 | 53.7 |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より 10 ポイント以上高い項目、薄い網掛けは 5 ポイント以上高い項目を示す。

年齢別にみると、20 歳代はセクシュアルハラスメントを「今の職場で見聞きしたことがある」が 37.5%となっている。

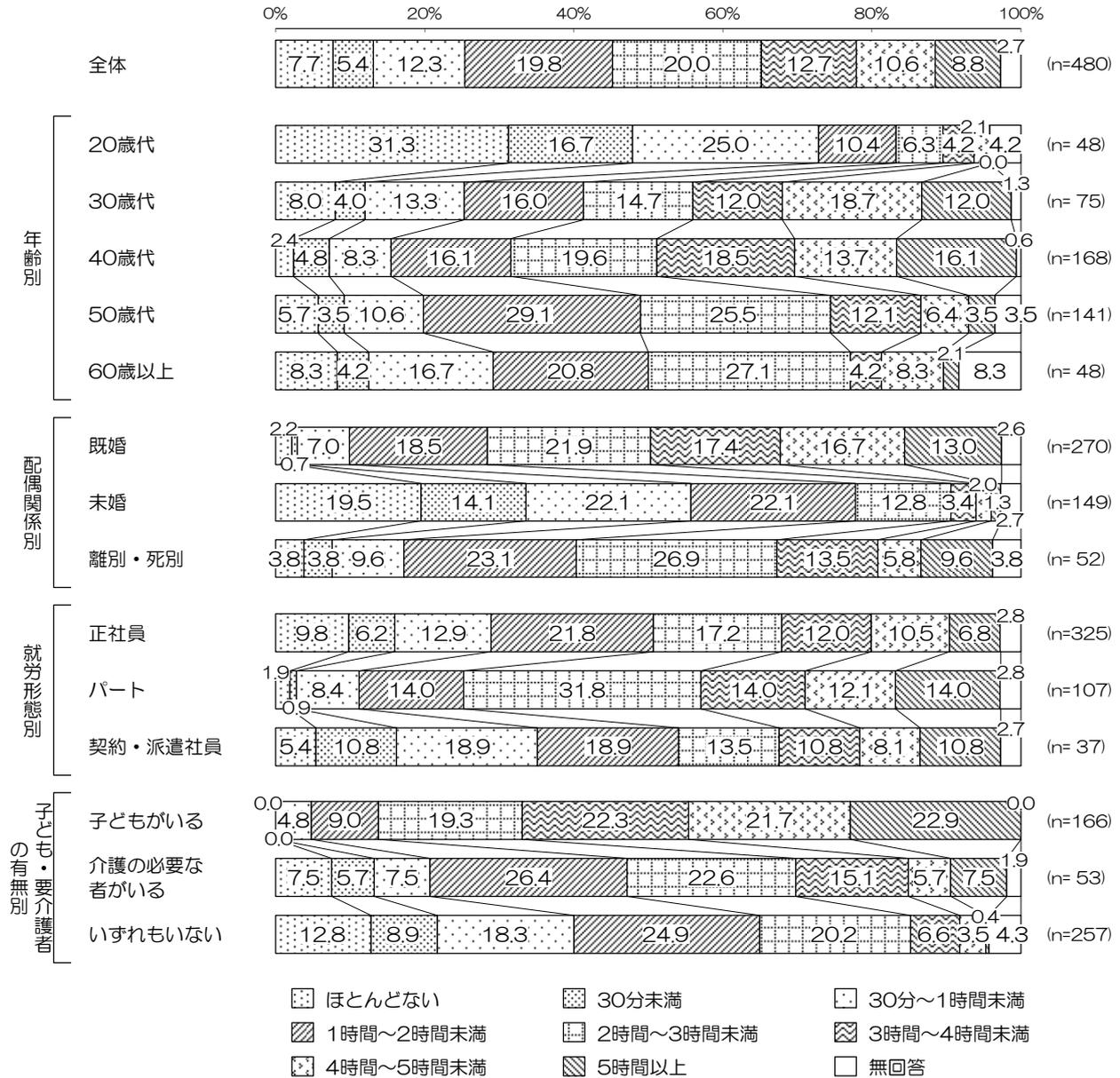
子ども・要介護者の有無別にみると、世話の必要な子どもがいる人では、マタニティハラスメントを「今の職場で被害を受けたことがある」が 4.8%、「以前の職場で被害を受けたことがある」が 4.2%となっている。

3. 家庭や生活全般について

(1) 家事時間

問17. あなたは、普段、1日のうちで家事・育児・介護等にどのくらい時間を使っていますか。平日、休日それぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

図 年齢別、配偶関係別、就労形態別、子ども・要介護者の有無別 家事時間（平日）



平日の家事・育児・介護等の時間は、1～3 時間未満の合計が 39.8%と高い。

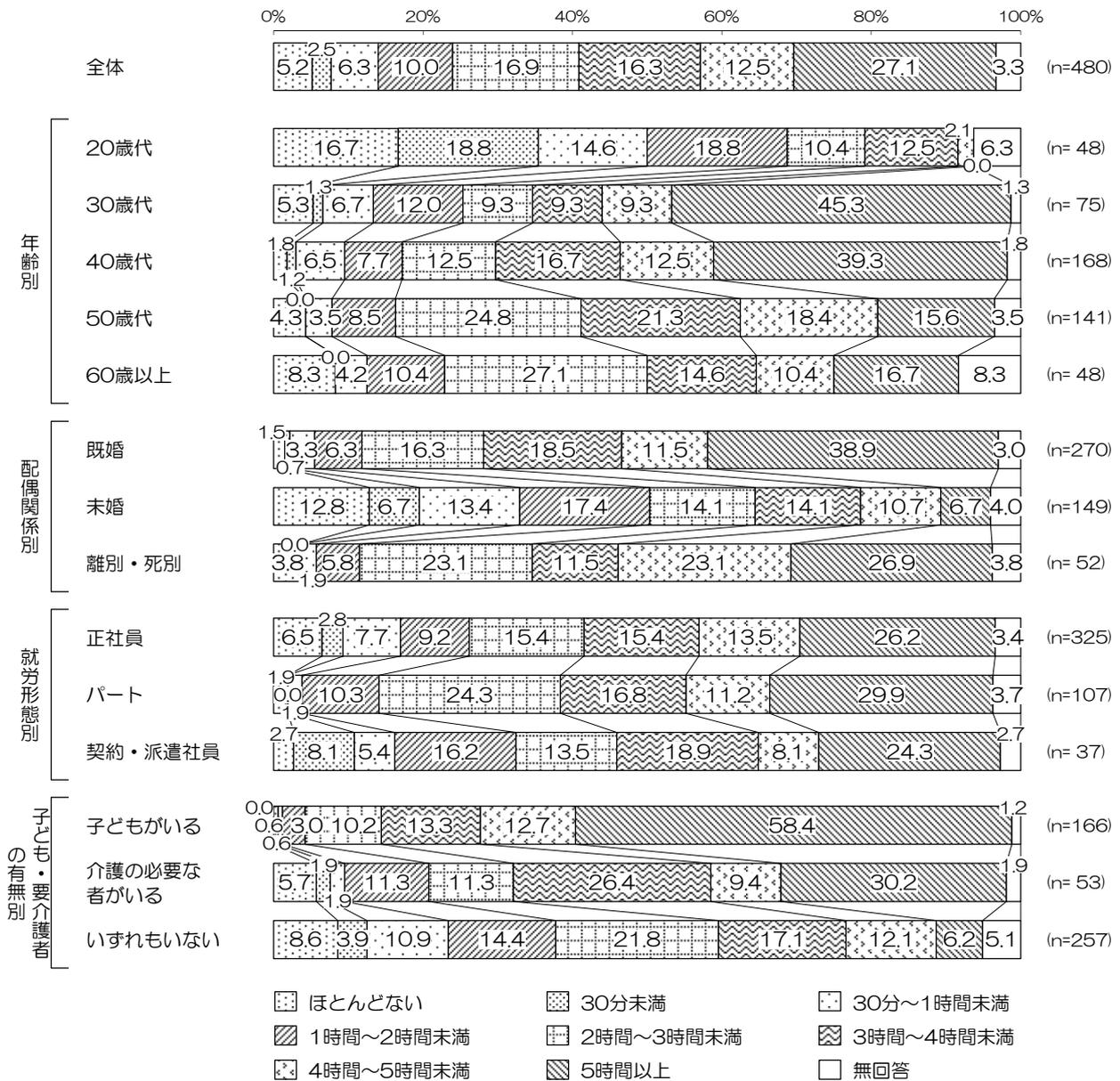
年齢別にみると、20 歳代は「ほとんどない」または 1 時間未満の人が合計 73.0%を占めている。30 歳代と 40 歳代は 3 時間以上の人がそれぞれ 42.7%・48.3%。50 歳代と 60 歳以上では 1 時間以上 3 時間未満が約 5 割となっている。

配偶関係別にみると、未婚では 2 時間未満の人が約 8 割、既婚では 2 時間以上の人が約 7 割となっている。

就労形態別にみると、パートは正社員や契約・派遣社員と比べ家事等の時間が長い傾向がある。

子ども・要介護者の有無別にみると、3 時間以上の合計が、世話の必要な子どもがいる人で 66.9%、介護の必要な者がいる人で 28.3%となっている。

図 年齢別、配偶関係別、就労形態別、子ども・要介護者の有無別 家事時間（休日）



休日の家事・育児・介護等の時間は、「5時間以上」が27.1%で最も高くなっている。

年齢別にみると、20歳代の約半数が1時間未満となっているが、30・40歳代は「5時間以上」が4割前後で、半数以上が4時間以上の回答である。

配偶関係別にみると、既婚と離別・死別は「5時間以上」の割合が最も高いが、未婚では「1時間～2時間未満」の割合が最も高くなっている。

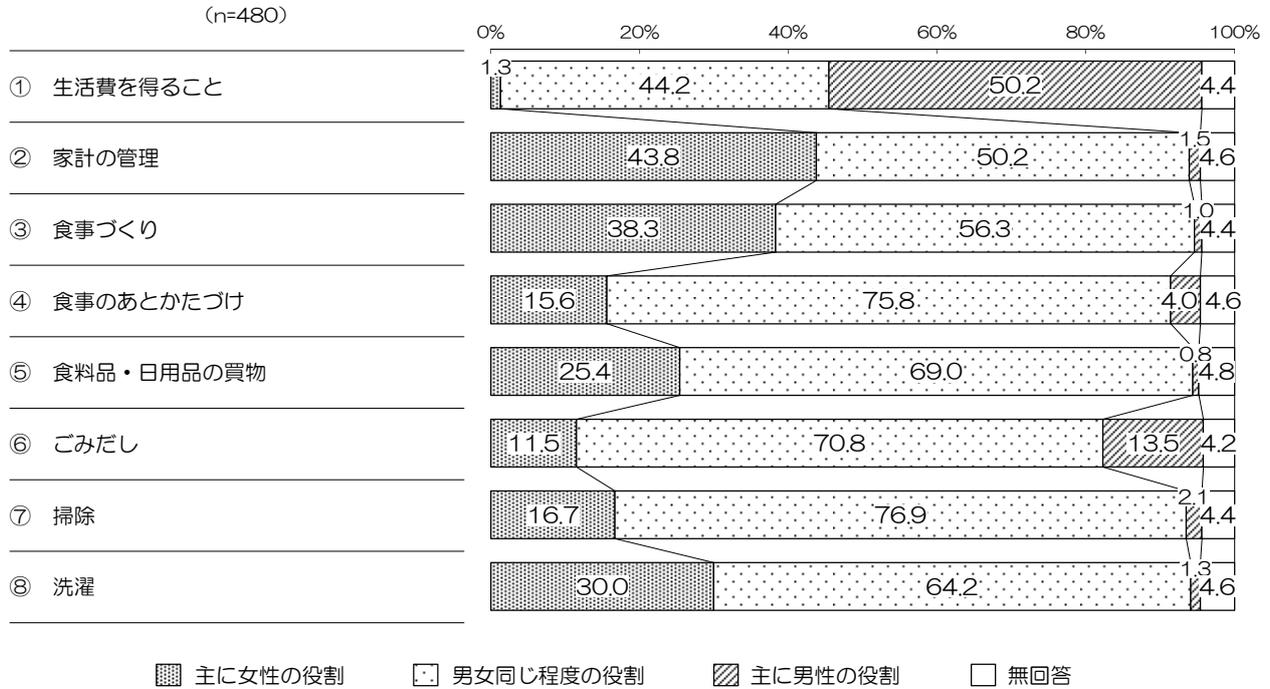
就労形態別にみると、パートは正社員や契約・派遣社員と比べ家事等の時間がやや長い傾向がみられる。

子ども・要介護者の有無別にみると、「5時間以上」の割合が、世話の必要な子どもがいる人で58.4%、介護の必要な者がいる人で30.2%となっている。

(2) 家庭の仕事の役割分担

問18. 家庭におけることがらについて、主に男女のどちらがするのがよいと思いますか。また、現実には誰がしていますか。(各項目に○は1つ)

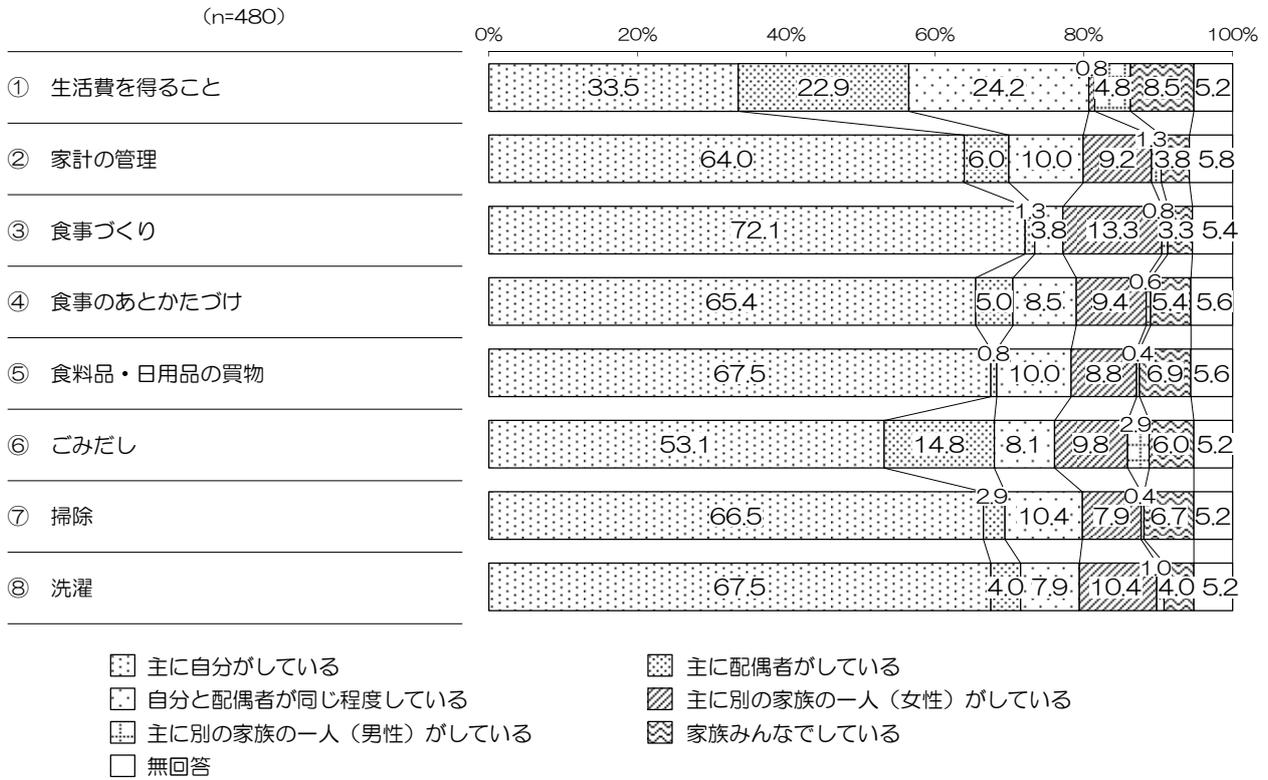
図 理想の家庭の仕事の役割分担



理想の家庭の仕事の役割分担については、「① 生活費を得ること」は「主に男性の役割」が50.2%を占め、「男女同じ程度の役割」の44.2%を上回っている。

②～⑧の家事に関する項目についてはいずれも「男女同じ程度の役割」の割合が最も高くなっているが、「② 家計の管理」「③ 食事づくり」「⑧ 洗濯」では「主に女性の役割」が3割を超えている。

図 現実の家庭の仕事の役割分担



現実の家庭の仕事の役割分担については、「① 生活費を得ること」では、「主に自分がしている」が33.5%、「自分と配偶者が同じ程度している」が24.2%、「主に配偶者がしている」が22.9%となっている。

②～⑧の家事に関する項目については、いずれも「主に自分がしている」が5～7割前後を占めている。「主に配偶者がしている」は、最も割合の高い「⑥ ごみだし」で14.8%となっている。

表 年齢別、配偶関係別、就労形態別、子ども・要介護者の有無別 現実の家庭の仕事の役割分担（1）

| | 対象者数（n） | ① 生活費を得ること | | | | | | ② 家計の管理 | | | | | | |
|----------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------------|--------------------|-------------|-------------|-------------|----------|-------------|--------------------|--------------------|
| | | 主に自分がしている | 主に配偶者がしている | 同じ程度している | 自分と配偶者が | 主に別の家族の一人（女性）がしている | 主に別の家族の一人（男性）がしている | 家族みんなですいている | 主に自分がしている | 主に配偶者がしている | 同じ程度している | 自分と配偶者が | 主に別の家族の一人（女性）がしている | 主に別の家族の一人（男性）がしている |
| 全体 | 480 | 33.5 | 22.9 | 24.2 | 0.8 | 4.8 | 8.5 | 64.0 | 6.0 | 10.0 | 9.2 | 1.3 | 3.8 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 31.3 | 4.2 | 8.3 | 4.2 | 18.8 | 14.6 | 35.4 | - | 6.3 | 29.2 | - | 8.3 |
| | 30歳代 | 75 | 29.3 | 24.0 | 21.3 | 1.3 | 6.7 | 12.0 | 52.0 | 6.7 | 13.3 | 16.0 | 4.0 | 1.3 |
| | 40歳代 | 168 | 23.2 | 31.0 | 31.5 | 0.6 | 4.2 | 7.1 | 64.3 | 8.3 | 12.5 | 8.3 | 1.2 | 3.6 |
| | 50歳代 | 141 | 46.8 | 22.0 | 21.3 | - | 1.4 | 5.7 | 78.0 | 2.8 | 6.4 | 2.8 | 0.7 | 5.0 |
| | 60歳以上 | 48 | 39.6 | 14.6 | 27.1 | - | - | 10.4 | 68.8 | 12.5 | 10.4 | - | - | - |
| 配偶関係別 | 既婚 | 270 | 11.9 | 39.3 | 43.0 | 0.4 | 0.7 | 3.0 | 67.8 | 10.7 | 17.4 | 0.7 | 1.1 | 0.7 |
| | 未婚 | 149 | 50.3 | - | - | 2.0 | 13.4 | 21.5 | 47.0 | - | - | 27.5 | 2.0 | 8.7 |
| | 離別・死別 | 52 | 94.2 | - | - | - | 1.9 | 1.9 | 90.4 | - | - | 1.9 | - | 3.8 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 38.5 | 10.5 | 29.2 | 1.2 | 5.2 | 9.5 | 62.5 | 4.3 | 10.5 | 11.1 | 1.2 | 4.0 |
| | パート | 107 | 20.6 | 59.8 | 9.3 | - | 2.8 | 4.7 | 70.1 | 10.3 | 9.3 | 1.9 | 1.9 | 3.7 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 24.3 | 27.0 | 24.3 | - | 5.4 | 10.8 | 59.5 | 10.8 | 2.7 | 13.5 | - | 2.7 |
| 子ども・要介護別 | 子どもがいる | 166 | 22.9 | 37.3 | 34.9 | 0.6 | 0.6 | 2.4 | 71.1 | 9.0 | 16.3 | 1.8 | 0.6 | 0.6 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | 43.4 | 15.1 | 24.5 | - | 3.8 | 9.4 | 60.4 | 9.4 | 7.5 | 9.4 | - | 9.4 |
| | いずれもない | 257 | 37.4 | 15.2 | 18.3 | 1.2 | 7.8 | 12.5 | 59.5 | 3.9 | 7.0 | 14.0 | 1.9 | 4.3 |

| | 対象者数（n） | ③ 食事づくり | | | | | | ④ 食事のあとかたづけ | | | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|----------|---------|--------------------|--------------------|-------------|-------------|------------|----------|-------------|--------------------|--------------------|
| | | 主に自分がしている | 主に配偶者がしている | 同じ程度している | 自分と配偶者が | 主に別の家族の一人（女性）がしている | 主に別の家族の一人（男性）がしている | 家族みんなですいている | 主に自分がしている | 主に配偶者がしている | 同じ程度している | 自分と配偶者が | 主に別の家族の一人（女性）がしている | 主に別の家族の一人（男性）がしている |
| 全体 | 480 | 72.1 | 1.3 | 3.8 | 13.3 | 0.8 | 3.3 | 65.4 | 5.0 | 8.5 | 9.4 | 0.6 | 5.4 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 41.7 | - | 4.2 | 31.3 | - | 6.3 | 37.5 | 4.2 | 4.2 | 25.0 | 2.1 | 10.4 |
| | 30歳代 | 75 | 62.7 | 1.3 | 6.7 | 18.7 | 4.0 | - | 56.0 | 6.7 | 12.0 | 18.7 | 1.3 | - |
| | 40歳代 | 168 | 76.8 | 0.6 | 3.0 | 14.3 | - | 3.0 | 69.0 | 7.1 | 8.3 | 6.0 | 0.6 | 5.4 |
| | 50歳代 | 141 | 80.9 | - | 2.8 | 7.8 | 0.7 | 4.3 | 73.0 | 2.8 | 7.1 | 6.4 | - | 6.4 |
| | 60歳以上 | 48 | 75.0 | 8.3 | 4.2 | - | - | 4.2 | 72.9 | 2.1 | 12.5 | - | - | 6.3 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 270 | 85.2 | 2.2 | 6.7 | 3.3 | 0.4 | 0.7 | 71.9 | 8.1 | 15.2 | 1.5 | - | 1.5 |
| | 未婚 | 149 | 43.6 | - | - | 32.2 | 2.0 | 9.4 | 48.3 | - | - | 24.8 | 2.0 | 12.1 |
| | 離別・死別 | 52 | 80.8 | - | - | 13.5 | - | - | 78.8 | - | - | 7.7 | - | 7.7 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 68.6 | 0.9 | 4.6 | 15.4 | 0.6 | 3.4 | 62.5 | 4.9 | 8.0 | 11.7 | 0.6 | 5.2 |
| | パート | 107 | 80.4 | 1.9 | 1.9 | 7.5 | 0.9 | 4.7 | 70.1 | 3.7 | 14.0 | 2.8 | 0.9 | 6.5 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 75.7 | - | 2.7 | 13.5 | 2.7 | - | 75.7 | 8.1 | - | 8.1 | - | 2.7 |
| 子ども・要介護別 | 子どもがいる | 166 | 88.0 | - | 2.4 | 7.8 | - | 0.6 | 76.5 | 7.8 | 9.0 | 3.6 | - | 1.2 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | 67.9 | - | 3.8 | 17.0 | - | 7.5 | 52.8 | 9.4 | 7.5 | 17.0 | - | 7.5 |
| | いずれもない | 257 | 63.0 | 2.3 | 4.7 | 16.0 | 1.6 | 4.3 | 61.9 | 2.3 | 8.2 | 11.3 | 1.2 | 7.4 |

注）濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。

年齢別にみると、20歳代は「① 生活費を得ること」では「主に別の家族の一人（男性）がしている」、その他の項目では「主に別の家族の一人（女性）がしている」の割合が比較的高い。50・60歳代は他の年代よりも「主に自分がしている」の割合が高い傾向がある。

配偶関係別にみると、既婚は、②～⑧の家事に関する項目のうち「⑥ ごみだし」以外の6項目では全体より、「主に自分がしている」の割合が高くなっている。既婚の「⑥ ごみだし」については、「主に配偶者がしている」が25.9%となっている。未婚は、「主に別の家族の一人（女性）がしている」の割合が、②～⑧の家事に関する項目で2割を超えている。

表 年齢別、配偶関係別、就労形態別、子ども・要介護者の有無別 現実の家庭の仕事の役割分担（2）

| | 対象者数（n） | ⑤ 食料品・日用品の買物 | | | | | | ⑥ ごみだし | | | | | | |
|----------|------------|--------------|-------------|-----------------|--------------------|--------------------|------------|-----------|-------------|-----------------|--------------------|--------------------|------------|------|
| | | 主に自分がしている | 主に配偶者がしている | 自分と配偶者が同じ程度している | 主に別の家族の一人（女性）がしている | 主に別の家族の一人（男性）がしている | 家族みんなでしている | 主に自分がしている | 主に配偶者がしている | 自分と配偶者が同じ程度している | 主に別の家族の一人（女性）がしている | 主に別の家族の一人（男性）がしている | 家族みんなでしている | |
| 全体 | 480 | 67.5 | 0.8 | 10.0 | 8.8 | 0.4 | 6.9 | 53.1 | 14.8 | 8.1 | 9.8 | 2.9 | 6.0 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 41.7 | - | 2.1 | 22.9 | - | 16.7 | 33.3 | 8.3 | 4.2 | 22.9 | 4.2 | 10.4 |
| | 30歳代 | 75 | 60.0 | 1.3 | 13.3 | 13.3 | 1.3 | 5.3 | 36.0 | 25.3 | 10.7 | 12.0 | 9.3 | 1.3 |
| | 40歳代 | 168 | 71.4 | 0.6 | 10.1 | 7.7 | 0.6 | 6.5 | 55.4 | 14.9 | 8.9 | 10.1 | 1.2 | 7.1 |
| | 50歳代 | 141 | 76.6 | - | 9.2 | 5.0 | - | 5.0 | 64.5 | 10.6 | 6.4 | 5.7 | 1.4 | 7.1 |
| | 60歳以上 | 48 | 64.6 | 4.2 | 14.6 | 2.1 | - | 6.3 | 58.3 | 16.7 | 10.4 | 4.2 | 2.1 | 2.1 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 270 | 75.2 | 1.5 | 17.0 | 2.2 | - | 1.9 | 51.1 | 25.9 | 14.4 | 1.9 | 1.5 | 3.7 |
| | 未婚 | 149 | 49.7 | - | - | 21.5 | 1.3 | 15.4 | 46.3 | - | - | 24.8 | 6.0 | 11.4 |
| | 離別・死別 | 52 | 76.9 | - | - | 7.7 | - | 9.6 | 76.9 | - | - | 9.6 | 1.9 | 3.8 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 64.3 | 0.9 | 10.2 | 11.1 | 0.3 | 6.5 | 48.0 | 14.5 | 8.9 | 12.0 | 3.4 | 6.8 |
| | パート | 107 | 76.6 | 0.9 | 10.3 | 1.9 | 0.9 | 6.5 | 67.3 | 14.0 | 6.5 | 3.7 | 1.9 | 4.7 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 67.6 | - | 8.1 | 8.1 | - | 10.8 | 59.5 | 16.2 | 5.4 | 8.1 | 2.7 | 2.7 |
| 子ども・要介護者 | 子どもがいる | 166 | 80.1 | 0.6 | 9.0 | 4.8 | - | 3.6 | 57.2 | 22.3 | 9.6 | 4.2 | 1.2 | 3.6 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | 56.6 | 1.9 | 18.9 | 13.2 | - | 3.8 | 52.8 | 11.3 | 5.7 | 13.2 | 3.8 | 9.4 |
| | いずれもない | 257 | 62.3 | 1.2 | 8.6 | 10.1 | 0.8 | 9.3 | 51.4 | 10.5 | 7.8 | 12.5 | 3.9 | 6.6 |

| | 対象者数（n） | ⑦ 掃除 | | | | | | ⑧ 洗濯 | | | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|-----------------|--------------------|--------------------|------------|-----------|-------------|-----------------|--------------------|--------------------|------------|------|
| | | 主に自分がしている | 主に配偶者がしている | 自分と配偶者が同じ程度している | 主に別の家族の一人（女性）がしている | 主に別の家族の一人（男性）がしている | 家族みんなでしている | 主に自分がしている | 主に配偶者がしている | 自分と配偶者が同じ程度している | 主に別の家族の一人（女性）がしている | 主に別の家族の一人（男性）がしている | 家族みんなでしている | |
| 全体 | 480 | 66.5 | 2.9 | 10.4 | 7.9 | 0.4 | 6.7 | 67.5 | 4.0 | 7.9 | 10.4 | 1.0 | 4.0 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 48 | 41.7 | 2.1 | 4.2 | 27.1 | - | 8.3 | 41.7 | - | 4.2 | 27.1 | 2.1 | 6.3 |
| | 30歳代 | 75 | 53.3 | 5.3 | 14.7 | 12.0 | 2.7 | 6.7 | 56.0 | 4.0 | 13.3 | 17.3 | 4.0 | - |
| | 40歳代 | 168 | 70.2 | 4.8 | 9.5 | 5.4 | - | 7.7 | 69.0 | 4.8 | 9.5 | 8.9 | 0.6 | 4.8 |
| | 50歳代 | 141 | 74.5 | - | 10.6 | 5.0 | - | 6.4 | 78.7 | 4.3 | 3.5 | 5.7 | - | 4.3 |
| | 60歳以上 | 48 | 75.0 | 2.1 | 12.5 | - | - | 2.1 | 72.9 | 4.2 | 10.4 | 2.1 | - | 4.2 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 270 | 71.9 | 5.2 | 18.5 | 1.1 | - | 1.9 | 73.7 | 7.0 | 14.1 | 2.6 | 0.4 | 1.1 |
| | 未婚 | 149 | 48.3 | - | - | 21.5 | 1.3 | 16.8 | 47.7 | - | - | 26.8 | 2.7 | 10.1 |
| | 離別・死別 | 52 | 84.6 | - | - | 5.8 | - | 3.8 | 86.5 | - | - | 5.8 | - | 1.9 |
| 就労形態別 | 正社員 | 325 | 63.1 | 2.8 | 11.4 | 9.2 | 0.3 | 7.1 | 63.7 | 4.0 | 8.0 | 12.9 | 0.9 | 4.0 |
| | パート | 107 | 74.8 | 4.7 | 8.4 | 2.8 | 0.9 | 5.6 | 78.5 | 3.7 | 8.4 | 3.7 | 0.9 | 2.8 |
| | 契約・派遣社員 | 37 | 70.3 | - | 10.8 | 10.8 | - | 2.7 | 70.3 | 2.7 | 8.1 | 8.1 | 2.7 | 2.7 |
| 子ども・要介護者 | 子どもがいる | 166 | 74.7 | 4.8 | 15.1 | 2.4 | - | 1.8 | 76.5 | 6.0 | 12.0 | 3.6 | - | 0.6 |
| | 介護の必要な者がいる | 53 | 58.5 | 5.7 | 11.3 | 11.3 | - | 9.4 | 56.6 | 7.5 | 9.4 | 18.9 | - | 3.8 |
| | いずれもない | 257 | 63.8 | 1.2 | 7.4 | 10.5 | 0.8 | 8.9 | 64.2 | 1.9 | 5.1 | 12.8 | 1.9 | 6.2 |

注）濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。

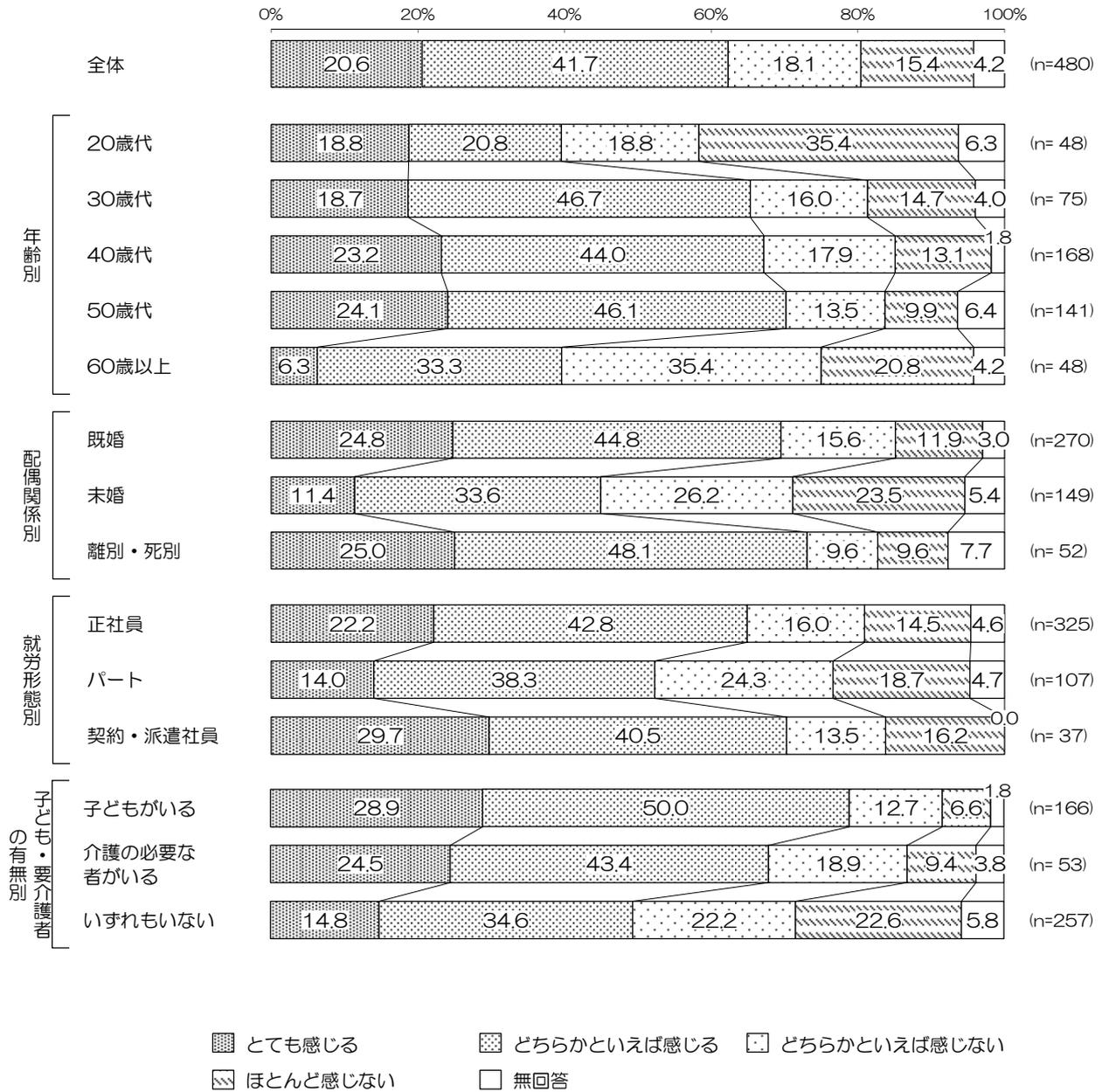
就労形態別にみると、「① 生活費を得ること」の割合は正社員では「主に自分がしている」が38.5%で最も高く、パートと契約・派遣社員では「主に配偶者がしている」の割合が最も高くなっている。

子ども・要介護者の有無別に②～⑧の家事に関する項目をみると、世話の必要な子どもがいる人で「主に自分がしている」の割合が高い傾向がある。

(3) 仕事と家庭生活の両立の負担感

問19. あなたは、仕事と家庭生活の両立に負担感を感じていますか。(〇は1つ)

図 年齢別、配偶関係別、就労形態別、子ども・要介護者の有無別 仕事と家庭生活の両立の負担感



仕事と家庭生活の両立に負担感を感じているかたずねたところ、『感じる』（「とても感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）が 62.3%となっており、『感じない』（「どちらかといえば感じない」と「ほとんど感じない」の合計）の 33.5%より、28.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『感じる』の割合は 30～50 歳代で約 7 割を占めている。

配偶関係別にみると、既婚と離別・死別で『感じる』の割合が高くなっている。

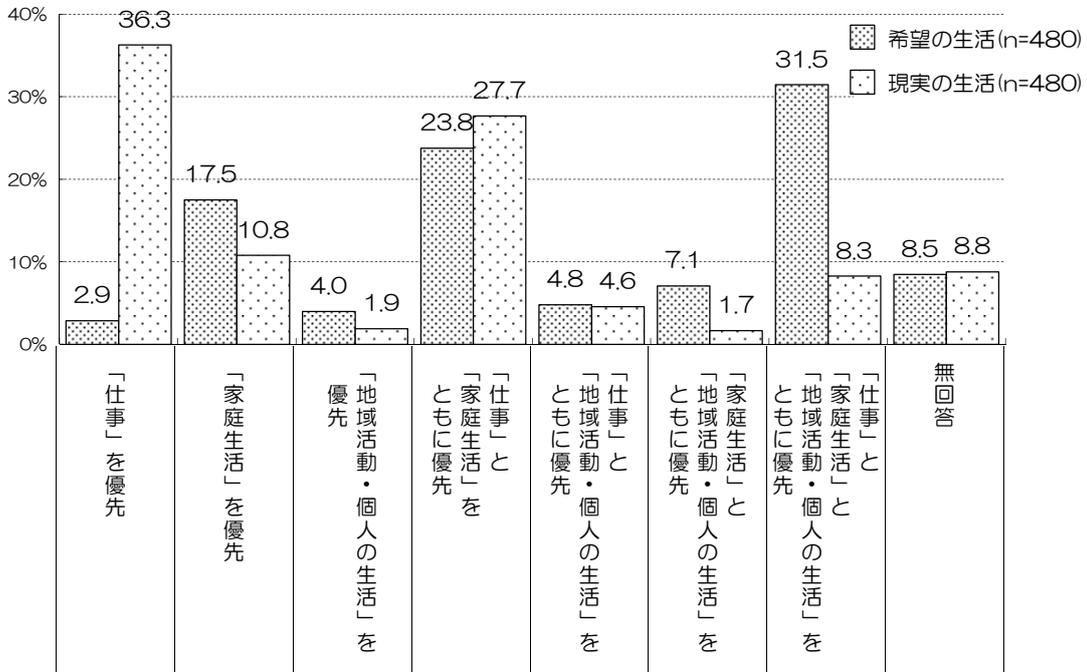
就労形態別にみると、契約・派遣社員で、『感じる』の割合が他の就労形態よりも高い。

子ども・要介護者の有無別にみると、世話の必要な子どもがいる人では『感じる』が 78.9%と高くなっている。

(4) 生活の中で優先すること

問20. あなたは、生活の中で「仕事」、「家庭生活」、「地域活動・個人の生活」の何を優先させたいですか。希望と現実それぞれをお答えください。(それぞれ〇は1つ)

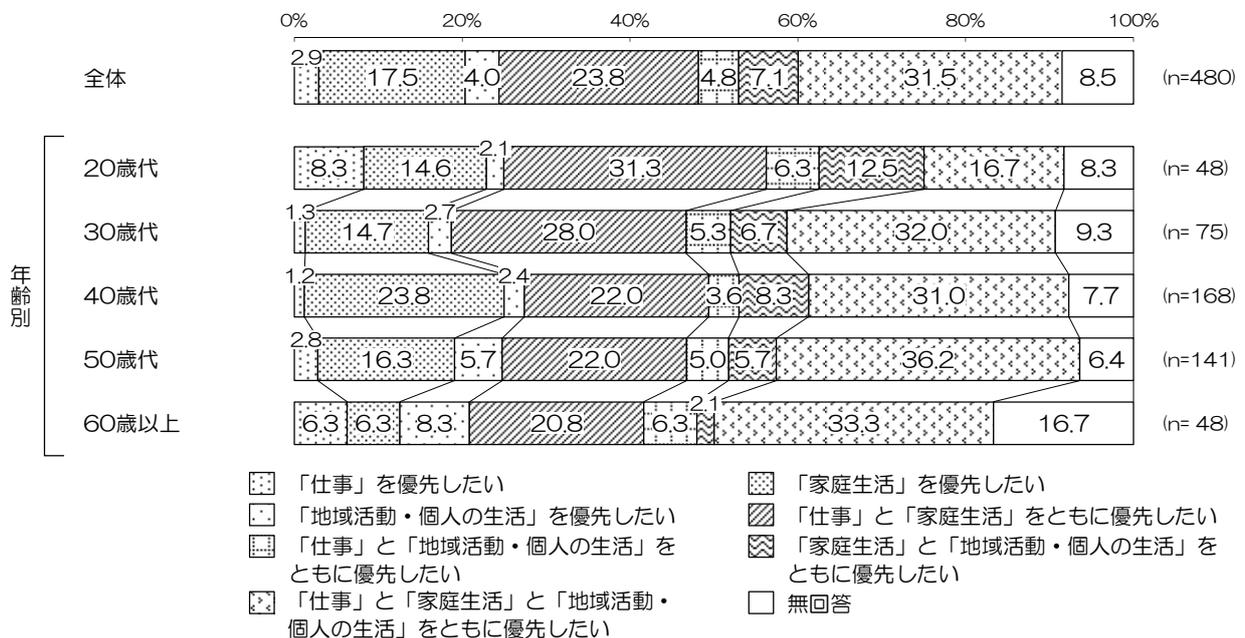
図 生活の中で優先すること



希望する生活の中での優先度は、「『仕事』と『家庭生活』と『地域活動・個人の生活』をともに優先したい」が 31.5%で最も高く、次いで「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が 23.8%、「『家庭生活』を優先したい」が 17.5%となっている。

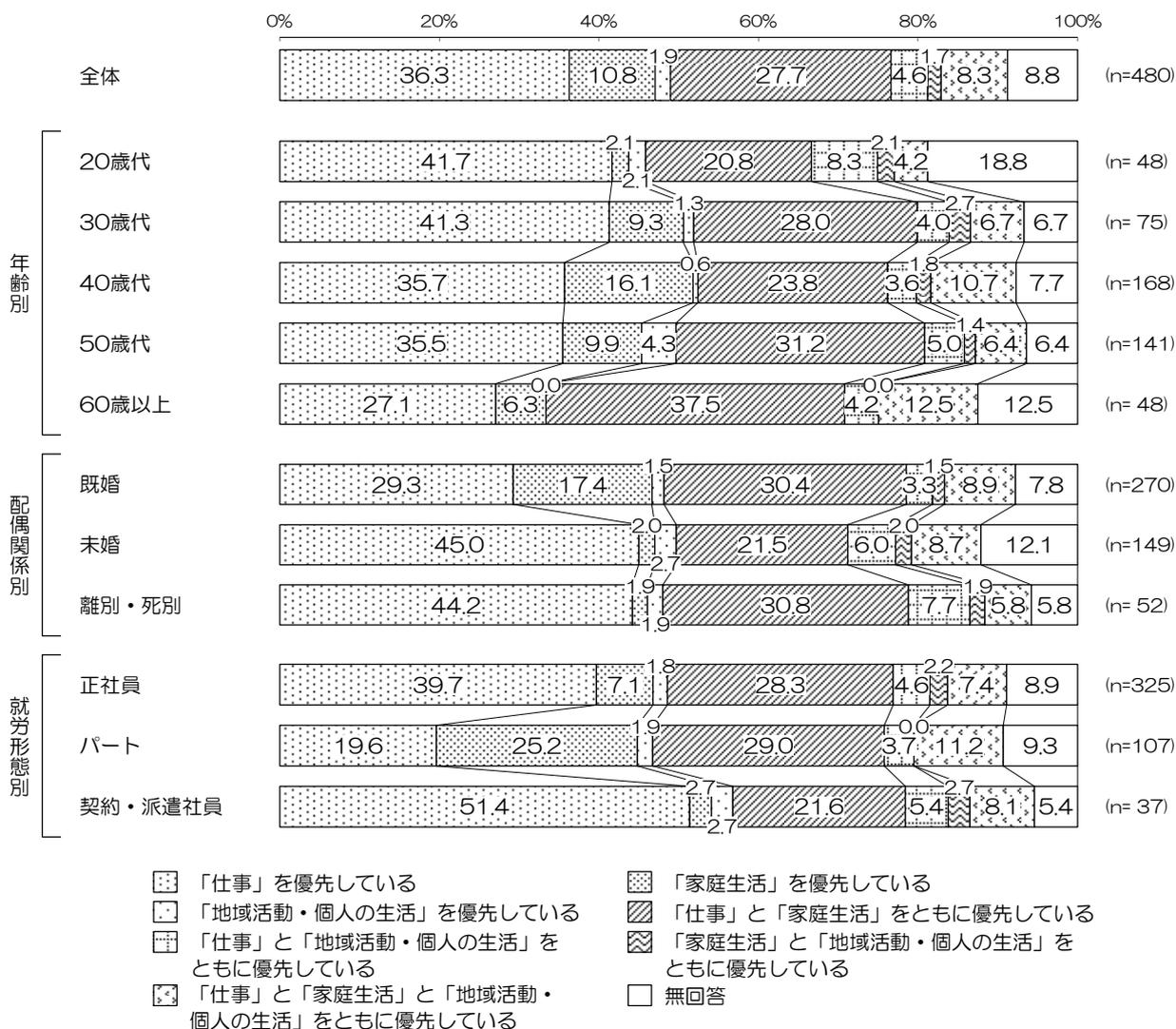
実際の生活の中での優先度は、「『仕事』を優先している」が 36.3%で最も高く、次いで「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が 27.7%、「『家庭生活』を優先している」が 10.8%となっている。

図 年齢別 生活の中で優先すること（希望）



希望する生活の中での優先度を年齢別にみると、20歳代は『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が31.3%で最も高く、30歳以上の各年齢層では『仕事』と『家庭生活』と『地域活動・個人の生活』をともに優先したい」が約3割で最も高くなっている。

図 年齢別、配偶関係別、就労形態別 生活の中で優先すること（現実）



実際の生活の中での優先度を年齢別にみると、「『仕事』を優先している」の割合は20・30歳代で約4割、40・50歳代で3割台半ばとなっている。60歳以上では「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」(37.5%)が「『仕事』を優先している」(27.1%)よりも割合が高くなっている。

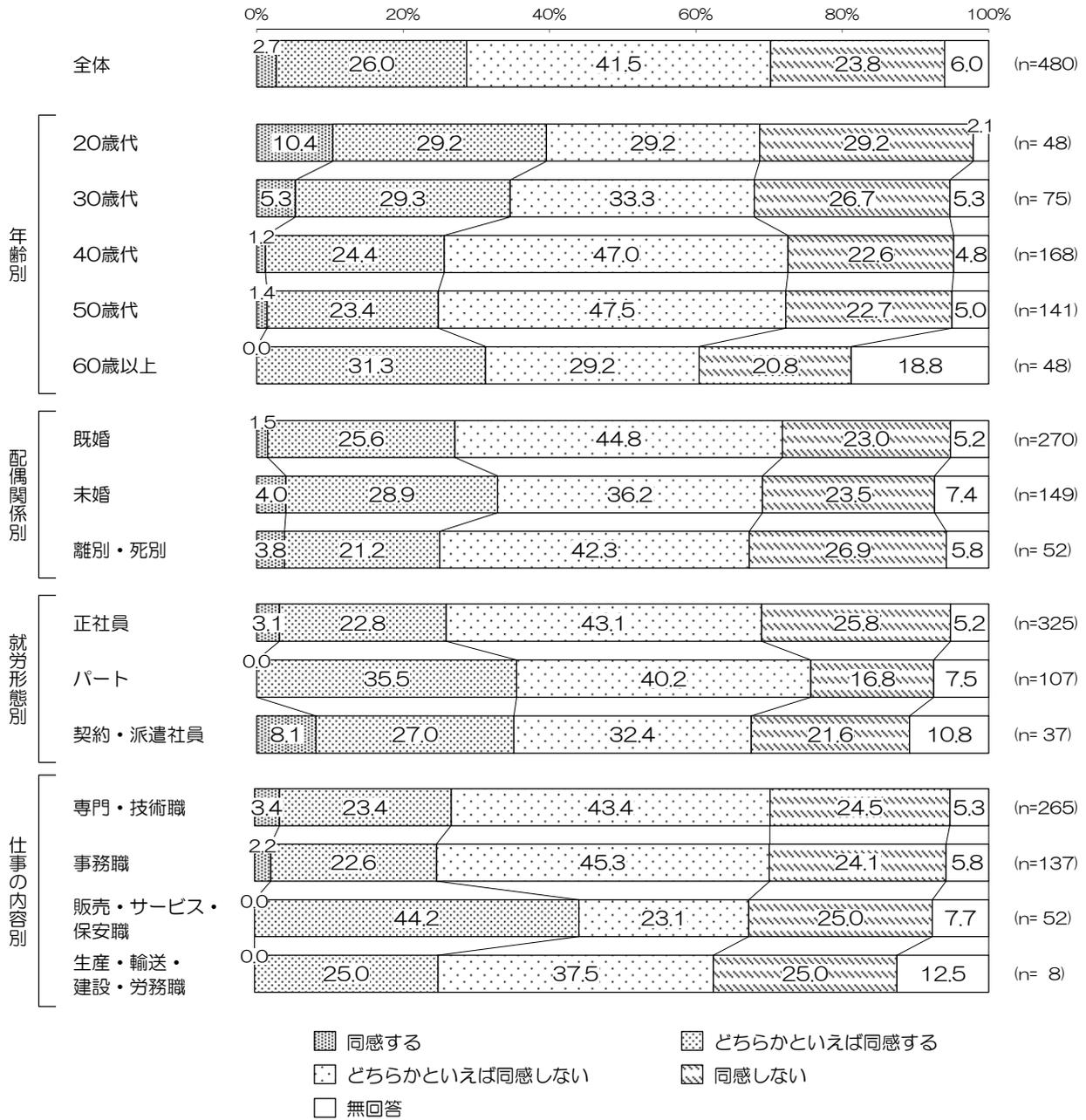
配偶関係別にみると、既婚では「『仕事』を優先している」と「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」がほぼ同じ割合、未婚と離別・死別では「『仕事』を優先している」が4割以上となっている。

就労形態別にみると、正社員と契約・派遣社員では「『仕事』を優先している」の割合が最も高くなっている。パートは「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が29.0%で最も高く、次いで「『家庭生活』を優先している」が25.2%となっており、「『仕事』を優先している」は19.6%にとどまる。

(5) 性別役割分担意識

問21. 「男は仕事、女は家庭」と性によって役割を決める考え方を、どう思いますか。(〇は1つ)

図 年齢別、配偶関係別、就労形態別、仕事の内容別 性別役割分担意識



性別役割分担意識は、『同感する』（「同感する」と「どちらかといえば同感する」の合計）が28.7%、『同感しない』（「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」の合計）が65.3%となっており、『同感しない』の方が36.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40・50歳代は『同感しない』が約7割と高くなっている。

配偶関係別にみると、『同感する』の割合は既婚で27.1%、未婚で32.9%となっており、未婚の方が『同感する』の割合が高い。

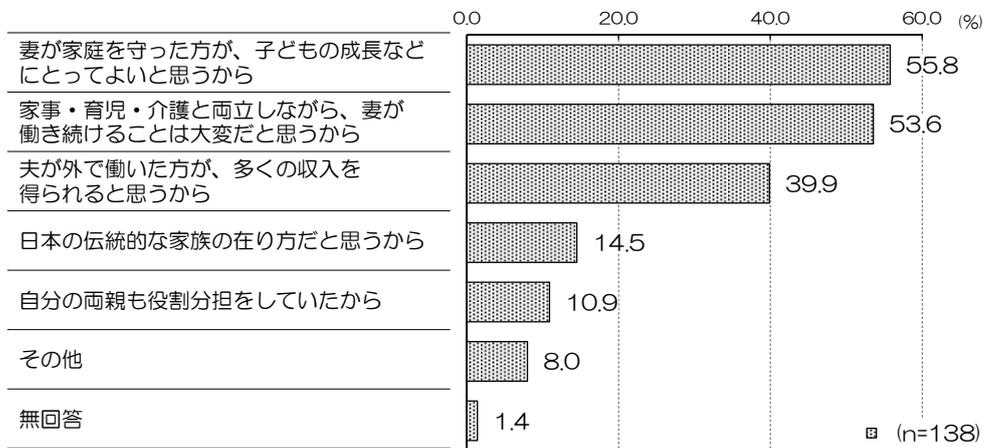
就労形態別にみると、正社員では『同感しない』が68.9%を占めている。

仕事の内容別にみると、販売・サービス・保安職では『同感する』の割合が他の層よりも高い。

(6)「男は仕事、女は家庭」と思う理由

問21で1. 2. と答えた方におたずねします
問21-1. 同感する理由は。(〇はいくつでも)

図 「男は仕事、女は家庭」と思う理由



「男は仕事、女は家庭」と思う理由は、「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとってよいと思うから」と「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」がともに5割を超えて高くなっている。

表 年齢別、配偶関係別、就労形態別 「男は仕事、女は家庭」と思う理由

| | 対象者数 (n) | 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとってよいと思うから | 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから | 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから | 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから | 自分の両親も役割分担をしていたから | その他 | 無回答 | |
|-------|----------|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------|---------------------|-------------------|------|------|------|
| 全体 | 138 | 55.8 | 53.6 | 39.9 | 14.5 | 10.9 | 8.0 | 1.4 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 19 | 57.9 | 47.4 | 42.1 | 10.5 | 21.1 | 5.3 | - |
| | 30歳代 | 26 | 42.3 | 69.2 | 34.6 | 26.9 | 15.4 | 7.7 | - |
| | 40歳代 | 43 | 72.1 | 48.8 | 46.5 | 14.0 | 9.3 | 7.0 | - |
| | 50歳代 | 35 | 48.6 | 54.3 | 37.1 | 8.6 | 8.6 | 8.6 | - |
| | 60歳以上 | 15 | 46.7 | 46.7 | 33.3 | 13.3 | - | 13.3 | 13.3 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 73 | 56.2 | 50.7 | 49.3 | 15.1 | 11.0 | 11.0 | 2.7 |
| | 未婚 | 49 | 49.0 | 57.1 | 32.7 | 18.4 | 12.2 | 6.1 | - |
| | 離別・死別 | 13 | 84.6 | 69.2 | 15.4 | - | - | - | - |
| 就労形態別 | 正社員 | 84 | 57.1 | 56.0 | 29.8 | 15.5 | 10.7 | 8.3 | 1.2 |
| | パート | 38 | 55.3 | 42.1 | 52.6 | 15.8 | 15.8 | 5.3 | 2.6 |
| | 契約・派遣社員 | 13 | 61.5 | 61.5 | 61.5 | 7.7 | - | 15.4 | - |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目を示す。

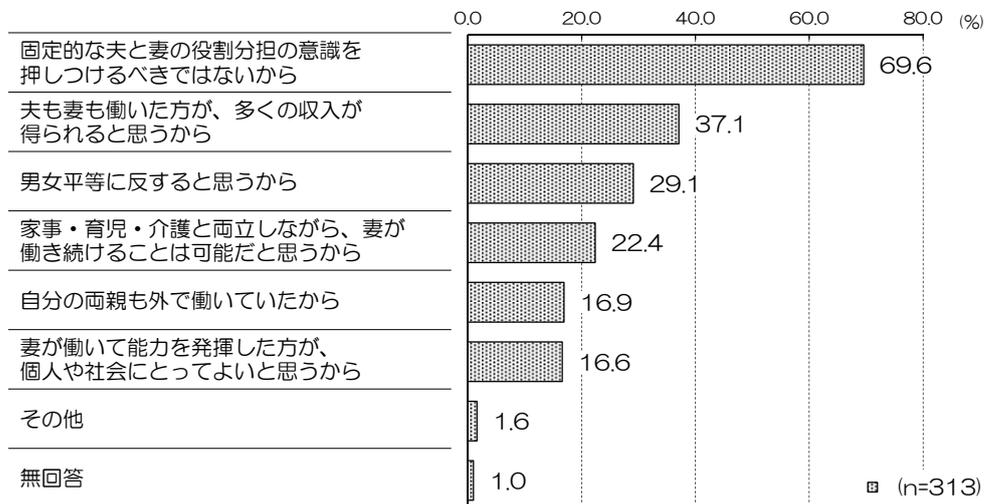
年齢別にみると、30歳代は「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」(69.2%)、40歳代は「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとってよいと思うから」(72.1%)の割合が特に高い。

就労形態別にみると、パートと契約・派遣社員では、「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合が5割を超えている。

(7)「男は仕事、女は家庭」と思わない理由

問21で3. 4. と答えた方におたずねします
 問21-2. 同感しない理由は。(〇はいくつでも)

図 「男は仕事、女は家庭」と思わない理由



「男は仕事、女は家庭」と思わない理由は、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」が 69.6%で最も高く、次いで「夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから」が 37.1%、「男女平等に反すると思うから」が 29.1%となっている。

表 年齢別、配偶関係別、就労形態別 「男は仕事、女は家庭」と思わない理由

| | 対象者数 (n) | 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから | 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから | 男女平等に反すると思うから | 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから | 自分の両親も外で働いていたから | 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとってよいと思うから | その他 | 無回答 | |
|-------|----------|-------------------------------|---------------------------|---------------|------------------------------------|-----------------|---------------------------------|------|-----|-----|
| 全体 | 313 | 69.6 | 37.1 | 29.1 | 22.4 | 16.9 | 16.6 | 1.6 | 1.0 | |
| 年齢別 | 20歳代 | 28 | 67.9 | 39.3 | 28.6 | 10.7 | 35.7 | 7.1 | - | - |
| | 30歳代 | 45 | 51.1 | 42.2 | 28.9 | 35.6 | 31.1 | 26.7 | 4.4 | 4.4 |
| | 40歳代 | 117 | 75.2 | 40.2 | 27.4 | 20.5 | 12.0 | 17.1 | 0.9 | - |
| | 50歳代 | 99 | 70.7 | 30.3 | 30.3 | 20.2 | 13.1 | 12.1 | 2.0 | - |
| | 60歳以上 | 24 | 75.0 | 37.5 | 33.3 | 29.2 | 8.3 | 25.0 | - | 4.2 |
| 配偶関係別 | 既婚 | 183 | 68.3 | 42.6 | 28.4 | 24.0 | 16.9 | 20.2 | 2.2 | - |
| | 未婚 | 89 | 68.5 | 32.6 | 29.2 | 19.1 | 18.0 | 10.1 | 1.1 | 3.4 |
| | 離別・死別 | 36 | 77.8 | 22.2 | 30.6 | 25.0 | 13.9 | 16.7 | - | - |
| 就労形態別 | 正社員 | 224 | 67.9 | 39.7 | 33.5 | 23.2 | 17.4 | 16.1 | 1.8 | 0.9 |
| | パート | 61 | 77.0 | 27.9 | 19.7 | 21.3 | 16.4 | 18.0 | 1.6 | 1.6 |
| | 契約・派遣社員 | 20 | 65.0 | 40.0 | 5.0 | 25.0 | 15.0 | 25.0 | - | - |

注) 濃い網掛けに白抜き文字は全体より 10 ポイント以上高い項目、薄い網掛けは 5 ポイント以上高い項目を示す。

年齢別にみると、20・30歳代は「自分の両親も外で働いていたから」が3割を超えている。

4. 自由意見

本市の男女共同参画施策についての意見、要望を求めたところ、105人から127件の意見があった。以下に意見内容を分類したものと主な意見を抜粋したものを掲載している。

◆ 働きやすい職場づくりについて

(19件)

- ・結婚前からずっと仕事をしていますが、小さい子供がいる時が1番困りました。子供が熱を出してもとても休めない状態で、本当につらかったです。転職した先は、そんな事なくとても親切で、仕事する上でのポイントは会社側はどれだけ理解してくれてるかという事だと思います。(30歳代)
- ・私の勤めている会社は、子供が病気やけがなどで休む時でも職場での理解があり、休みやすい雰囲気、非常にありがたかった。上司や周囲の理解や協力がないと仕事を続けられなかったと思う。職場でのコミュニケーションも大事だと思っている。(40歳代)
- ・会社はワークライフバランスとか女性活躍推進など言っているが、育児と介護の両方を抱えていながら年間400時間以上の時間外勤務をさせられている。異動の希望を何年も出しているが、聞いてもらえない。男女が対等といっても、個々に環境は違うので、一人ひとりの状況に合わせて、配慮してほしいと思う。(40歳代)
- ・職場での男女の格差はなくなりつつあるが、男性社員の中には、まだまだ女性を蔑視する方がいるので、意識の改善を望みます。(50歳代)

◆ 両立支援制度について

(7件)

- ・産休は取りやすくしてほしい。有休もとりやすく、又は買い取ってほしい。(30歳代)
- ・子育てにおいて、パートナーにもよると思いますが、まだまだ母親に頼る部分も多く、仕事をする上での負担も多い。職場での労働時間+家事(家での労働時間)を合わせると、かなり無理しないといけない状態です。子育て期間だけでも、時短や療養休暇などの拡充してほしいです。(小学卒業までなど)(40歳代)
- ・産休、育休で休んでいるスタッフが復帰後、もう少しフォローしてもらえる制度が必要。(50歳代)

◆ ハラスメントについて

(5件)

- ・パートナーが女性の仕事に理解があることは大切。そのうえで環境がそれをサポートするのが理想です。今の職場は心配ないけれど、他の職場ではマタニティハラスメントをよく聞くので、身近なところから男性、祖父母の理解が得られたら良いと思います。(30歳代)
- ・病院という女性の多い職場で、特に上からのパワハラがひどいです。有休を取るにも取らせてもらえず、仮に取ろうものなら鬼の首を取ったかのごとくに言われます。働いている者の権利すら認めてもらえません。いつやめようかと考えていますが、退職後の生活を考えるとなかなかふんぎりもつかず、毎日悩んでいます。(40歳代)

◆ 保育・子育て・介護等への支援の充実について

(10 件)

- ・ 仕事をしていると、同世代の子どもをもつ親とのコミュニケーション機会が少なく、特に実家から離れていると孤独を感じやすいと思います。両立や悩み等共有できるツールがあれば良いと思います。(30 歳代)
- ・ 子育て、家事のサポート体制が必要。小学校に入ってからの子どもの預け場所の内容充実(時間帯、預けいれている間の中身の充実)。(40 歳代)
- ・ 国は子育て支援に力を入れ過ぎている。もっと介護をしている女性にも支援すべき。(50 歳代)
- ・ 保育所施設等を増やす事で女性はもっと働く事ができるのに、なぜできないのでしょうか?(60 歳以上)

◆ 仕事と家庭生活を両立しやすい社会環境について

(14 件)

- ・ 女性が結婚、出産を経て仕事を続けていくには、職場の理解、祖父母などの協力が重要だと思います。少子化であるということは、これから先の社会全体に影響が出てくるため、安心して子供を産める環境を整えていくこと望みます。(40 歳代)
- ・ 小さい子供を育てながら働く事はとても大変な事だと思います。子供が病気になったり、自分も具合が悪かったりと。私の場合は、親が近くに住んでいたのが助かりましたが、それ以外では他にサポートしてあげる人や場所が必要だと思います。(50 歳代)
- ・ 仕事と家庭、育児、介護の両立は本当に大変です。私は実家の両親に助けてもらえたので仕事を続けることができましたが、近くに助けてもらえる人がいなければ、仕事は続けられなかったと思います。(50 歳代)

◆ 仕事と家庭生活の両立のむづかしさについて

(18 件)

- ・ 収入面で問題がなければ、仕事をせず家事育児に専念したい。仕事をしながらの家事・育児は相当負担に感じる。(30 歳代)
- ・ 仕事とは直接関係ないのかもですが、会社の歓送迎会や忘年会、社員旅行などの行事にはほとんど参加できない。子どもの保育園、学校の時間に限りがあるので、残業の多い夫には頼めないのが、結局女性である妻に負担がかかる。参加したくてもできない。(40 歳代)
- ・ 学校行事は主に女性が対象となっている。PTA 活動も時間がお昼中心で仕事とのやりくりが大変である。(50 歳代)
- ・ 女性が結婚し、子供が産まれると女性の職場での地位、又、給料面での低下。子供が熱や体調をくずすと仕事を休まなくてはならないこと、思う様に働けないのが現実である。(50 歳代)
- ・ 時間は女性も男性も同じ時間しかないのに、家事、育児、他に時間を使い、働き、自分の時間がつくれないのが、現実だと思います。その人に合った働き方ができれば、多数の人が働きたいのではないのでしょうか。(60 歳以上)

◆ 配偶者・パートナーの協力・家事参加について

(6件)

- ・男が育児をがんばると、男が「出世をあきらめた人」「仕事はそこそこしかしない人」と見られてしまうことに問題を感じます。育児する男性の出世優先枠が女性同様に必要。(40歳代)
- ・男性の家事参加の意識が低すぎるので、実際は結婚すると女性にかなり負担がかかるしくみになっている。子供の頃から男性に仕事と家事の両立を教育しないと、根本的に社会が変わっても女性の負担は変わらないと思う。(50歳代)

◆ 女性の登用について

(9件)

- ・会社が積極的に女性の管理職を推してくれていますが、結果、管理職になった時に周囲から「優遇されたから…」などと思われるのは避けれるよう、その辺も考慮頂きたい。例えば、数値等による絶対評価等。(20歳代)
- ・仕事場で、女性の役職者を増やさないと女性の能力は発揮できない。男性への教育が必要だと思う。女性の能力のある人は認める心の広さを要する。(40歳代)
- ・女性のリーダー作りを、積極的にしていく職場にしたいが、女性の出産等で難しく思う。(40歳代)
- ・上司は管理職は男性がほとんどで、役職につくことが給料に比例するという事で差別を感じる。また、男性が能力とは無関係に男性を昇進する。(50歳代)

◆ 女性の社会参画について

(16件)

- ・女性でも働きたいこと、働きたい人がいればどんどん社会に出ていいと思う。それに対して社会や周りはサポート体制が必要だと思います。(40歳代)
- ・女性だから家庭をもったら、家庭を中心という考えはないです。女性でも仕事で立派な役割がありますし、又、社会との関わりをもっている方がいいと思います。家で育児や家事だけだと、社会から孤立する人もいると思います。仕事に生きがいをもっている人なら家庭との両立はできるので「女性は結婚したら家庭に入らないといけない」という考え方は嫌いです。(40歳代)
- ・仕事を続けることで、社会とのつながりをより感じられ、一個人としての認識を得やすい。(60歳以上)

◆ 役割分担について

(13 件)

- ・ 男性、女性で能力的には、向き不向きがあり、互いが上手く出来るよう協力するものだと思う。仕事の内容によっては、女性が向いている仕事があり、そこで活躍することが出来るなら、仕事が続けられる環境を整える必要がある。(40 歳代)
- ・ 子育て中はやはり家庭中心に女性は過ごすことが、子供の成長にも良い影響を与えられると思う。また、子育てが落ち着けば、女性も時間を有効に使って、社会に出るのは悪いことではないと思う。各家庭でよく話し合っ、無理のない生活をするのが最善だと思う。(40 歳代)
- ・ 出産、育児も年金制度の未来を考えると、とても貴重な仕事なのに専業主婦ママの社会的な評価が低い。一人の納税者を育て上げるのに大変な労苦とお金がかかるのだから、出産、育児の間の休業ぐらい快く周囲は受け止めるべきだと思う。(50 歳代)

◆ 本調査への意見について

(4 件)

◆ その他の意見について

(6 件)

あなたについておたずねします

- 問1. あなたの年齢は。(○は1つ)
1. 20～24歳
 2. 25～29歳
 3. 30～34歳
 4. 35～39歳
 5. 40～44歳
 6. 45～49歳
 7. 50～54歳
 8. 55～59歳
 9. 60歳以上
- 問2. あなたには、配偶者(事実婚のパートナーも含む)がいますか。(○は1つ)
1. いる
 2. いない
 3. 離別・死別

問3. あなたの雇用形態とあなたの配偶者・パートナーの職業をお答えください。配偶者・パートナーのいない方は、ご自身の欄だけ記入してください。

| ① あなたの雇用形態 (○は1つ) | ② 配偶者・パートナーの職業 (○は1つ) |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 正社員 2. パート (週30時間以上) 3. パート (週20～30時間未満) 4. パート (週20時間未満) 5. 契約社員 6. 派遣社員 7. 役員 8. その他 (具体的に) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 勤め人 (正社員・職員) 2. 勤め人 (臨時・パートアルバイト等非正社員・職員) 3. 自営業主・自由業 4. 家族従業員 5. 家事専業 (専業主夫) 6. 無職 (家事専業をのぞく) 7. その他 (具体的に) |

問4. あなたには、世話の必要な子どもや介護の必要な方がいますか。(○は1つ)

1. 子どもがいる
2. 介護の必要な者がいる
3. いずれもない

問4-1. 子どもや介護の必要な方の世話は主に誰がしていますか。(○は1つ)

1. あなた自身
2. 配偶者・パートナー
3. その他の家族
4. その他 (具体的に)

問4-2. 子どもや介護の手伝いをしている方はいますか。(○はいくつでも)

1. あなた自身
2. 配偶者・パートナー
3. その他の家族
4. あなた又は配偶者の親
5. その他 (具体的に)
6. 手伝ってくれる人はいない

問5. あなたが一緒に住んでいる家族構成は。(○は1つ)

1. 一人暮らし
2. 夫婦のみ (事実婚を含む)
3. 夫婦と子ども (2世代)
4. ひとり親と子ども (2世代)
5. 祖父母と親と子ども (3世代)
6. その他 (具体的に)

女性の就労実態調査へのご協力をお願いします

日頃から市政にご協力いただきまして、ありがとうございます。

本市では、男女が社会の対等な構成員として、互いに尊重し合い、自分らしい生き方ができる社会(男女共同参画社会)の実現に向け、様々な取り組みを行っているところです。

このたび、「第2次高石市男女共同参画計画」を策定するうえで、高石市内の事業所にお勤めの女性を対象に「女性の就労実態調査」をさせていただきますこととなりました。高石市内における女性の就労等に関する意識や実態を把握し、今後の施策を効果的に実施するための貴重な資料として活用させていただきます。

この調査を実施するにあたり、高石市事業所人権教育推進連絡協議会の各事業所様より女性従業員のみなさまに調査票と返信用封筒をお渡しいただいておりますが、回答記入後は事業所を通じて、各自で郵便ポストに投函をお願いいたします。なお、調査票は無記名でご回答いただき、結果は統計的に処理し、調査目的以外に使うことは決してありませんので、みなさまのプライバシーが侵害されることは一切ございません。

お忙しいところ恐縮ではございますが、よりよい社会の実現のため、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成28年7月

高石市長 阪口伸六

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、調査の対象となられた方が本人が記入してください。
2. 記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
3. 回答は、質問ごとに番号に○をつけてください。
4. 記入いただいた調査票は、**7月20日(水)まで**に、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)

●この調査に関するお問い合わせは、高石市総務部人権推進課までご連絡ください。

TEL 072-2665-1001 (内線2301)
FAX 072-2663-6116

仕事についておたずねします

問6. 現在のお仕事についてお聞きます。

問6-1. あなたの仕事の内容は何ですか。(○は1つ)

1. 専門・技術職
2. 事務職
3. 販売・サービス・保安職
4. 生産・輸送・建設・労務職
5. その他(具体的に)

問6-2. あなたの現在の職場での立場は次のどちらですか。(○は1つ)

1. 役職についている
2. 役職についていない

問6-3. 現在の職場の勤続年数は。(○は1つ)

1. 1年未満
2. 1年～3年未満
3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満
5. 10年以上

問6-4. 昨年1年間の収入は。(○は1つ)

1. 103万円以下(扶養控除の範囲内)
2. 103～130万円未満
3. 130～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～300万円未満
6. 300～400万円未満
7. 400～500万円未満
8. 500万円以上

問6-5. あなたは、普段の1日で仕事にどのくらい時間を使っていますか。

※通勤時間を含めた時間でお答えください。(○は1つ)

1. 4時間未満
2. 4～6時間未満
3. 6～8時間未満
4. 8～10時間未満
5. 10～12時間未満
6. 12時間以上

問7. あなたが、現在の職場を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 勤務時間が自分の希望に合っていた
2. 賃金、待遇が自分の希望に合っていた
3. 資格や専門性が活かせる
4. 自宅から近くて通勤に便利なので
5. 知人の紹介があった
6. 長く勤められそうに思った
7. 福利厚生や制度が整っている
8. ほかによいところがなかった
9. とりあえず働くところが必要だった
10. その他(具体的に)

問8. あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

| | (それぞれ○は1つ) | | | |
|---------------------|------------------|------------------|-------|-------|
| | 男性の方が 優遇されている | 女性の方が 優遇されている | 平等である | わからない |
| ① 募集・採用 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 賃金 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 仕事の内容 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 昇進・昇格 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 管理職への登用 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 能力評価(業績評価・人事考課など) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 研修の機会や内容 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 働き続けやすい雰囲気 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ 育児・介護休暇など休暇の取りやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 |

問9. あなたが働くうえでの悩みや不満はどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 労働時間が長い
2. 賃金・諸手当が少ない
3. 休暇・休日が少ない
4. 昇進・昇格が期待できない
5. 能力が正當に評価されていない
6. 性別による格差がある
7. 人間関係がむずかしい
8. 責任ある仕事を任せられない
9. 仕事内容がつまらない
10. 教育訓練を受ける機会がない
11. 雇用形態(正規・非正規等)が希望通りではない
12. 責任が重い
13. 仕事量が多すぎる
14. 解雇の不安がある
15. その他(具体的に)
16. 特に悩みや不満はない

問10. あなたが働いている理由・目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 家計の主たる稼ぎ手として、生活を維持するため
2. 主たる稼ぎ手ではないが何らかの家計の足しにするため
3. 自分の学費や娯楽費を稼ぐため
4. 生きがい・社会参加のため
5. 専門性を活かすため
6. その他(具体的に)

問11. あなたは、今後どのように働きたいですか。(○はいくつでも)

1. 現在の雇用形態のまま、できるだけ長く働きたい
2. 現在の雇用形態のまま、ある程度働いたら、仕事を辞めたい
3. 非正社員から正社員になりたい
4. 正社員から非正社員になりたい
5. 今の会社で昇進・昇格したい
6. 別の会社に転職したい
7. 資格や専門性を活かして独立したい
8. その他(具体的に)

あなたが問11のように考える理由を自由にお書きください。

職場環境についておたずねします

問12. 女性と仕事について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
2. 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事に専念する方がよい
3. 子どもができるまで仕事をもち、子どもができたら家事や子育てに専念する方がよい
4. 子育ての時期だけ一時辞め、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
5. 子育ての時期だけ一時辞め、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
6. 仕事には就かない方がよい
7. その他 (具体的に)
8. わからない

問13. あなたは、女性が出産後も離職せず同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。(○はいくつでも)

1. 保育所や放課後児童クラブ (あおぞら児童会) など、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護支援サービスの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性の家事参加への理解・意識改革
5. 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
6. 働き続けることへの女性自身の意識改革
7. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の改革
8. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
9. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
10. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進・昇格への不利益な取扱いの禁止
11. 特になし
12. わからない

問14. あなたは、女性の職業生活における活躍をすすめるための取組に関する情報のうち、どの情報が特に必要になると感じますか。(○はいくつでも)

1. 保育所や幼稚園に関する情報 (場所、保育料など)
2. 放課後児童クラブ (あおぞら児童会) に関する情報 (場所、利用料など)
3. 介護・家事の支援サービスに関する情報 (内容、利用方法など)
4. 就職・再就職のための職業訓練に関する情報 (利用方法、相談先など)
5. 起業・NPO活動のための情報 (支援内容、相談先など)
6. 仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報 (内容、利用方法など)
7. 出産・育児などを経ながら就業を継続している女性のモデル事例に関する情報
8. 積極的に家事・育児に参画する男性のモデル事例に関する情報
9. ワーク・ライフ・バランスの推進や働き方の見直しの実践例に関する情報
10. 特になし
11. わからない

問15. あなたは今の職場の雰囲気について、どのように感じますか。

(各項目に○は1つ)

| | とても思う | どちらかといえば思う | どちらともいえない | あまり思わない | まったく思わない |
|------------------------|-------|------------|-----------|---------|----------|
| ① 育児・介護休暇を取るのに抵抗がない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 仕事と家庭・個人の生活を両立させやすい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 意欲や能力に応じて仕事を任せられる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 上司や同僚から適切な支援がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 業務外のことで相談できる上司や同僚がいる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問16. あなたは、職場におけるハラスメントの見聞きや被害を受けた経験がありますか。次のそれぞれについてお答えください。

| | セクシュアルハラスメント | パワーハラスメント | マタニティハラスメント |
|---------------------|--------------|-----------|-------------|
| ① 今の職場で見聞きしたことがある | 1 | 1 | 1 |
| ② 以前の職場で見聞きしたことがある | 2 | 2 | 2 |
| ③ 今の職場で被害を受けたことがある | 3 | 3 | 3 |
| ④ 以前の職場で被害を受けたことがある | 4 | 4 | 4 |
| ⑤ いずれもない | 5 | 5 | 5 |

女性の就労実態調査 報告書

編集・発行 高石市 総務部 人権推進課

〒592-8585

大阪府高石市加茂 4 丁目 1 番 1 号

TEL 072-265-1001 (代表)

発行年月 2017 年 (平成 29 年) 3 月